

令和元年度

出会いから結婚・子育てまでの
切れ目ない支援のための
県民意識調査報告書

高知県

I 調査の設計

1. 調査の目的

この調査は、県民の皆様のお考えをお聞きし、出会いから結婚、子育てまでの切れ目のない支援を推進していくうえでの基礎資料とさせていただくことを目的として行うものです。

2. 調査の事項

(1) 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の環境について

高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』になっていると思うか／高知県が「子どもを生き育てやすい環境」だと思える理由／高知県が「子どもを生き育てやすい環境」だと思わない理由

(2) 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」への支援の取り組みについて

『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』を実現するために特に力を入れるべき施策／高知県が少子化対策の取り組みとして行っている事業を知っているか／高知県が少子化対策の取り組みとして行っている各事業に対する関心度／高知県の少子化対策や取組に対する情報発信の取り組みを知っているか

(3) 子育てについて

理想的な子どもの人数／現実的に持ちたいと考えている子どもの人数／理想の数だけ子どもを持たない理由／子育てをするために利用したいと思う支援機関やサービス／子どもを守り育てる活動への参加の有無／男性が働きながら子育てする環境に必要だと思うこと／女性が働きながら子育てする環境に必要だと思うこと／日本の男性の育児休業取得率が低い理由／自身が育児休業を取得したいと思うか／子育てについて感じている負担について／今後（将来）子育てをするうえでの不安や悩みについて／子育ての不安や悩みについての相談先

(4) ワーク・ライフ・バランスについて

あなたの職場は子育てに対して協力的か／あなた自身は職場の中で子育てに協力的か／あなた自身が利用してよかったと思う職場の制度や仕組みとは／働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために必要な制度、仕組みとは／働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために必要な県の施策（支援）とは

3. 調査の対象

高知県内全域の18歳以上の県民2,000人

(各市町村の「選挙人名簿」より抽出)

4. 対象者の抽出方法

層化二段無作為抽出法

5. 調査の方法

郵送法

6. 調査の期間

令和元年8月24日（土）～9月6日（金）までの14日間

7. 実査および集計

株式会社 トミーコーポレーション

8. 調査票配布数と回収状況

配布数 2,000票

有効回収数 906人（有効回収率 45.3%）

II 調査結果の見方

1. 「V 調査結果〔解説・グラフ〕」は「VI 調査結果〔統計表〕」に基づき、要点のみを記述してあるので、「VI 調査結果〔統計表〕」をあわせて参照すること。
2. 「VI 調査結果〔統計表〕」の「サンプル」は有効調査人数を示し、比率（%）算出の基礎となっている。
3. 「VI 調査結果〔統計表〕」に記入してある数値は、回答人数又は各回答項目に対する回答率であり、回答率は下記の式により求めている。

$$\text{回答率（\%）} = \frac{\text{回答人数}}{\text{サンプル（有効調査人数）}} \times 100$$

なお、回答率は、小数第2位を四捨五入し、表示している。

4. 質問への回答方法は「1つだけ○印」、「2つまで○印」、「3つまで○印」、「当てはまるもの全てに○印」などの方法を採用している。したがって、複数回答の質問は比率を合計すると100%以上になる。
5. 設問によっては、該当者の人数を母数として回答率を算出した。
6. 各質問に対する集計は、対象者の特性別（階層別）及び回答者別（質問間クロス）で分析した。

F1	性	別	…	男性、女性、その他の3種類に分類					
F2	年	代	別	… 20歳代以下、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代以上の5階層に分類					
F3	職	業	別	… 農林業、漁業、商工サービス業自営、事務職、技術職、労務職、管理職、自由業、主婦・主夫、学生、無職、その他の12種類に分類					
F4	詳	細	職	業	別	… 雇用者（正規の職員・従業員）、雇用者（労働者派遣事業所の派遣社員）、雇用者（パート、アルバイト）、雇用者（契約社員、嘱託）、会社・団体等の役員、自営業主、家族従業者（自家営業の手伝い）、家庭内職者、無職（主婦、主夫、学生を含む）、その他の10種類に分類			
F5	世	帯	別	… 単身世帯（一人住まい）、夫婦（事実婚を含む）のみの世帯、親と子の世帯（二世帯世帯）、三世帯世帯（親、子、孫の世帯）、その他の5種類に分類					
F6	結	婚	の	有	無	… 結婚している（事実婚を含む）、結婚したことはない、離別・死別の3種類に分類			
F7	夫	婦	共	働	き	の	有	無	… はい、いいえの別
F8	お	子	さ	ん	の	数	別	… 子どもなし、1人、2人、3人、4人、5人以上の6種類に	

分類

- F9 末子の子ども の 状況別 … 未就学児、小学生、中学生以上の3種類に分類
- F10 広域市町村圏別 … 高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏の1市7広域圏に分類

※ 対象者の職業別、広域市町村圏別は次のとおりである。

◆職業別

農 林 業	}	(主婦の場合は家庭内の仕事と田畑、漁業に出る時間を比較して多い方を選択)
漁 業		
商工サービス業自営		(商店や工場などを自分でやっている人、家族従業者を含む)
事 務 職		(勤め人や公務員で主に事務系の仕事の人、管理者以上を除く)
技 術 職		(主に技術系の仕事の人、看護師、保育士など、管理者以上を除く)
労 務 職		(現場従業員、工員、運転手、店員、日雇い、大工など)
管 理 職		(勤め人・公務員で課長以上の場合、校長・教頭など)
自 由 業		(医師、弁護士、画家、僧侶、大学教授など)
主 婦・主 夫		(家庭内の仕事が一日で最も多い場合)
学 生		(高校、短大、大学、その他の学校在学中)
無 職		(年金などで生活しているか、自分の収入がなく、または働いていない場合)
そ の 他		(上のいずれにも属さないもの)

◆広域市町村圏別

高 知 市	
安 芸 広 域 圏	室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村馬路村、芸西村
南 国 ・ 香 美 広 域 圏	南国市、香南市、香美市
嶺 北 広 域 圏	本山町、大豊町、土佐町、大川村
仁 淀 川 広 域 圏	土佐市、いの町、日高村
高 吾 北 広 域 圏	佐川町、越知町、仁淀川町
高 幡 広 域 圏	須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
幡 多 広 域 圏	宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町

Ⅲ 調査対象者の特性

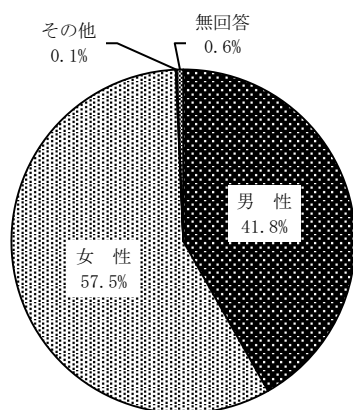
※構成比は小数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合もある。

1. 広域市町村圏別の配布・回収状況

広域市町村圏	配布数（人）	有効回収状況		
		回答数（人）	回収率（%）	構成比（%）
高知市	909	438	48.2	48.3
安芸広域圏	138	44	31.9	4.9
南国・香美広域圏	295	140	47.5	15.5
嶺北広域圏	34	13	38.2	1.4
仁淀川広域圏	156	64	41.0	7.1
高吾北広域圏	68	24	35.3	2.6
高幡広域圏	156	68	43.6	7.5
幡多広域圏	244	114	46.7	12.6
無回答		1		0.1
合計	2,000	906	45.3	100.0

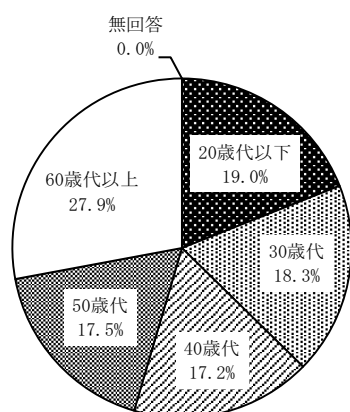
2. 対象者の特性

F 1 性別



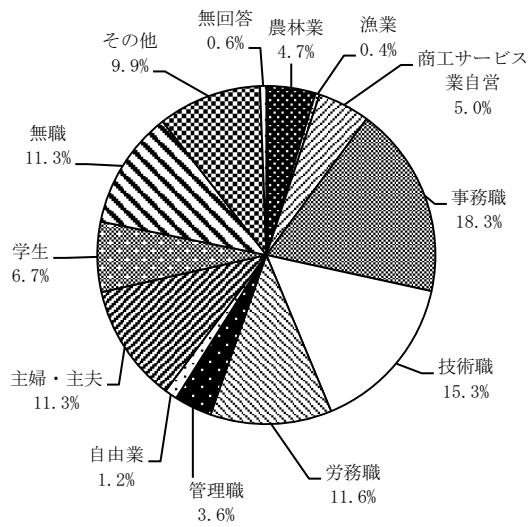
区分	回答数（人）	構成比（%）
男性	379	41.8
女性	521	57.5
その他	1	0.1
無回答	5	0.6
合計	906	100.0

F 2 年代別



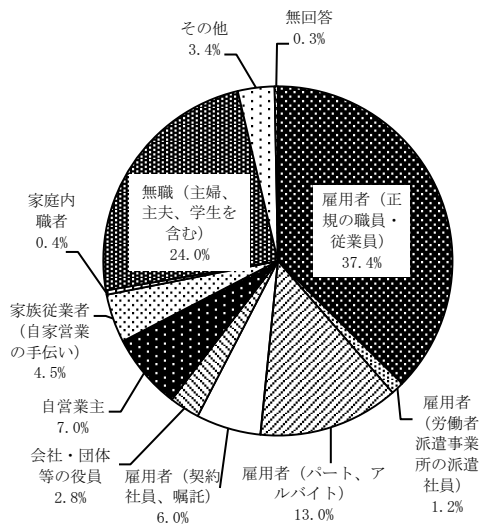
区分	回答数（人）	構成比（%）
20歳代以下	172	19.0
30歳代	166	18.3
40歳代	156	17.2
50歳代	159	17.5
60歳代以上	253	27.9
無回答	0	0
合計	906	100.0

F 3 職業別



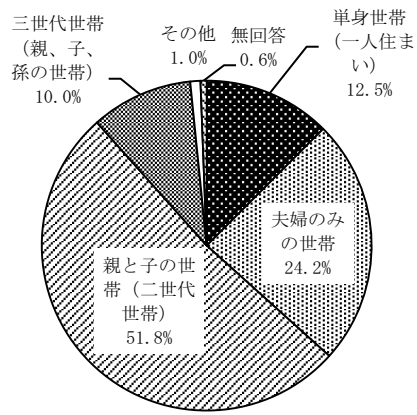
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
農林業	43	4.7
漁 業	4	0.4
商工サービス業	45	5.0
事務職	166	18.3
技術職	139	15.3
労務職	105	11.6
管理職	33	3.6
自由業	11	1.2
主婦・主夫	102	11.3
学 生	61	6.7
無 職	102	11.3
その他	90	9.9
無回答	5	0.6
合 計	906	100.0

F 4 詳細職業別



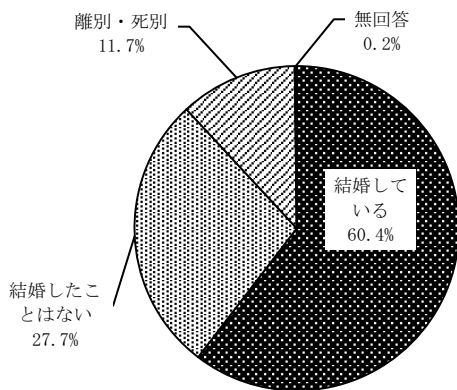
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
雇用者 (正規の職員・従業員)	339	37.4
雇用者 (労働者派遣事業所の派遣社員)	11	1.2
雇用者 (パート、アルバイト)	118	13.0
雇用者 (契約社員、嘱託)	54	6.0
会社・団体等の役員	25	2.8
自営業主	63	7.0
家族従業者 (自家営業の手伝い)	41	4.5
家庭内職者	4	0.4
無職 (主婦、主夫、学生を含む)	217	24.0
その他	31	3.4
無回答	3	0.3
合 計	906	100.0

F 5 世帯別



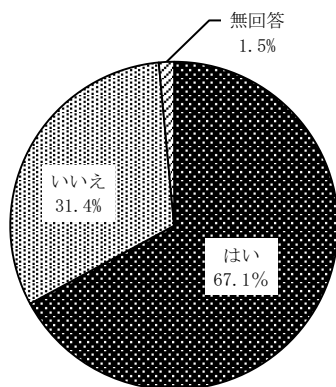
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
単身世帯 (一人住まい)	113	12.5
夫婦のみの世帯	219	24.2
親と子の世帯 (二世世代世帯)	469	51.8
三世世代世帯 (親、子、孫の世帯)	91	10.0
その他	9	1.0
無回答	5	0.6
合 計	906	100.0

F 6 結婚の有無



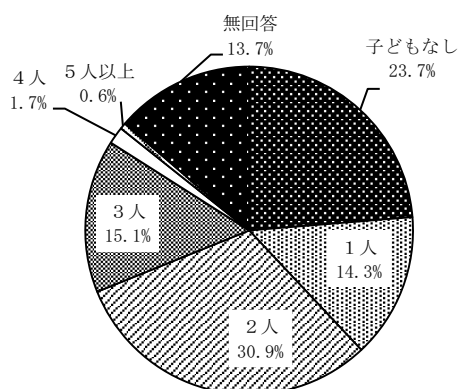
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
結婚している (事実婚を含む)	547	60.4
結婚したことはない	251	27.7
離別・死別	106	11.7
無回答	2	0.2
合 計	906	100.0

F 7 夫婦共働きの有無



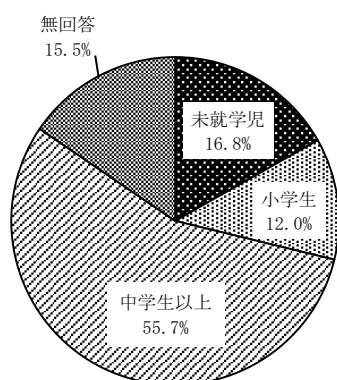
区 分	回答数 (人)	構成比 (%)
はい	367	67.1
いいえ	172	31.4
無回答	8	1.5
合 計	547	100.0

F 8 お子さんの数別



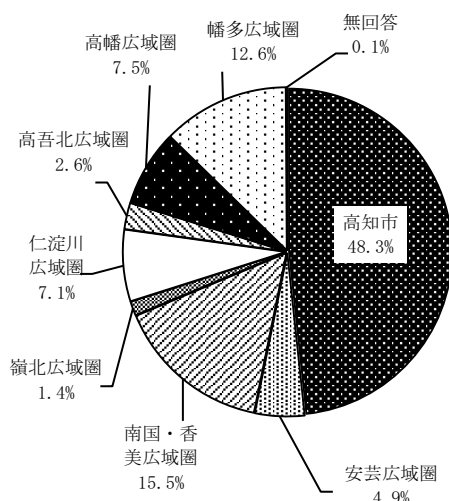
区分	回答数 (人)	構成比 (%)
子どもなし	215	23.7
1人	130	14.3
2人	280	30.9
3人	137	15.1
4人	15	1.7
5人以上	5	0.6
無回答	124	13.7
合計	906	100.0

F 9 末子の子どもの状況別



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
未就学児	95	16.8
小学生	68	12.0
中学生以上	316	55.7
無回答	88	15.5
合計	567	100.0

F 10 広域市町村圏別



区分	回答数 (人)	構成比 (%)
高知市	438	48.3
安芸広域圏	44	4.9
南国・香美広域圏	140	15.5
嶺北広域圏	13	1.4
仁淀川広域圏	64	7.1
高吾北広域圏	24	2.6
高幡広域圏	68	7.5
幡多広域圏	114	12.6
無回答	1	0.1
合計	906	100.0

IV 調査結果のあらまし

【1. 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の環境について】

問1 高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』になっていると思うか

「どちらともいえない」が35.1%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が25.7%、「やや思う」が22.7%と続いている。

問2-（1）高知県が「子どもを生み育てやすい環境」だと思う理由

「親との同居、近居により親の支援があるから」が43.5%と最も高く、次いで「各種の保育サービスが充実しているから」が27.5%、「妊娠から出産後までの母体医療・小児医療が充実しているから」が26.3%と続いている。

問2-（2）高知県が「子どもを生み育てやすい環境」だと思わない理由

「雇用が安定していないから」が49.3%と最も高く、次いで「子育ての経済的負担が大きいから」が47.7%、「教育への経済的負担が大きいから」が46.8%と続いている。

【2. 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」への支援の取り組みについて】

問3 『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』を実現するために特に力を入れるべき施策

1. 総合的な結婚支援

「どちらともいえない」が36.6%と最も高く、次いで「重要」が35.7%、「非常に重要」が13.6%と続いている。

2. 妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備

「重要」が43.3%と最も高く、次いで「非常に重要」が41.4%、「どちらともいえない」が12.1%と続いている。

3. 保育サービス等の子育て支援策の充実

「非常に重要」が44.8%と最も高く、次いで「重要」が42.7%、「どちらともいえない」が8.9%と続いている。

4. ワーク・ライフ・バランスの推進

「非常に重要」が42.5%と最も高く、次いで「重要」が42.1%、「どちらともいえない」が11.5%と続いている。

5. 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備等

「重要」が48.1%と最も高く、次いで「非常に重要」が34.0%、「どちらともいえない」が13.6%と続いている。

6. 要保護児童への対応などきめ細やかな取り組みの推進

「重要」が44.7%と最も高く、次いで「非常に重要」が37.9%、「どちらともいえない」が14.0%と続いている。

7. 地域における子育て支援

「重要」が49.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.2%、「非常に重要」が22.1%と続いている。

8. 子ども等の安全の確保

「非常に重要」が43.4%と最も高く、次いで「重要」が42.9%、「どちらともいえない」が10.3%と続いている。

問4 高知県が少子化対策の取り組みとして行っている事業を知っているか

「全て知らない」が38.9%と最も高く、次いで「高知で恋しよ！！イベント(出会いイベント)」が22.7%、「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」が22.1%と続いている。

問5 高知県が少子化対策の取り組みとして行っている各事業に対する関心度

1. 高知家の出会い・結婚・子育て応援団による情報提供

「どちらともいえない」が40.0%と最も高く、次いで「関心はない」が34.9%、「関心がある」が21.3%と続いている。

2. 高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー

「どちらともいえない」が39.7%と最も高く、次いで「関心はない」が34.7%、「関心がある」が21.7%と続いている。

3. 高知で恋しよ！！応援サイト

「関心はない」が45.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が36.6%、「関心がある」が12.9%と続いている。

4. 高知で恋しよ！！マッチング（会員制のお引合せシステム）

「関心はない」が47.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が37.5%、「関心がある」が10.4%と続いている。

5. 高知で恋しよ！！イベント（出会いイベント）

「関心はない」が45.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が36.9%、「関心がある」が11.8%と続いている。

6. 婚活サポーター

「関心はない」が45.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が35.7%、「関心がある」が14.9%と続いている。

7. こうち子育て応援の店

「どちらともいえない」が34.0%と最も高く、次いで「関心がある」が33.0%、「関心はない」が27.9%と続いている。

8. 高知の子育て応援サイト「こうちプレマnet」

「どちらともいえない」が37.4%と最も高く、次いで「関心がある」が28.7%、「関心はない」が29.2%と続いている。

問6 高知県の少子化対策や取組に対する情報発信の取り組みを知っているか

「知らない」が62.8%と最も高く、次いで「知っている」が34.0%となっている。

【3. 子育てについて】

問7 理想的な子どもの人数

「2人」が45.8%と最も高く、次いで「3人」が39.2%、「1人」が4.2%と続いている。

問8 現実的に持ちたいと考えている子どもの人数

「2人」が46.7%と最も高く、次いで「3人」が24.8%、「1人」が11.6%と続いている。

問9 理想の数だけ子どもを持たない理由

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」63.2%と最も高く、次いで「職場環境の厳しさ（休暇が取りにくい等）により自分の生活に余裕がなく、仕事と家庭の両立が難しいから」が34.6%、「ほしいけれどもできないから」が16.5%と続いている。

問10 子育てをするために利用したいと思う支援機関やサービス

「保育所・幼稚園・認定こども園等の認可保育施設」が47.8%と最も高く、次いで「延長保育」が35.0%、「地域子育て支援センター」が21.4%と続いている。

問11 地域における子どもを守り育てる活動へ参加したか

「参加したことはない（参加したくない）」が43.4%と最も高く、次いで「参加したことはないが参加したい」が27.8%、「参加したことがある」が25.9%と続いている。

問12 男性が働きながら子育てする環境に必要なだと思うこと

「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が66.3%と最も高く、次いで「有給休暇が取りやすいこと」が57.1%、「育児休業制度が利用できること」が50.1%と続いている。

問13 女性が働きながら子育てする環境に必要なだと思うこと

「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が74.4%と最も高く、次いで「育児休業制度が利用できること」が71.9%、「配偶者（パートナー）が家事・育児に参画・協力すること」が69.5%と続いている。

問14 日本の男性の育児休業取得率が低い理由

「職場が忙しすぎて休暇を言い出せる雰囲気でない」が63.2%と最も高く、次いで「育児休業を取得することによって人員が不足し職場や取引先に迷惑をかける」が62.4%、「育児休業中の手取り収入が減る」が40.1%と続いている。

問15 自身が育児休業を取得したいと思うか

「ぜひ取得したい」が24.6%と最も高く、次いで「どちらかと言えば取得したい」が10.9%、「どちらでもない」が7.7%と続いている。

問16 子育てについて感じている負担について

「子育てにお金がかかる」が56.8%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」が52.6%、「子育てによる身体的・精神的の疲れが大きい」が24.2%と続いている。

問17 今後（将来）子育てをするうえでの不安や悩みについて

「子育てにお金がかかる」が76.8%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」が52.6%、「子育てによる身体的・精神的の疲れが大きい」が13.7%と続いている。

問18 子育ての不安や悩みについての相談先

「配偶者（パートナー）」と「友人、知人」が同率の71.6%と最も高く、次いで「あなたの親、配偶者（パートナー）の親」が67.4%と続いている。

【4. ワーク・ライフ・バランスについて】

問19 あなたの職場は子育てに対して協力的か

「やや思う」が29.9%と最も高く、次いで「思う」が27.0%、「どちらともいえない」が23.6%と続いている。

問20 あなた自身は職場の中で子育てに協力的か

「思う」が36.8%と最も高く、次いで「やや思う」が28.4%、「どちらともいえない」が23.2%と続いている。

問21 あなた自身が最も「利用して良かった」と思う職場の制度や仕組みとは

「時間単位で取得できる年次有給休暇」が30.3%と最も高く、次いで「育児休業制度」が29.0%、「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」が19.1%と続いている。

問22 働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために必要な制度、仕組みとは

「育児休業制度」が39.5%と最も高く、次いで「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」が32.4%、「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」が32.2%と続いている。

問23 働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために必要な県の施策（支援）とは

「働き方改革の推進（長時間労働の是正等）」が44.6%と最も高く、次いで「トップの意識改革（管理職を対象とした意識醸成セミナー等）」が41.6%、「制度の創設に向けた支援（時間単位で取得できる年次有給休暇制度等の導入支援等）」が39.3%と続いている。

V 調査結果

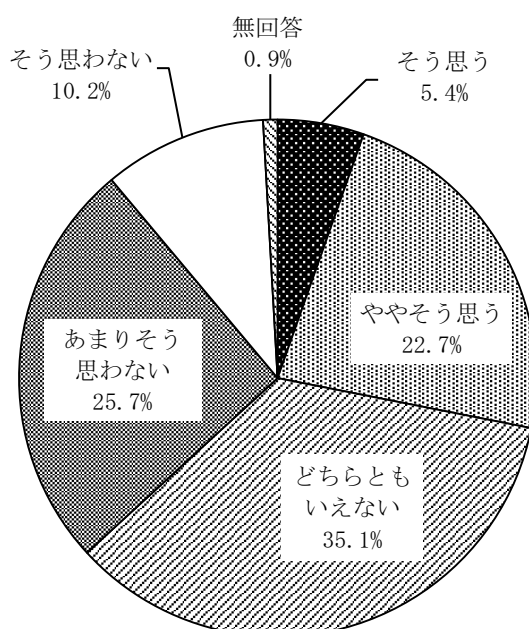
[解説・グラフ]

【1. 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の環境について】

問1 あなたは、高知県が『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』になっていると思いますか。(1つだけ○印)

「どちらともいえない」が35.1%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が25.7%、「ややそう思う」が22.7%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

男女とも「どちらともいえない」が最も高くなっている。

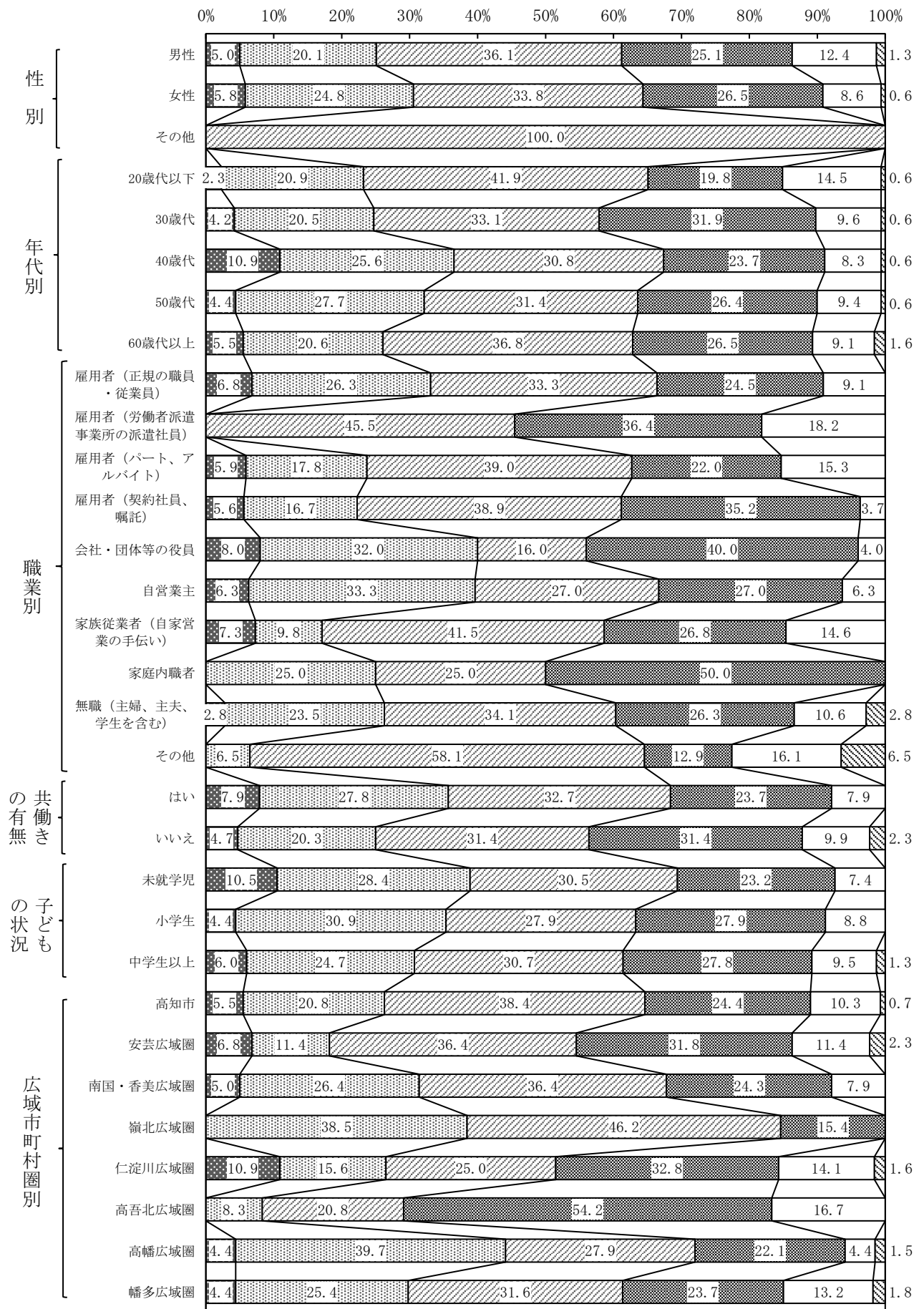
【年代別】

すべての年代で「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、幡多広域圏では「どちらともいえない」が、仁淀川広域圏、高吾北広域圏では「あまりそう思わない」が、高幡広域圏では「ややそう思う」が最も高くなっている。

そう思う
 ややそう思う
 どちらともいえない
 あまりそう思わない
 そう思わない
 無回答



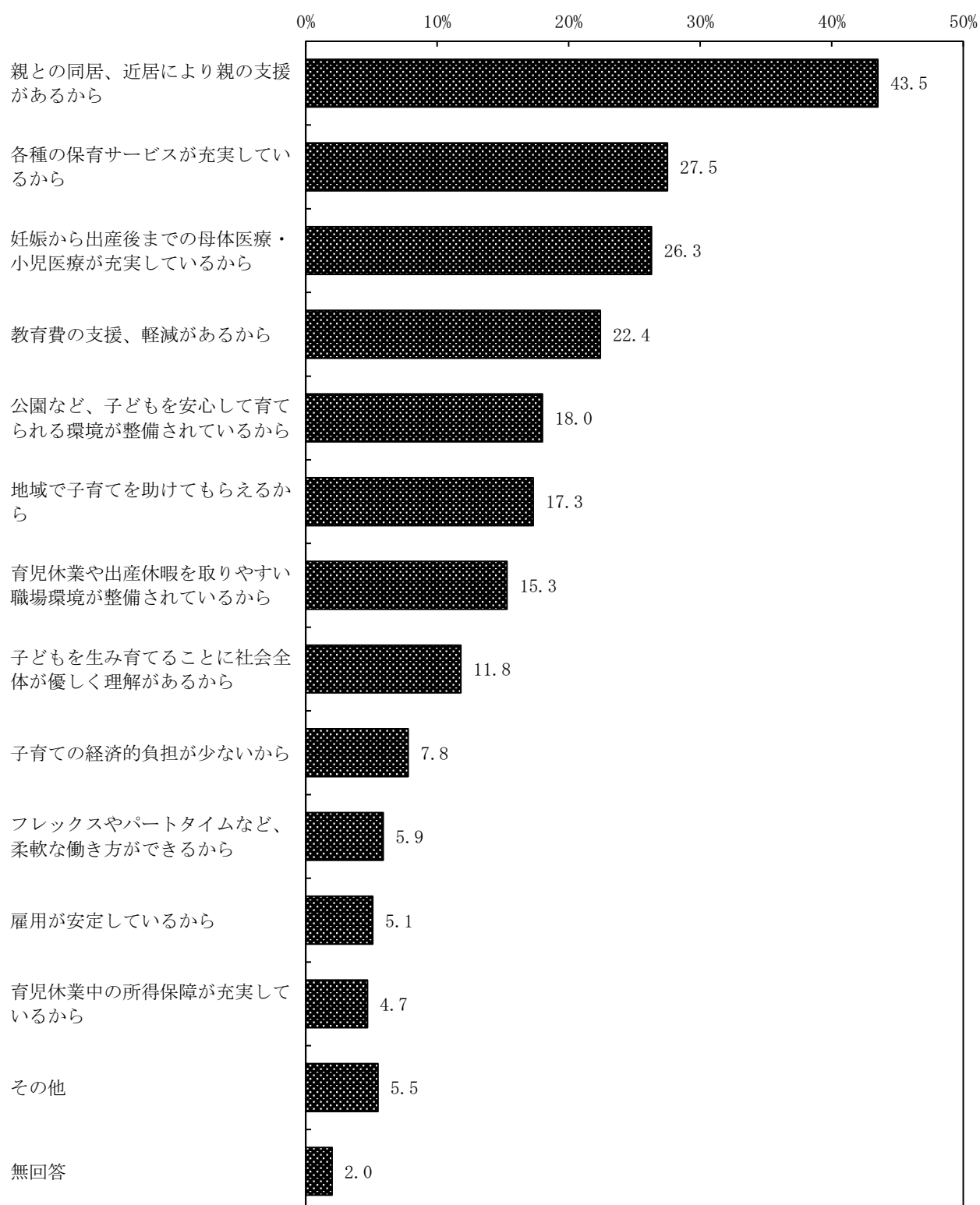
問2－(1) あなたが、高知県が「子どもを生き育てやすい環境」だと思う理由は何ですか。

(問1で「1. そう思う」、「2. ややそう思う」と回答した方のみお答えください。)

(あてはまるもの全てに○印)

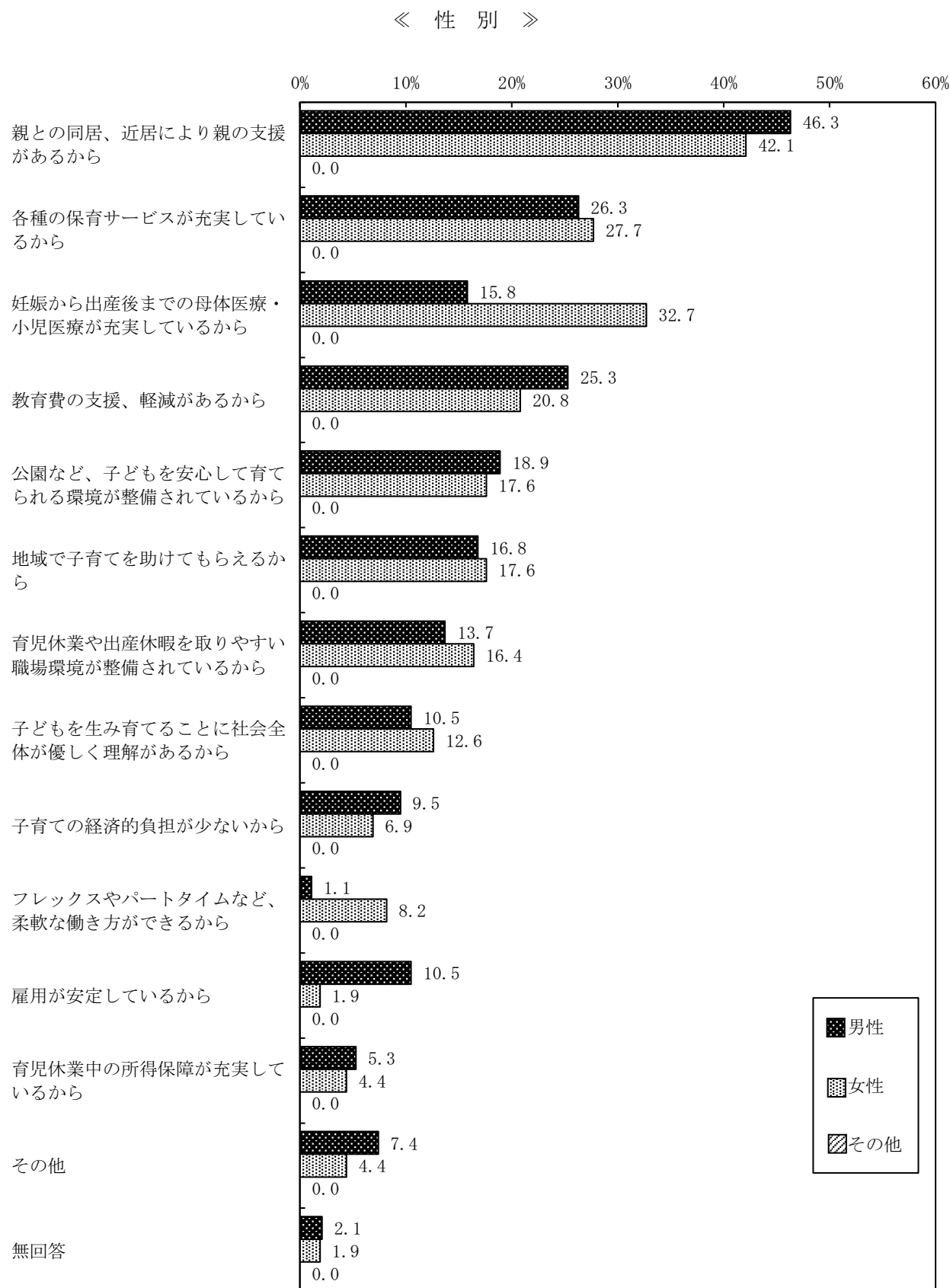
「親との同居、近居により親の支援があるから」が43.5%と最も高く、次いで「各種の保育サービスが充実しているから」が27.5%、「妊娠から出産後までの母体医療・小児医療が充実しているから」が26.3%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

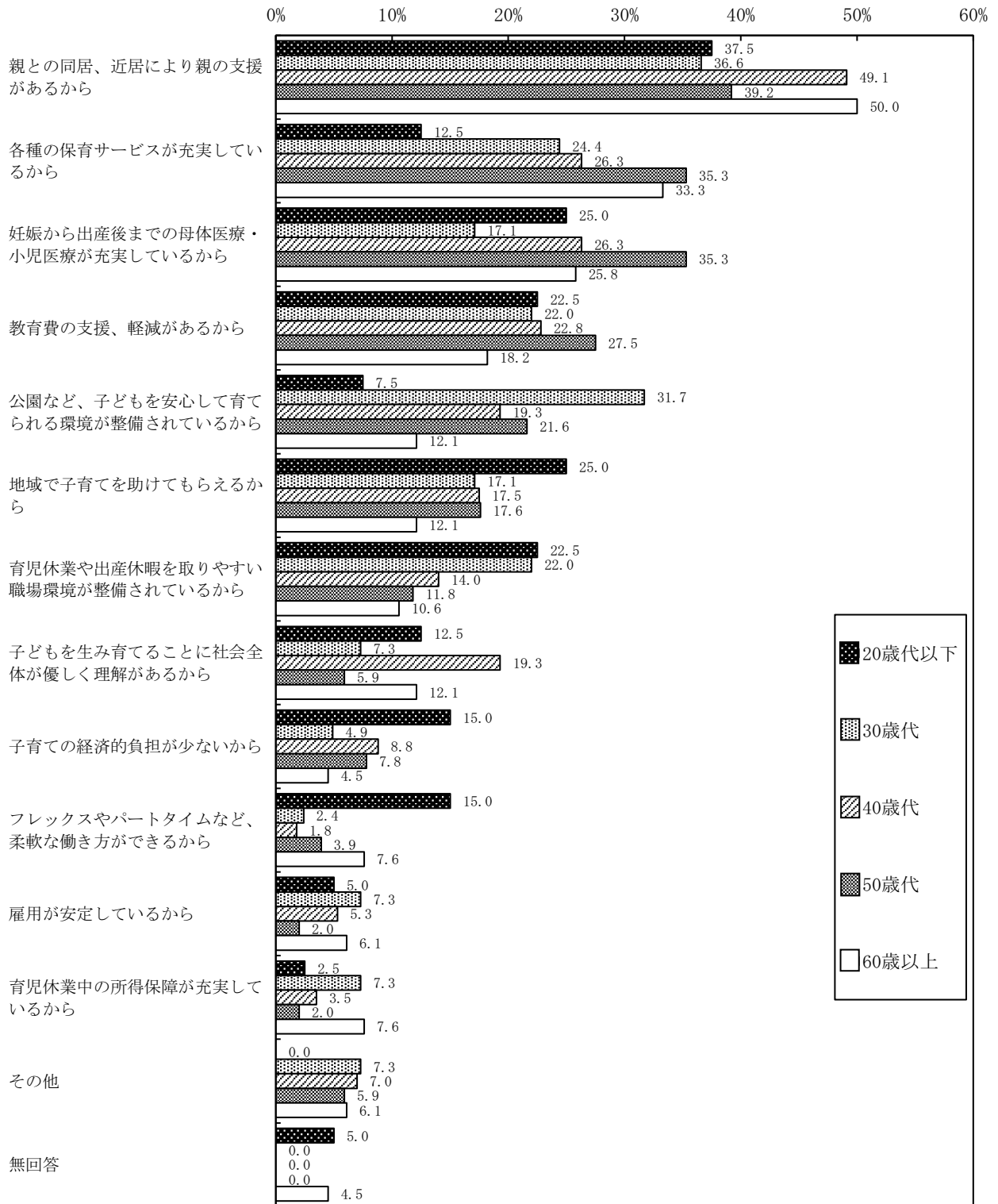
男女とも「親との同居、近居により親の支援があるから」が最も高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「親との同居、近居により親の支援があるから」が最も高くなっている。

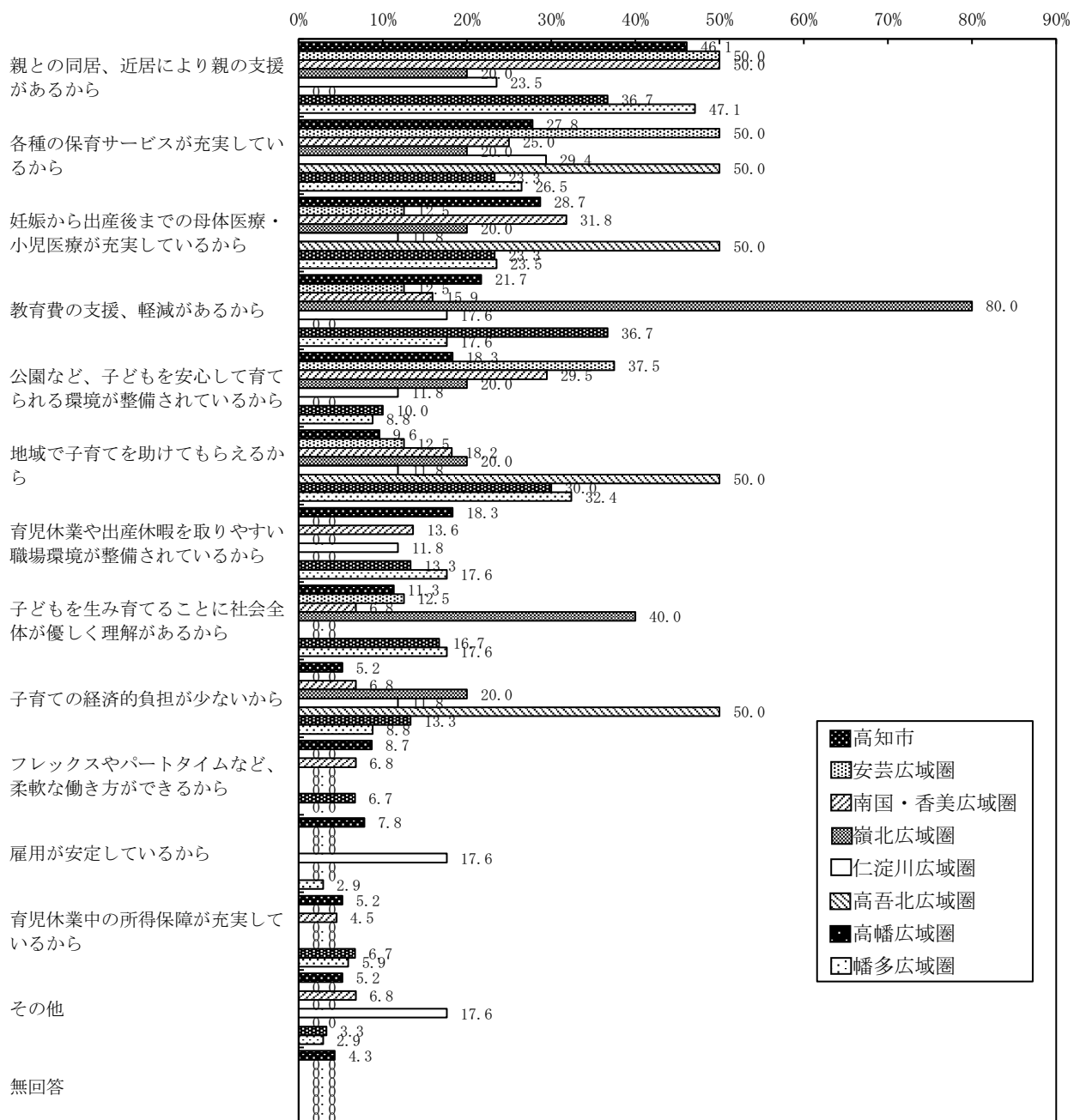
《 年代別 》



【広域市町村圏別】

高知市、南国・香美広域圏、幡多広域圏で「親との同居、近居により親の支援があるから」が、安芸広域圏では同率で「親との同居、近居により親の支援があるから」と「各種の保育サービスが充実しているから」が、嶺北広域圏では「教育費の支援、軽減があるから」が、仁淀川広域圏では「各種の保育サービスが充実しているから」が、高吾北広域圏では同率で「各種の保育サービスが充実しているから」と「妊娠から出産後までの母体医療・小児医療が充実しているから」と「子育ての経済的負担が少ないから」と「地域で子育てを助けてもらえるから」が、高幡広域圏では同率で「親との同居、近居により親の支援があるから」と「教育費の支援、軽減があるから」が最も高くなっている。

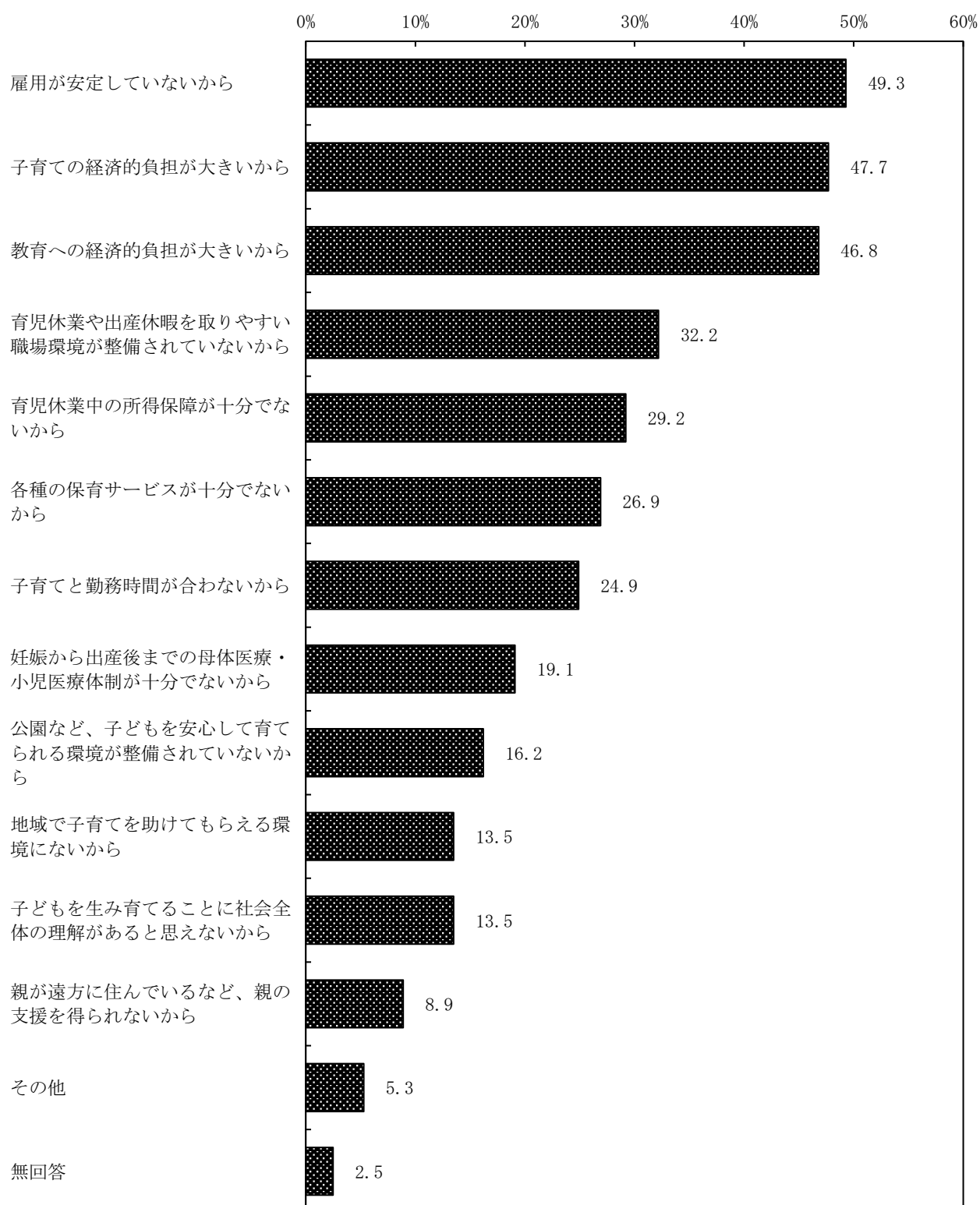
《広域市町村圏別》



問2－(2) あなたが、高知県が「子どもを生き育てやすい環境」だと思わない理由は何ですか。
 (問1で「3. どちらともいえない」、「4. あまりそう思わない」、「5. そう思わない」と回答した方のみお答えください。)(あてはまるもの全てに○印)

「雇用が安定していないから」が49.3%と最も高く、次いで「子育ての経済的負担が大きいから」が47.7%、「教育への経済的負担が大きいから」が46.8%と続いている。

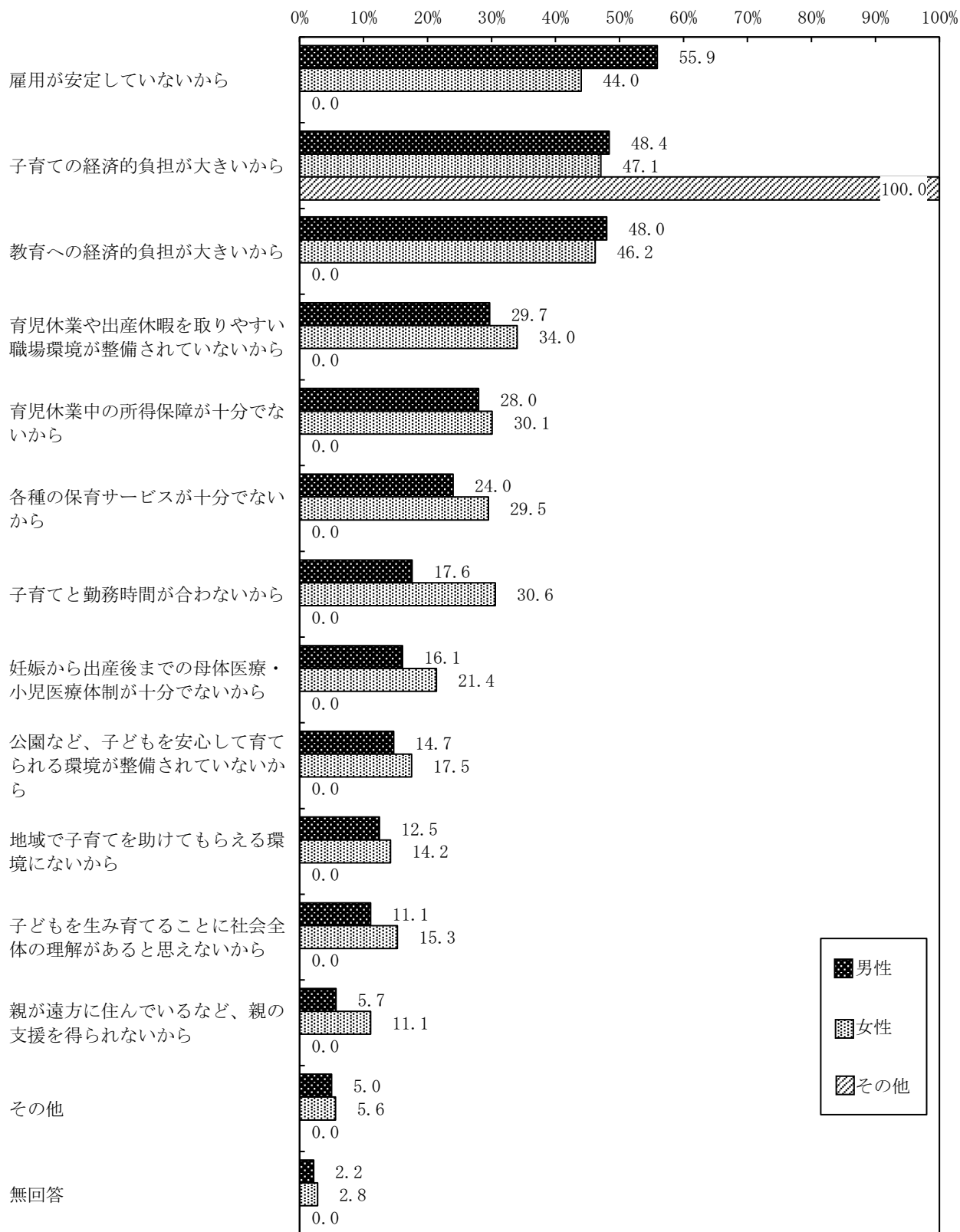
《 総 合 》



【性別】

男性では「雇用が安定していないから」が 55.9%、女性では「子育ての経済的負担が大きいから」が 47.1%と最も高くなっている。

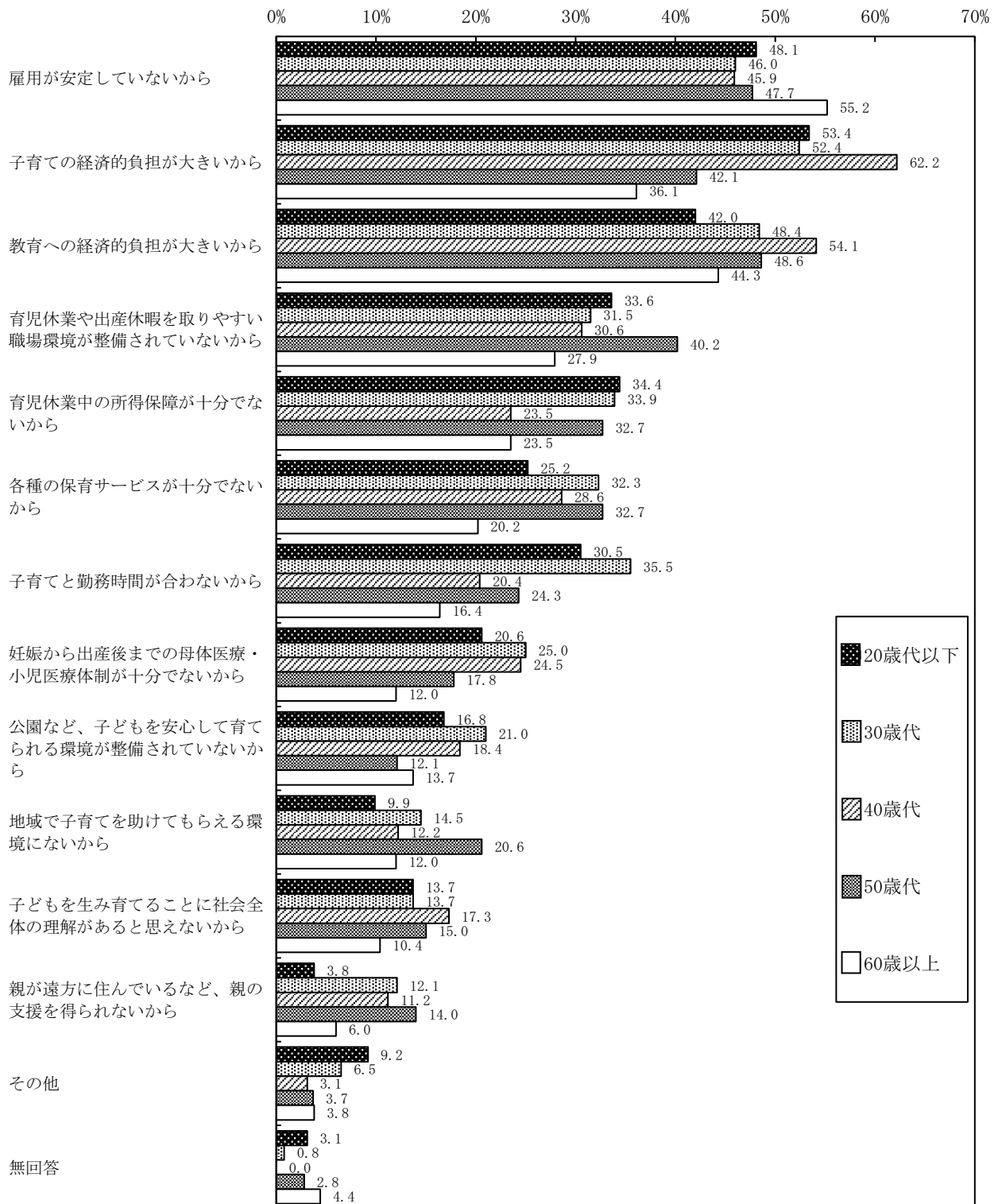
《 性別 》



【年代別】

20歳代以下、30歳代、40歳代で「子育ての経済的負担が大きいから」が最も高く、50歳代では「教育への経済的負担が大きいから」が最も高く、60歳代では「雇用が安定していないから」が最も高くなっている。

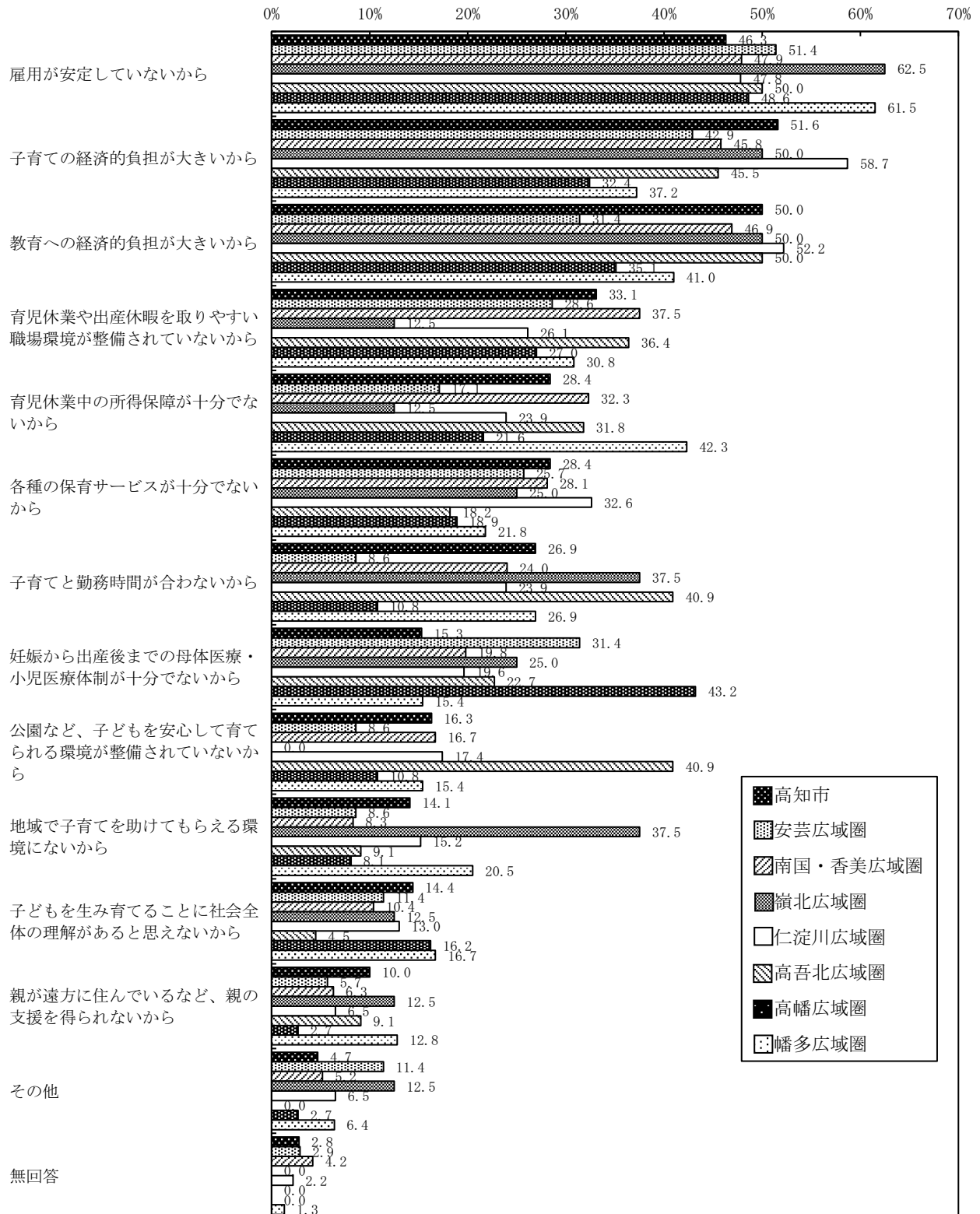
《 年 代 別 》



【広域市町村圏別】

高知市と仁淀川広域圏では「子育ての経済的負担が大きいから」が、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏では「雇用が安定していないから」が、高吾北広域圏では同率で「教育への経済的負担が大きいから」と「雇用が安定していないから」が最も高くなっている。

《広域市町村圏別》



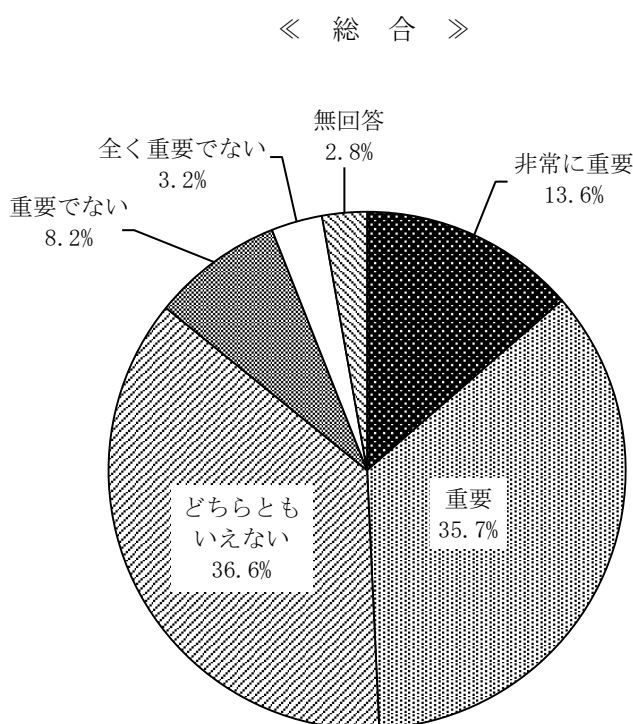
【2. 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」への支援の取り組みについて】

問3 『安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会』を実現するために、特に力を入れるべき施策は何だと思えますか。あなたの考えに近いものをお選びください。

(1. 非常に重要 2. 重要 3. どちらともいえない 4. 重要でない 5. 全く重要でない の中からいずれか1つずつ○印)

1. 総合的な出会い・結婚支援

「どちらともいえない」が36.6%と最も高く、次いで「重要」が35.7%、「非常に重要」が13.6%と続いている。



【性別】

男性では「重要」が37.5%、女性では「どちらともいえない」が39.7%と最も高くなっている。

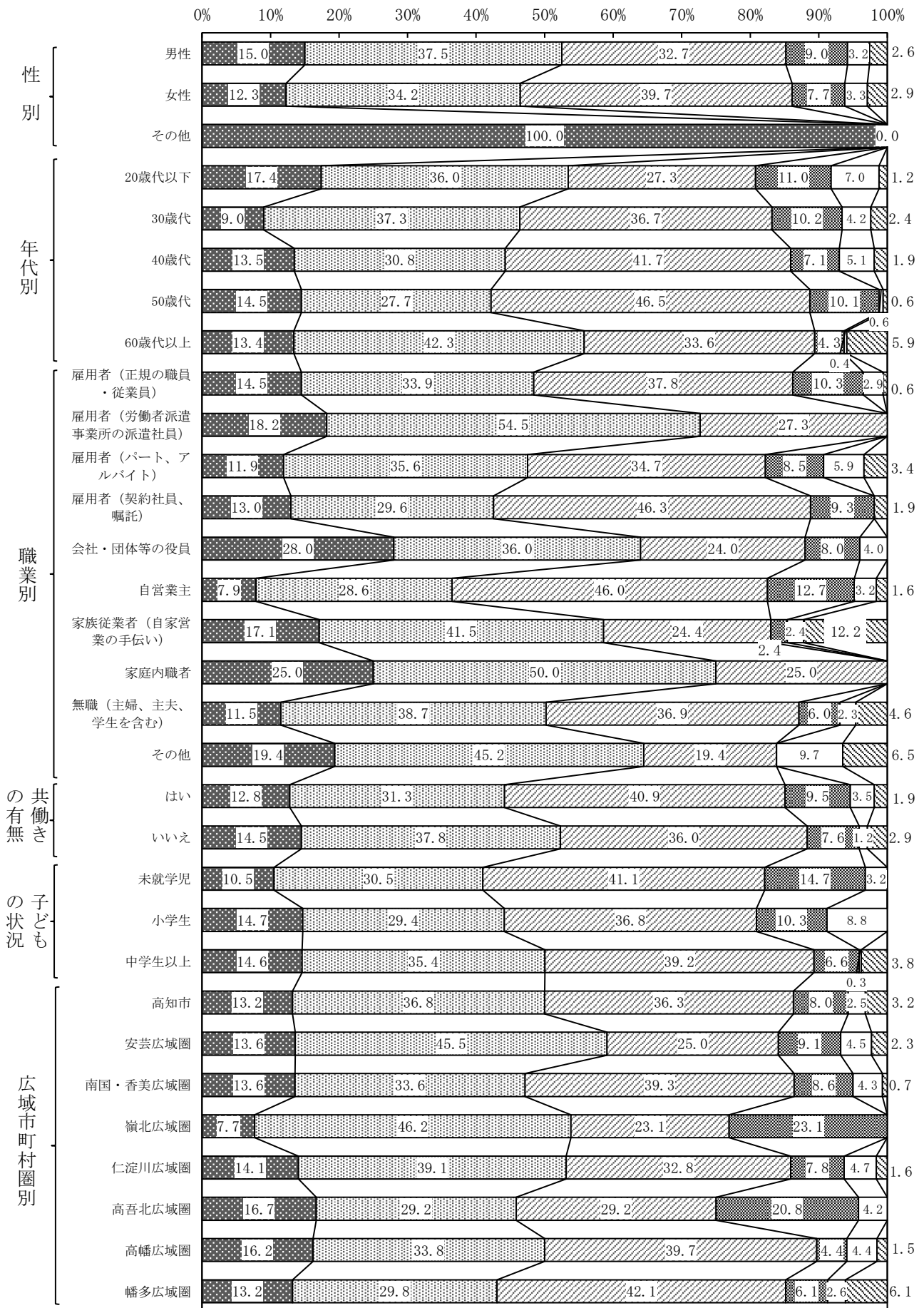
【年代別】

20歳代以下、30歳代、60歳代以上では「重要」が、40歳代、50歳代では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

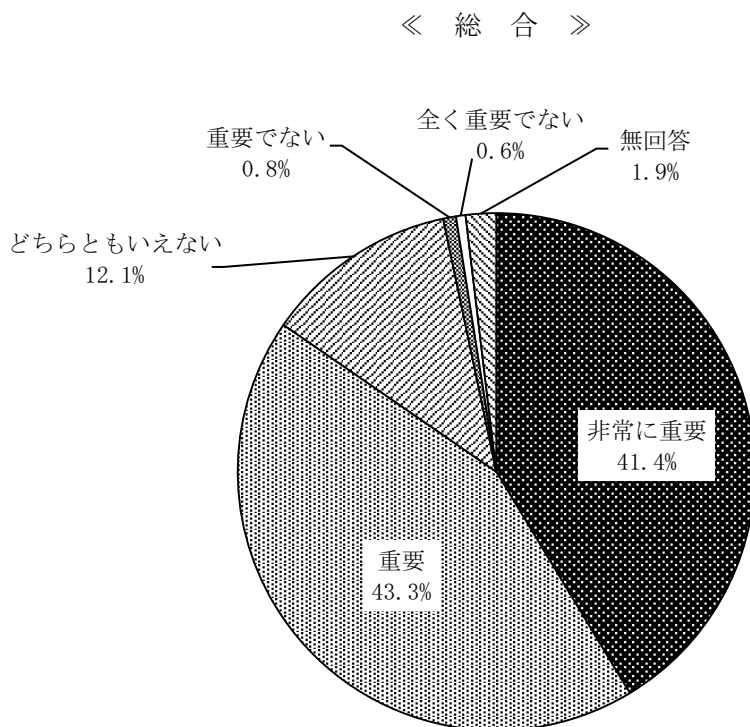
高知市、安芸広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏では「重要」が、南国・香美広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏では「どちらともいえない」が、高吾北広域圏では同率で「重要」と「どちらともいえない」が最も高くなっている。

非常に重要
 重要
 どちらともいえない
 重要でない
 全く重要でない
 無回答



2. 妊娠・出産・子どもの健康のための環境整備

「重要」が43.3%と最も高く、次いで「非常に重要」が41.4%、「どちらともいえない」が、12.1%と続いている。



【性別】

男女とも「重要」が最も高くなっている。

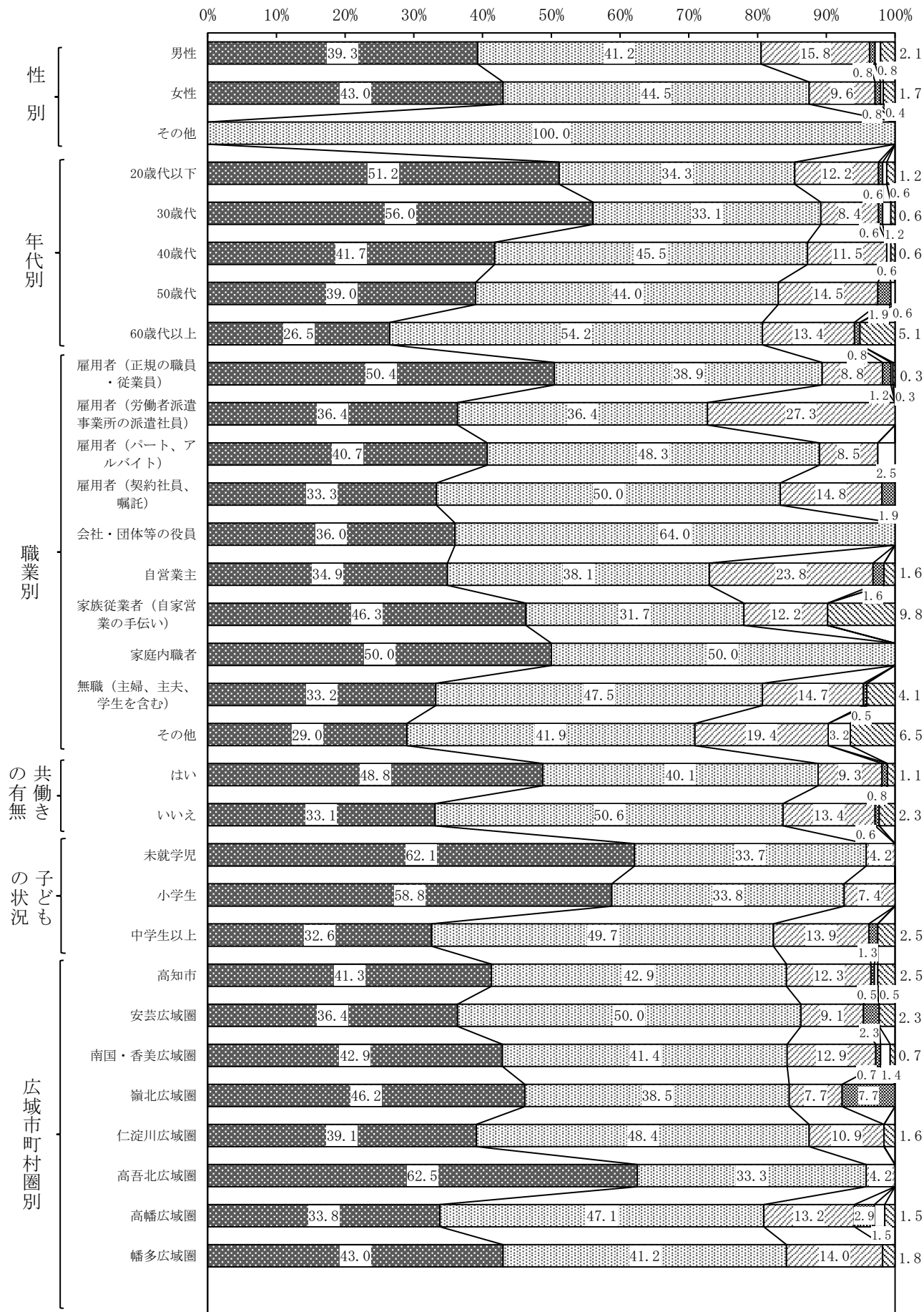
【年代別】

20歳代以下、30歳代では「非常に重要」が、40歳代、50歳代、60歳代以上では「重要」が最も高くなっている

【広域市町村圏別】

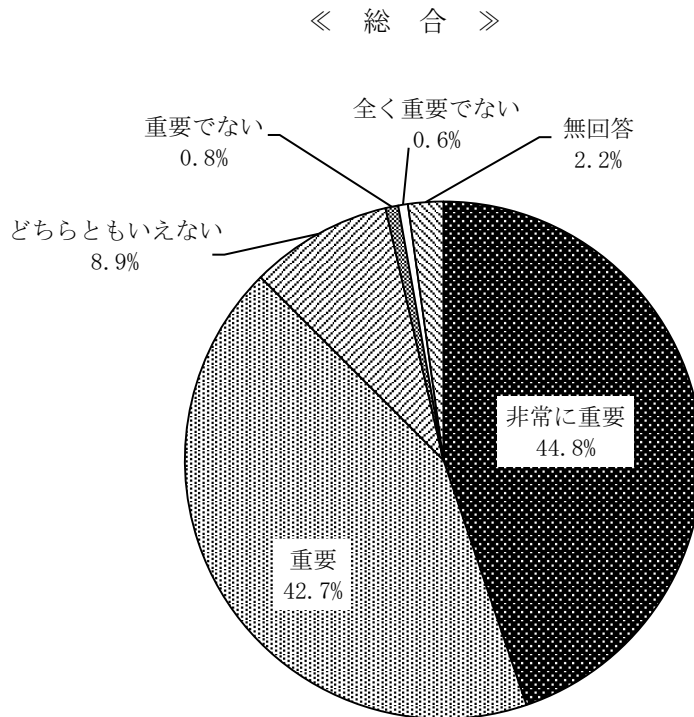
高知市、安芸広域圏、仁淀川広域圏、高幡広域圏では「重要」が、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、高吾北広域圏、幡多広域圏では「非常に重要」が最も高くなっている。

非常に重要
 重要
 どちらともいえない
 重要でない
 全く重要でない
 無回答



3. 保育サービス等の子育て支援策の充実

「非常に重要」が44.8%と最も高く、次いで「重要」が42.7%、「どちらともいえない」が8.9%と続いている。



【性別】

男性は「重要」が45.4%と最も高く、女性は「非常に重要」が49.7%と最も高くなっている。

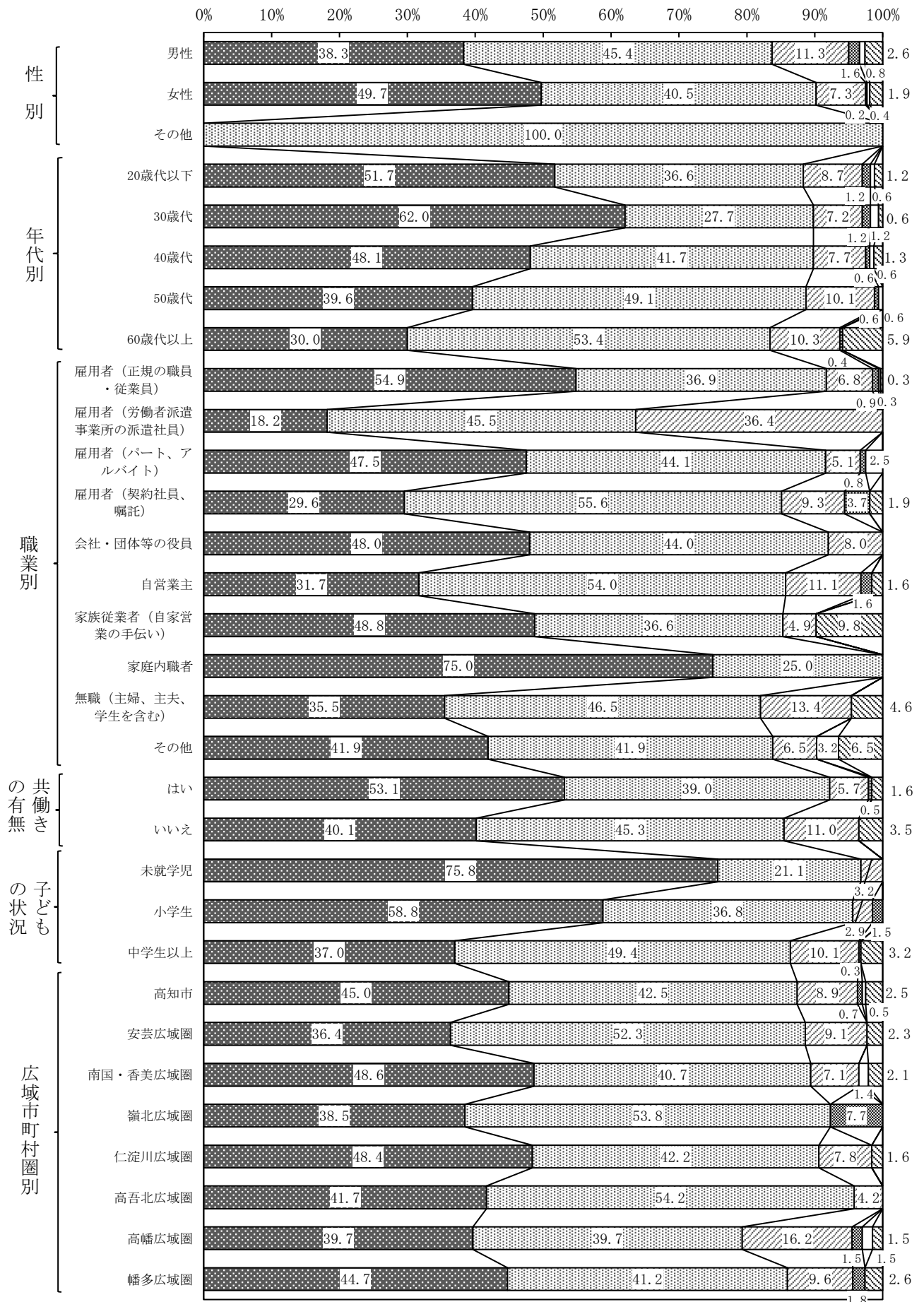
【年代別】

20歳代以下、30歳代、40歳代では「非常に重要」が、50歳代、60歳代以上では「重要」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

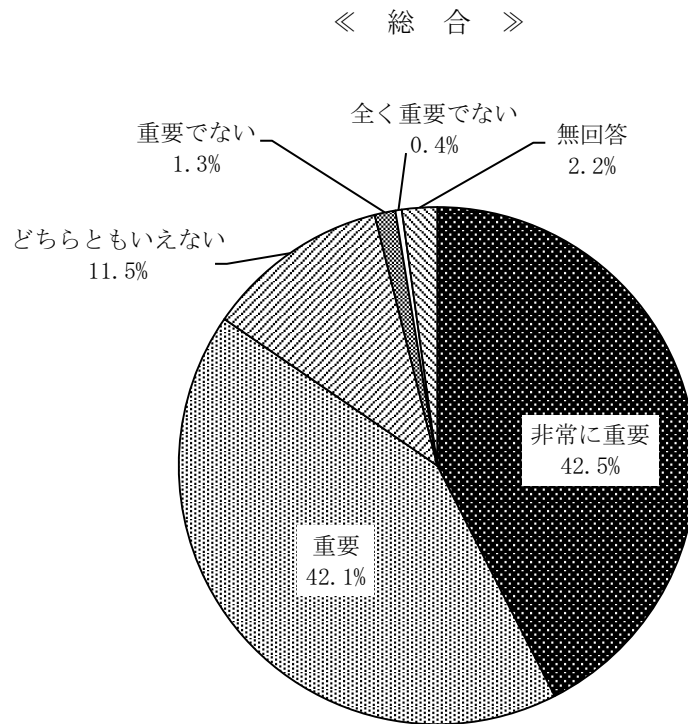
高知市、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、幡多広域圏では「非常に重要」が、安芸広域圏、嶺北広域圏、高吾北広域圏では「重要」が、高幡広域圏では同率で「非常に重要」と「重要」が最も高くなっている。

非常に重要
 重要
 どちらともいえない
 重要でない
 全く重要でない
 無回答



4. ワーク・ライフ・バランスの推進

「非常に重要」が42.5%と最も高く、次いで「重要」が42.1%、「どちらともいえない」が11.5%と続いている。



【性別】

男性では「重要」が45.9%、女性では「非常に重要」が48.4%と最も高くなっている。

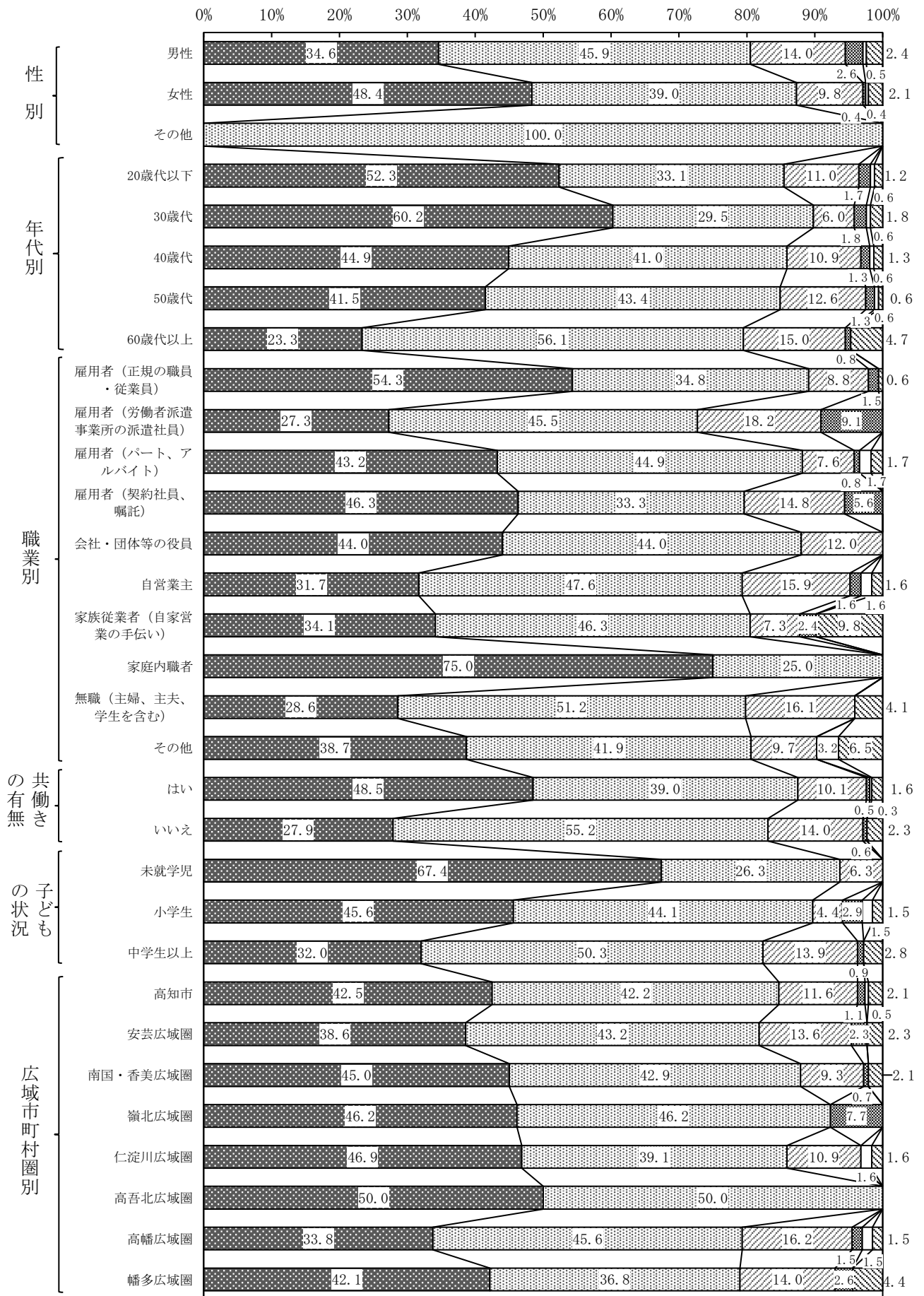
【年代別】

20歳代以下、30歳代、40歳代では「非常に重要」が、50歳代、60歳代以上では「重要」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

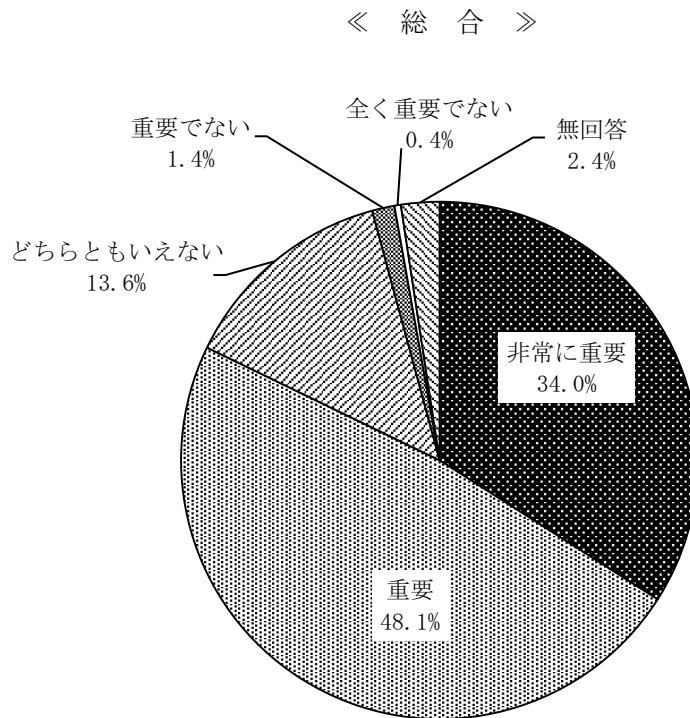
高知市、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、幡多広域圏では「非常に重要」が、安芸広域圏、高幡広域圏では「重要」が、嶺北広域圏、高吾北広域圏では同率で「非常に重要」と「重要」が最も高くなっている。

非常に重要
 重要
 どちらともいえない
 重要でない
 全く重要でない
 無回答



5. 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備等

「重要」が48.1%と最も高く、次いで「非常に重要」が34.0%、「どちらともいえない」が13.6%と続いている。



【性別】

男女とも「重要」が最も高くなっている。

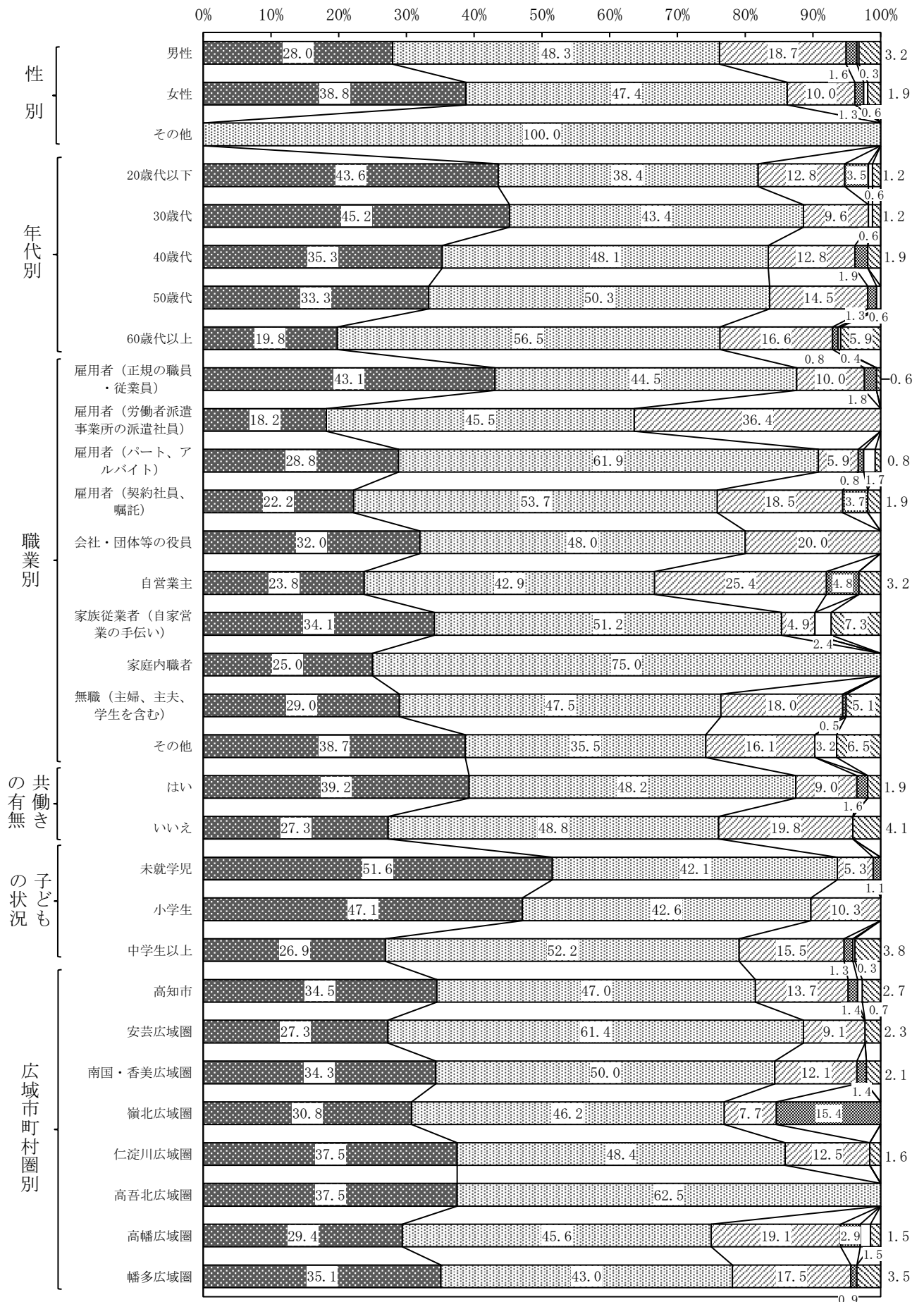
【年代別】

20歳代以下、30歳代では「非常に重要」が、40歳代、50歳代、60歳代以上では「重要」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

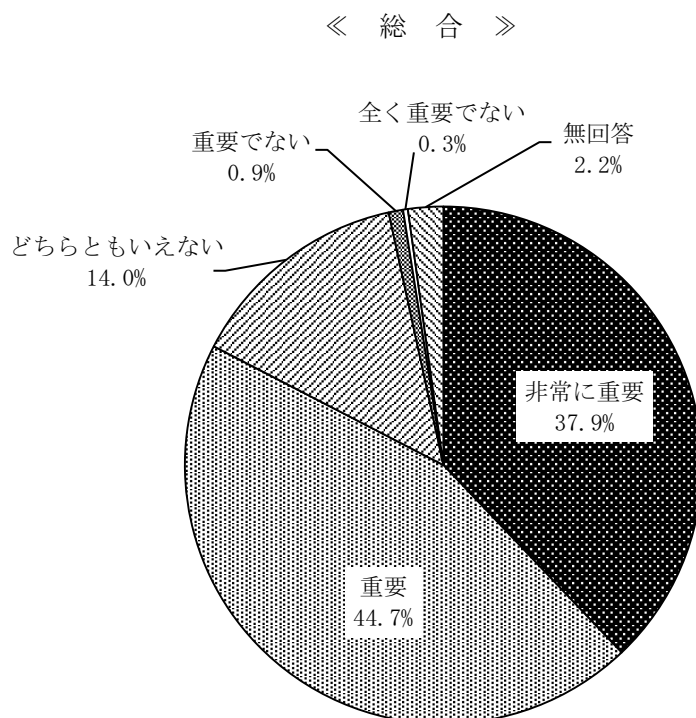
すべての広域市町村圏で「重要」が最も高くなっている。

非常に重要
 重要
 どちらともいえない
 重要でない
 全く重要でない
 無回答



6. 要保護児童への対応などきめ細やかな取り組みの推進

「重要」が44.7%と最も高く、次いで「非常に重要」が37.9%、「どちらともいえない」が14.0%と続いている。



【性別】

男性では「重要」が47.2%、女性では「非常に重要」が44.5%と最も高くなっている。

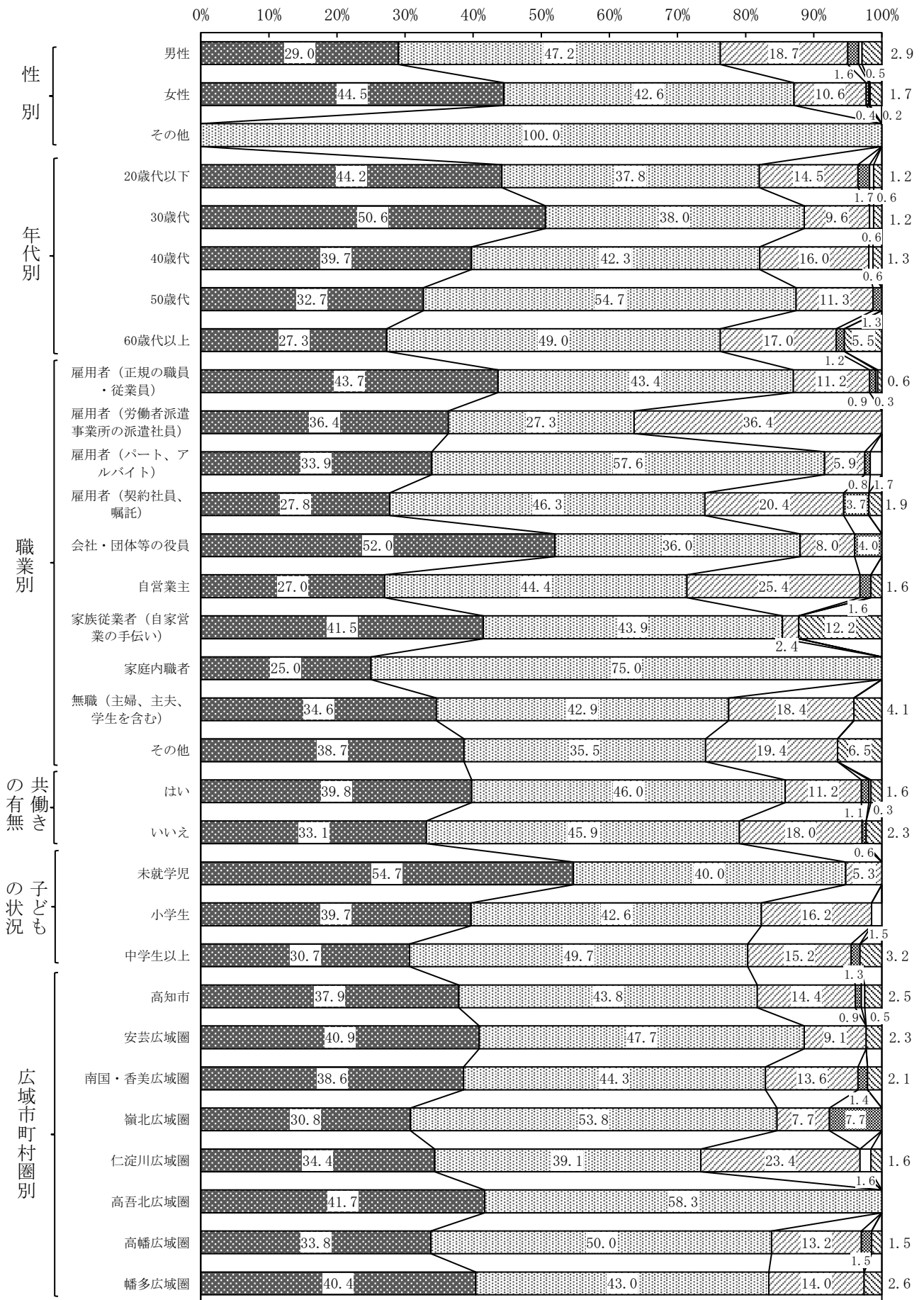
【年代別】

20歳代以下、30歳代では「非常に重要」が、40歳代、50歳代、60歳代以上では「重要」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

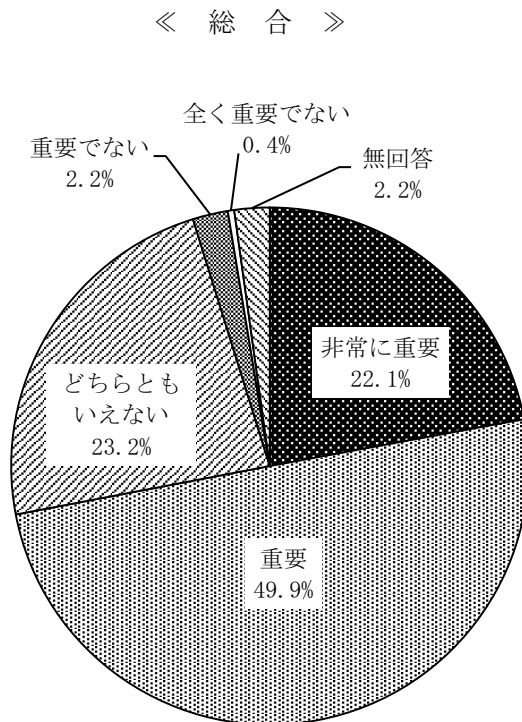
すべての広域市町村圏で「重要」が最も高くなっている。

非常に重要
 重要
 どちらともいえない
 重要でない
 全く重要でない
 無回答



7. 地域における子育て支援

「重要」が49.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.2%、「非常に重要」が22.1%と続いている。



【性別】

男女とも「重要」が最も高くなっている。

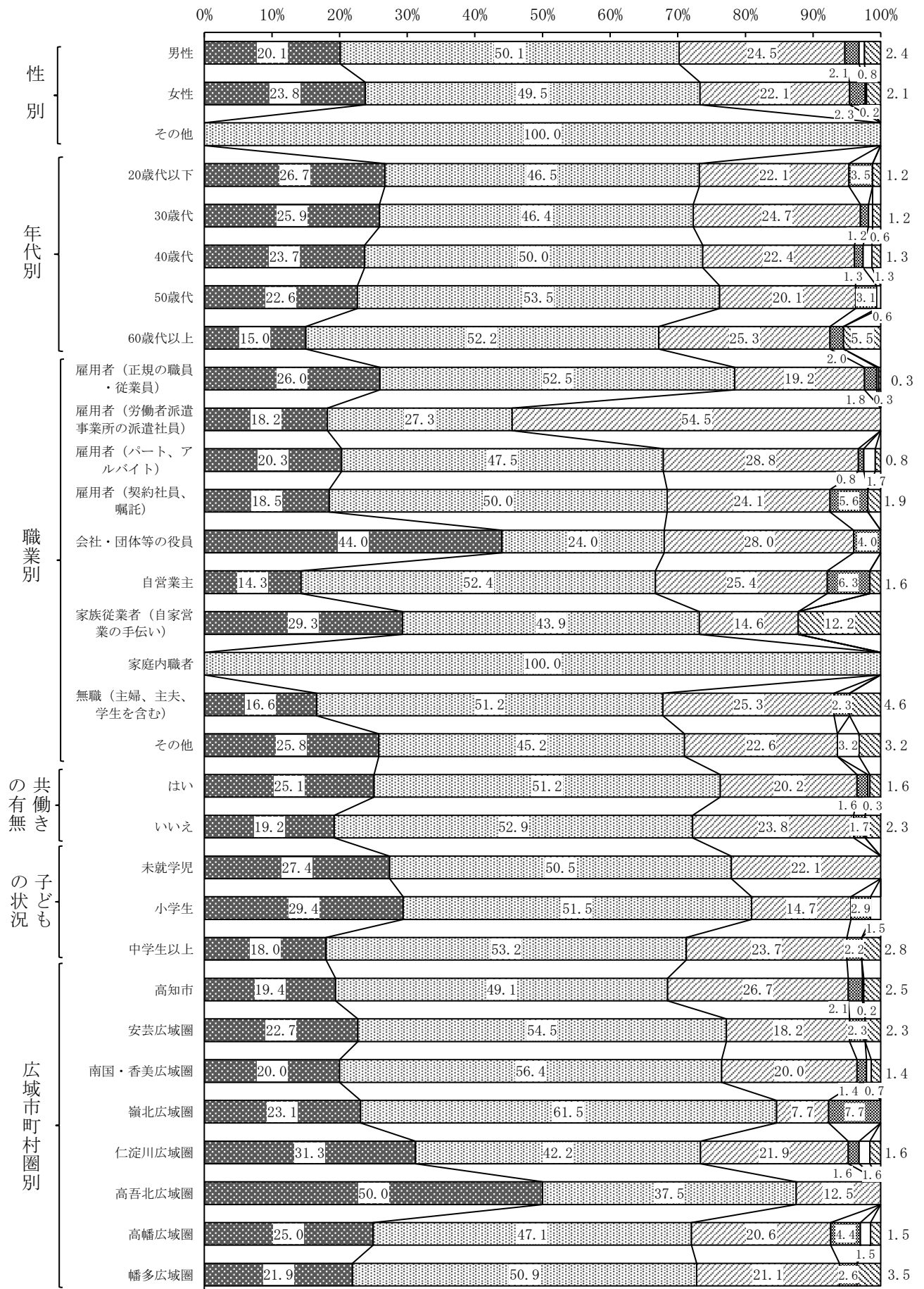
【年代別】

すべての年代で「重要」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

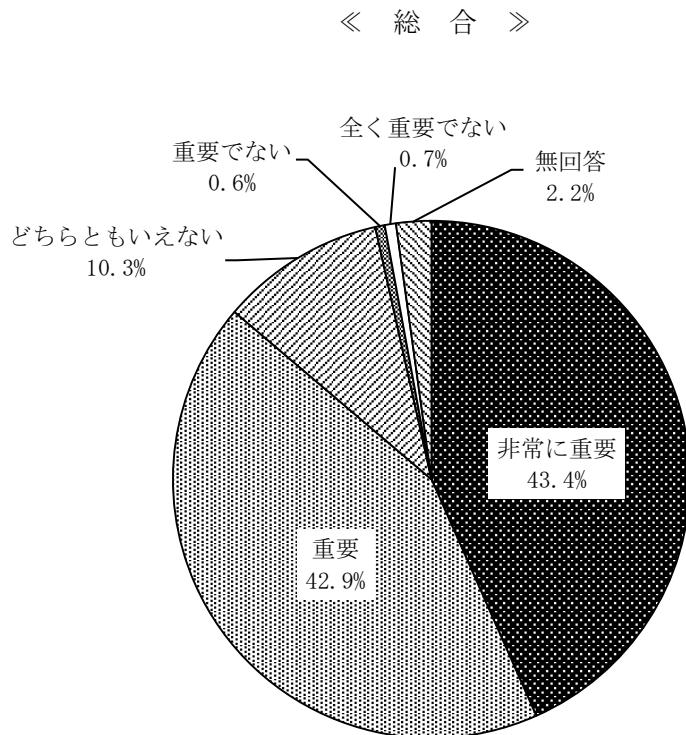
高吾北広域圏を除くすべての広域市町村圏で「重要」が、高吾北広域圏では「非常に重要」が最も高くなっている。

非常に重要
 重要
 どちらともいえない
 重要でない
 全く重要でない
 無回答



8. 子ども等の安全の確保

「非常に重要」が43.4%と最も高く、次いで「重要」が42.9%、「どちらともいえない」が10.3%と続いている。



【性別】

男性では「重要」が45.6%、女性では「非常に重要」が48.6%と最も高くなっている。

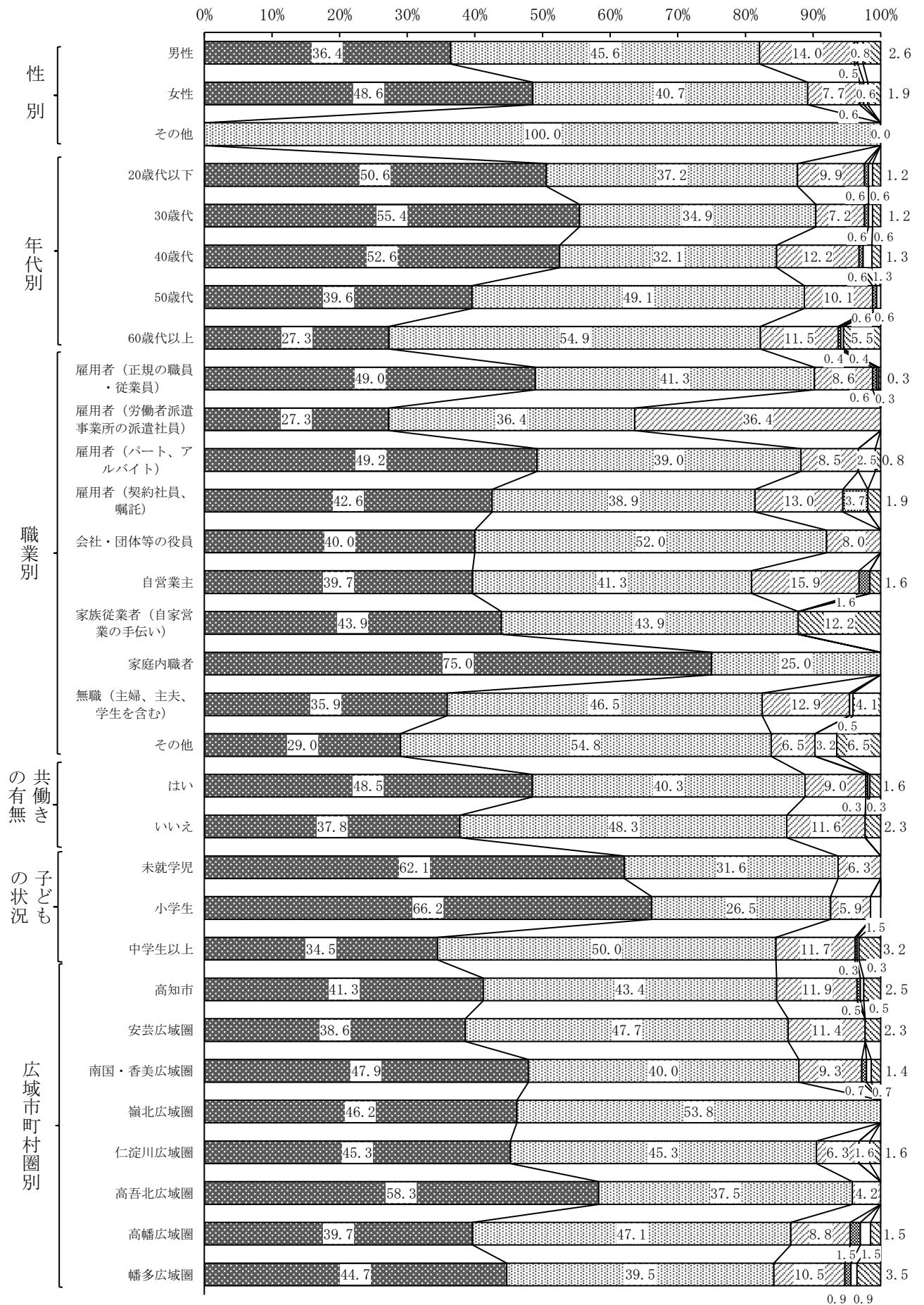
【年代別】

20歳代以下、30歳代、40歳代では「非常に重要」が、50歳代、60歳代以上では「重要」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

高知市、安芸広域圏、嶺北広域圏、高幡広域圏では「重要」が、南国・香美広域圏、高吾北広域圏、幡多広域圏では「非常に重要」が、仁淀川広域圏では同率で「非常に重要」と「重要」が最も高くなっている。

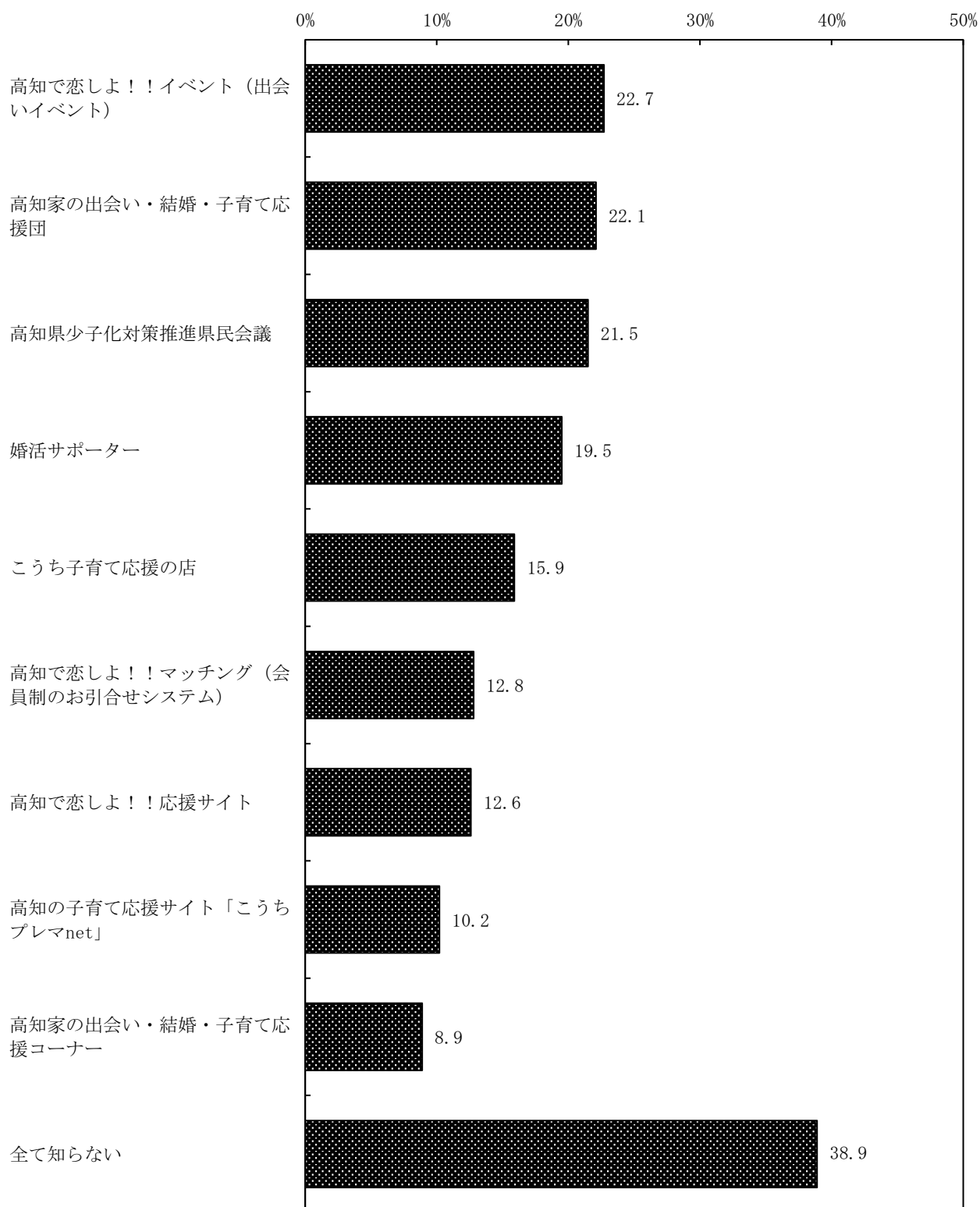
非常に重要
 重要
 どちらともいえない
 重要でない
 全く重要でない
 無回答



問4 高知県が少子化対策の取り組みとして行っている下記の事業について知っていますか。知っているものをお選びください。(あてはまるもの全てに○印)

「全て知らない」が38.9%と最も高く、次いで「高知で恋しよ！！イベント（出会いイベント）」が22.7%、「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」が22.1%と続いている。

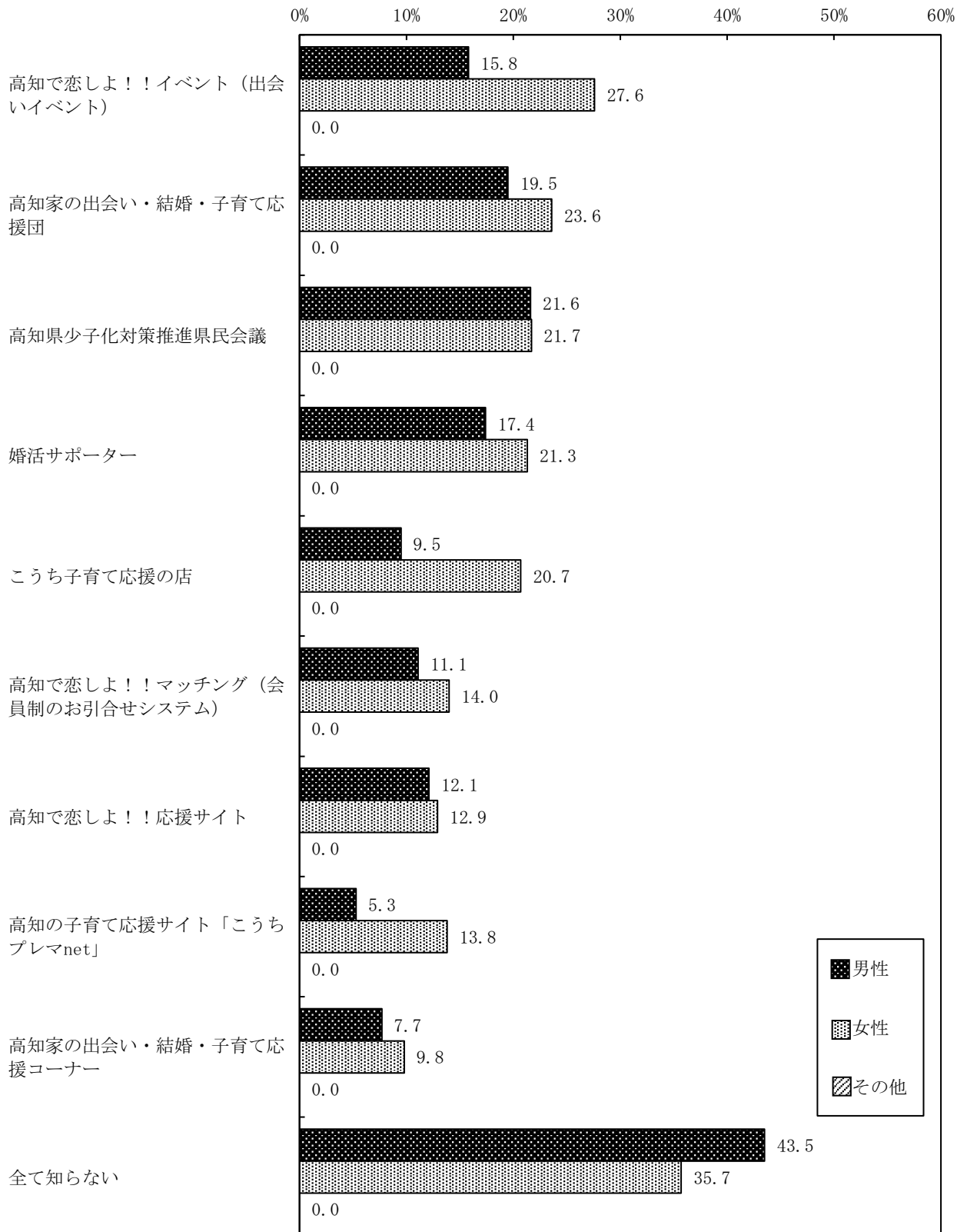
《 総 合 》



【性別】

男女とも「全て知らない」が最も高くなっている。

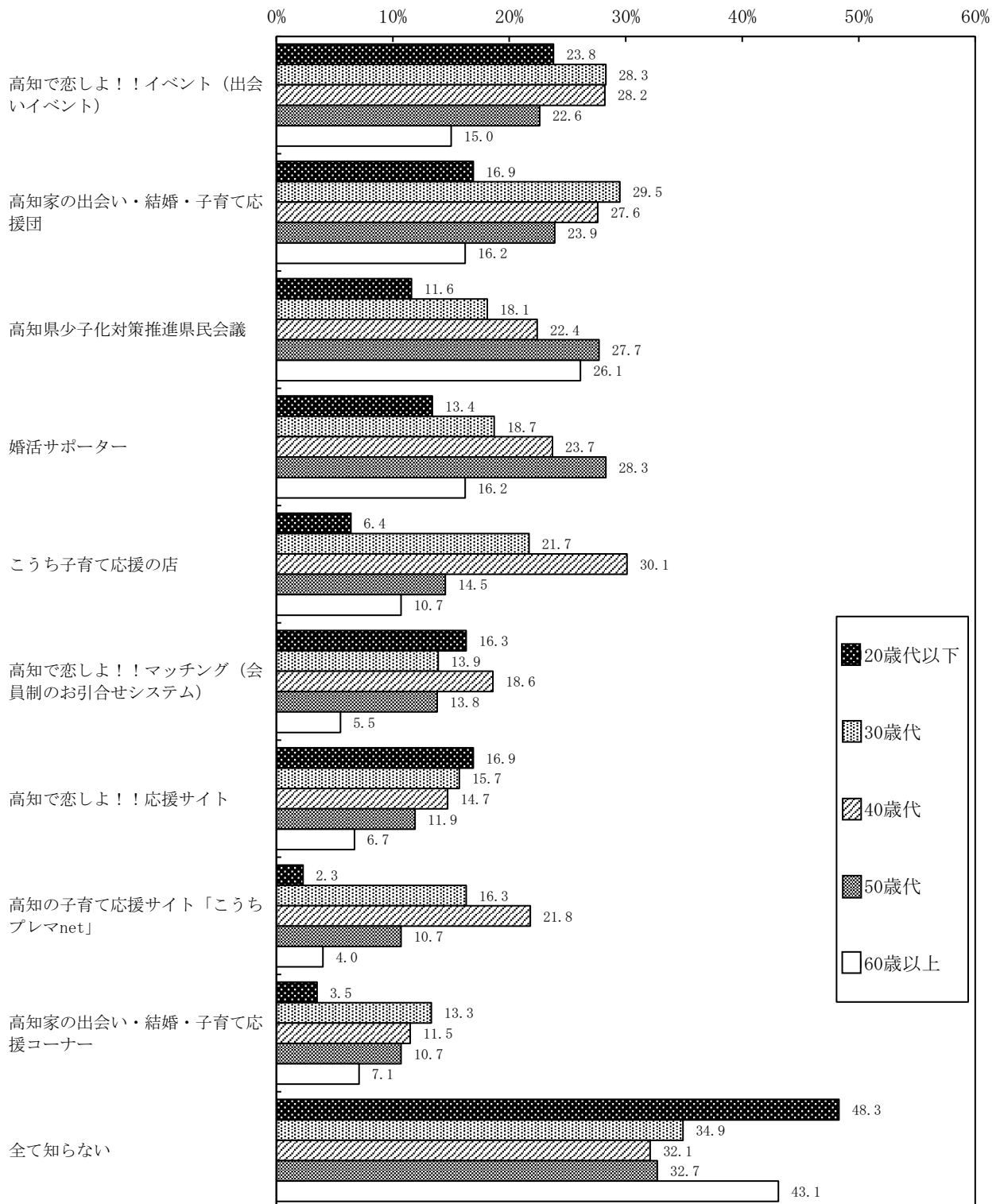
《 性別 》



【年代別】

すべての年代で「全て知らない」が最も高くなっている。

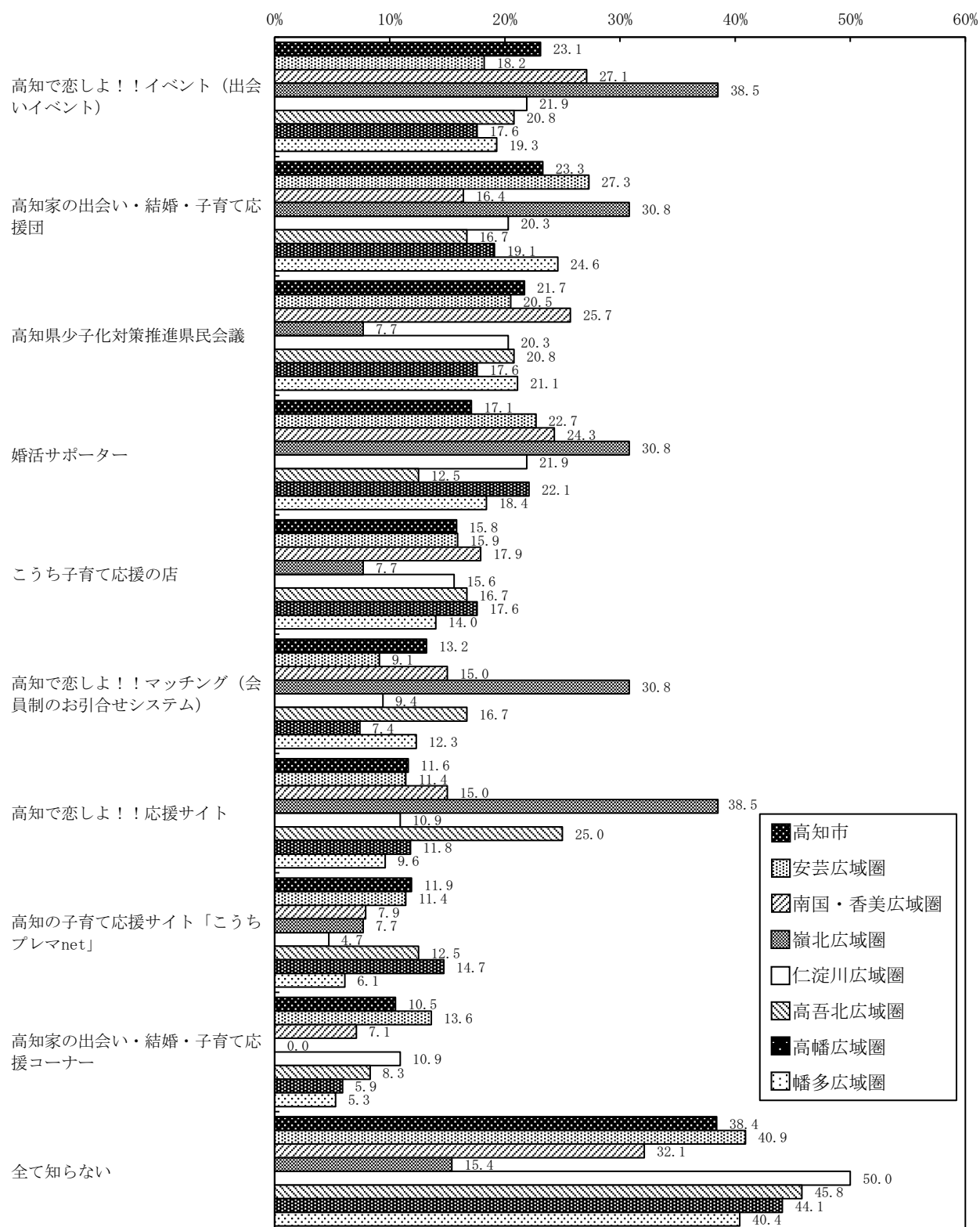
《 年 代 別 》



【広域市町村圏別】

嶺北広域圏を除くすべての広域市町村圏で「全て知らない」が、嶺北広域圏では同率で「高知で恋しよ！応援サイト」と「高知で恋しよ！イベント（出会いイベント）」が最も高くなっている。

《広域市町村圏別》



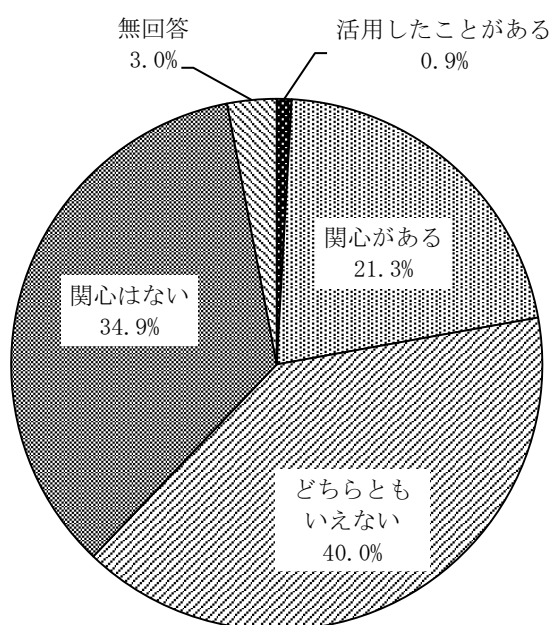
問5 高知県が行っている下記の事業について、あなたの関心度はいかがですか。各事業について、あなたの考えに近いものをお選びください。

(1. 活用したことがある 2. 関心がある 3. どちらともいえない 4. 関心はない の中からいずれか1つずつ○印)

1. 高知家の出会い・結婚・子育て応援団による情報提供

「どちらともいえない」が40.0%と最も高く、次いで「関心はない」が34.9%、「関心がある」が21.3%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

男性は「関心はない」が、女性は「どちらともいえない」が最も高くなっている。

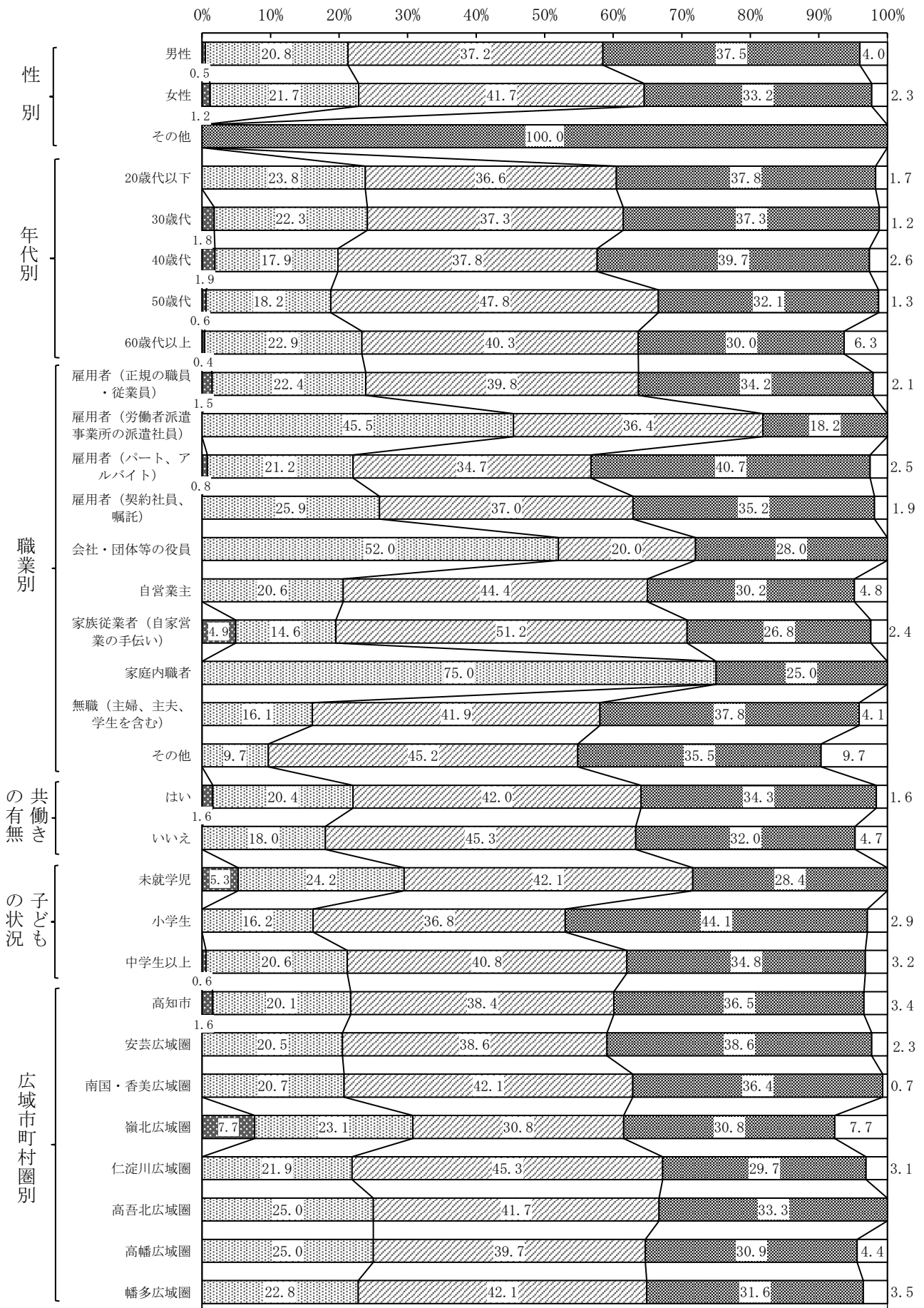
【年代別】

20歳代以下と40歳代では「関心はない」が、50歳代と60歳代以上では「どちらともいえない」が、30歳代では同率で「どちらともいえない」と「関心はない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

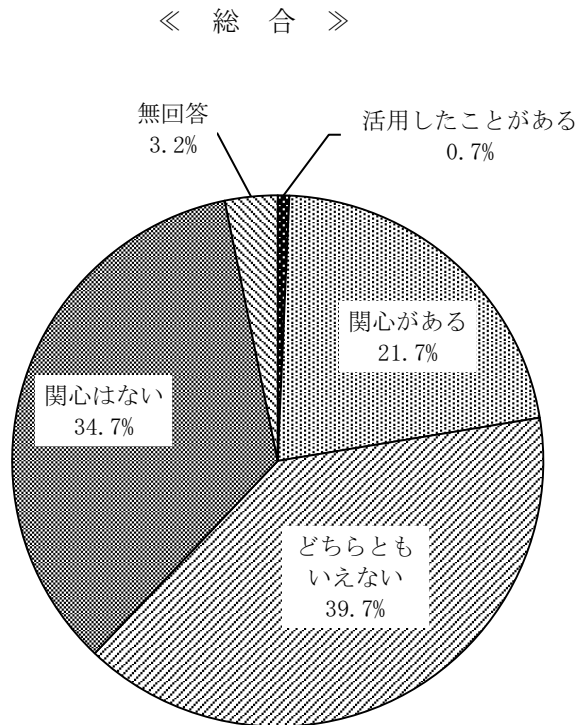
高知市、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏では「どちらともいえない」が、安芸広域圏、嶺北広域圏では同率で「どちらともいえない」と「関心はない」が最も高くなっている。

活用したことがある
 関心がある
 どちらともいえない
 関心はない
 無回答



2. 高知家の出会い・結婚・子育て応援コーナー

「どちらともいえない」が 39.7%と最も高く、次いで「関心はない」が 34.7%、「関心がある」が 21.7%と続いている。



【性別】

男性は「関心はない」が、女性は「どちらともいえない」が最も高くなっている。

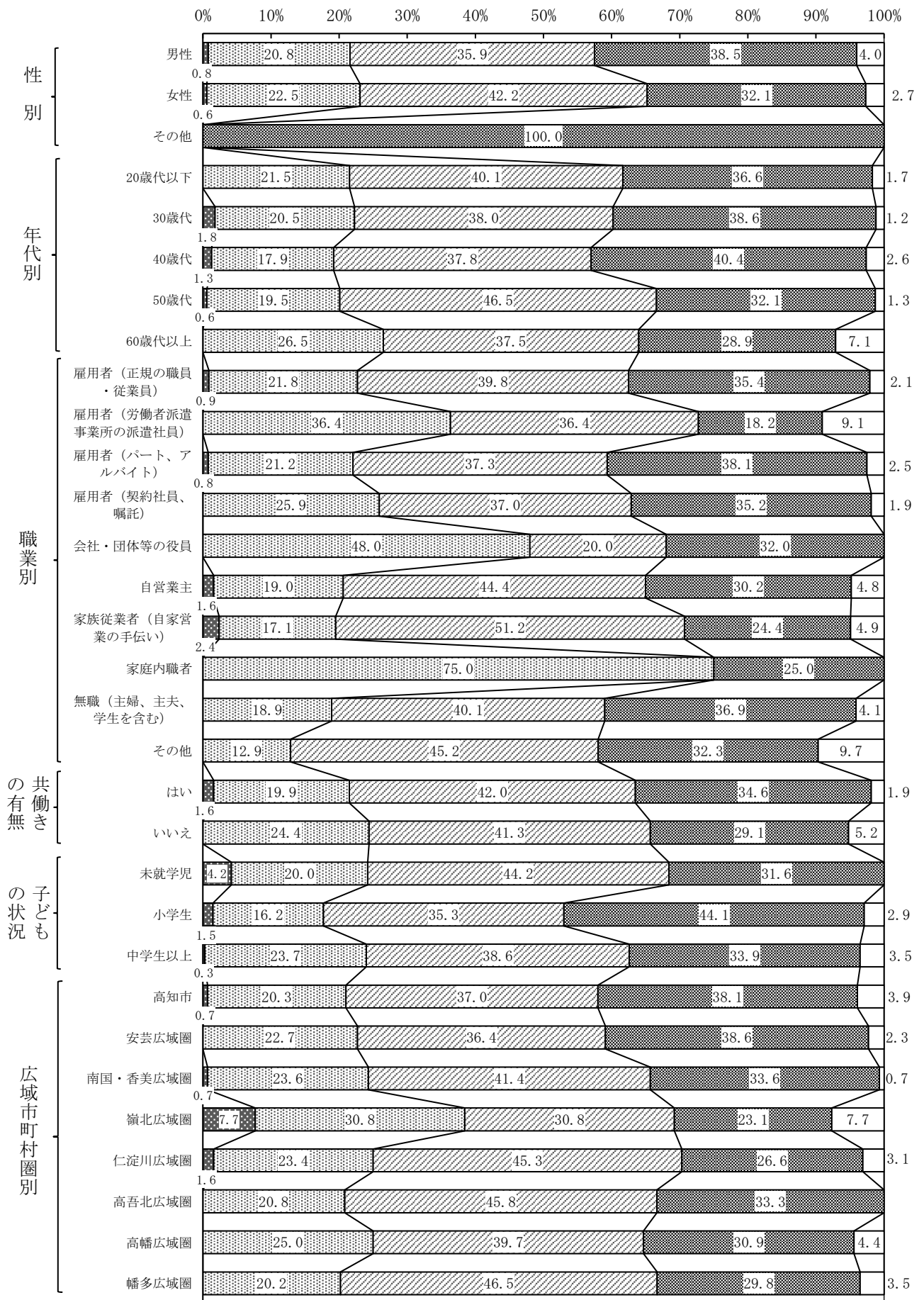
【年代別】

20歳代以下、50歳代、60歳代以上では「どちらともいえない」が、30歳代、40歳代では「関心はない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

高知市、安芸広域圏では「関心はない」が、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏では「どちらともいえない」が、嶺北広域圏では同率で「関心がある」と「どちらともいえない」が最も高くなっている。

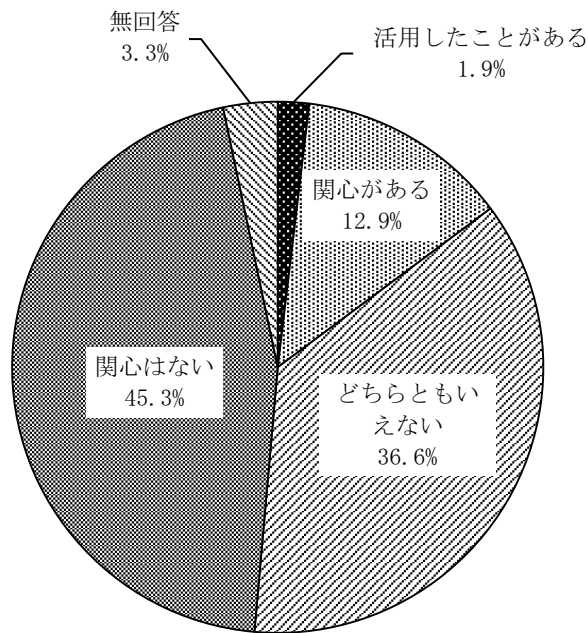
活用したことがある
 関心がある
 どちらともいえない
 関心はない
 無回答



3. 高知で恋しよ！！応援サイト

「関心はない」が 45.3%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 36.6%、「関心がある」が 12.9%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

男女ともに「関心はない」が最も高くなっている。

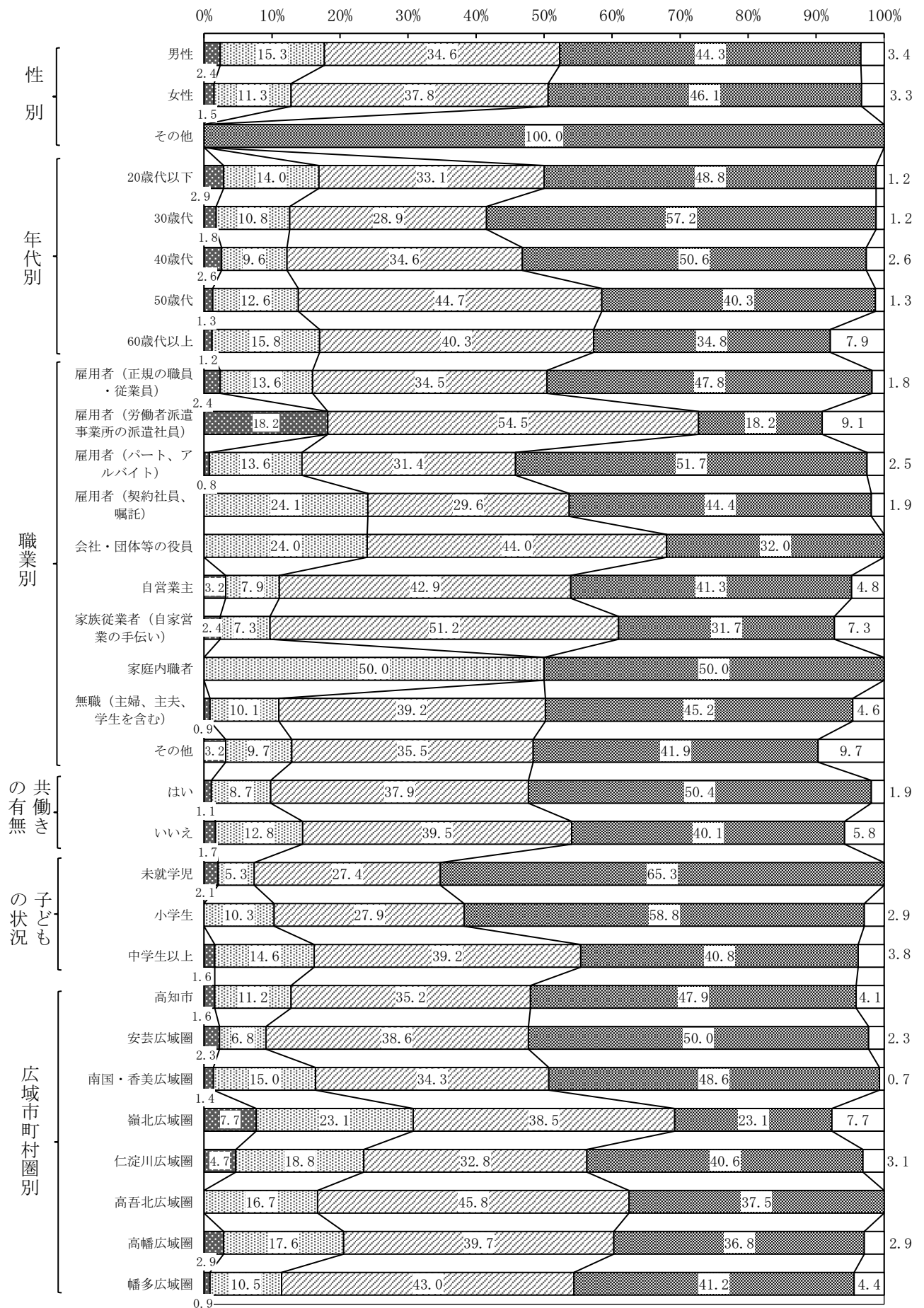
【年代別】

20歳代以下、30歳代、40歳代では「関心はない」が、50歳代、60歳代以上では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

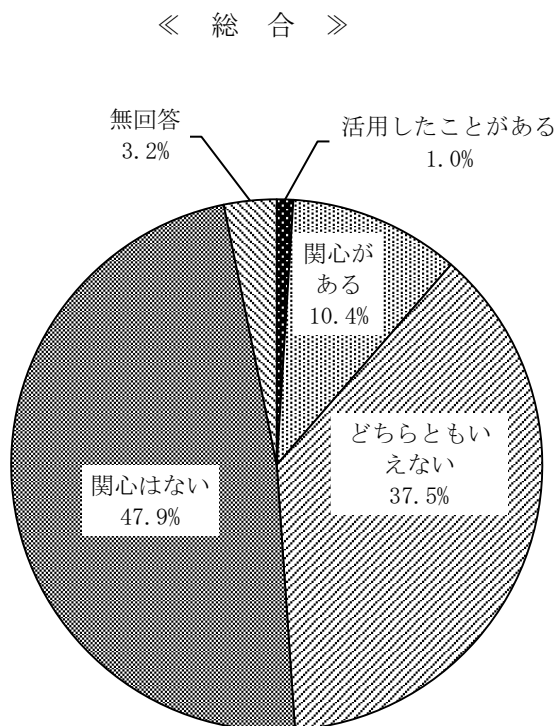
高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏では「関心はない」が、嶺北広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

活用したことがある
 関心がある
 どちらともいえない
 関心はない
 無回答



4. 高知で恋しよ！！マッチング（会員制のお引合せシステム）

「関心はない」が 47.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 37.5%、「関心がある」が 10.4%と続いている。



【性別】

男女とも「関心はない」が最も高くなっている。

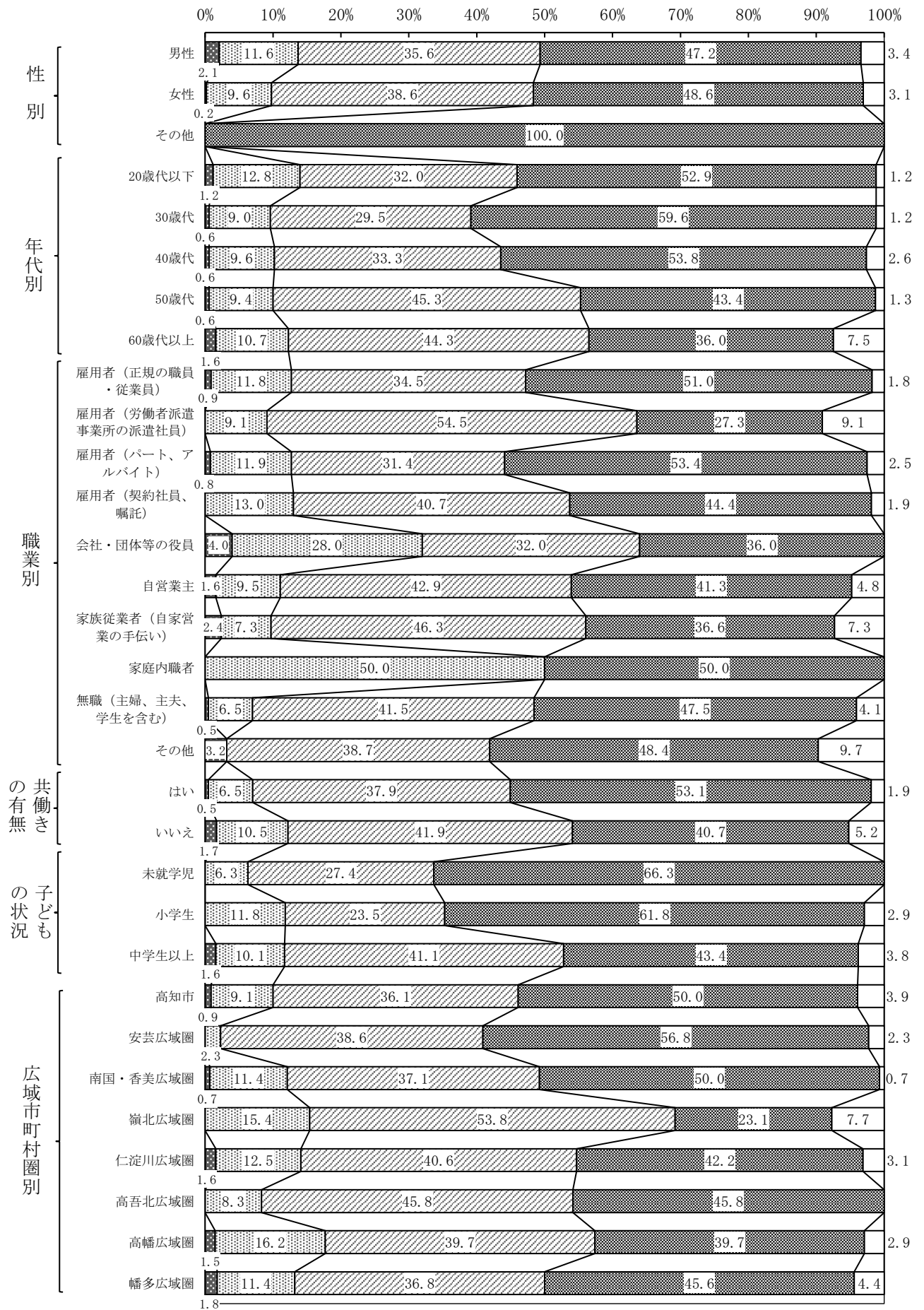
【年代別】

20歳代以下、30歳代、40歳代では「関心はない」が、50歳代、60歳代以上では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

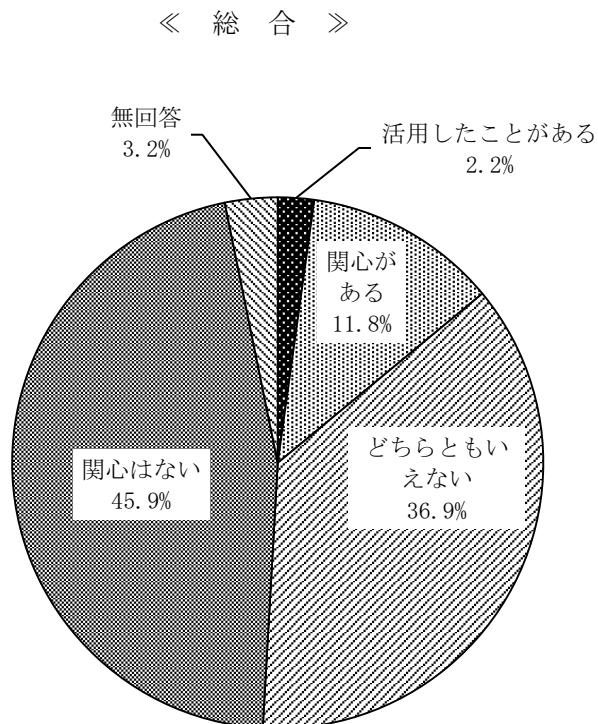
高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、幡多広域圏では「関心はない」が、嶺北広域圏では「どちらともいえない」が、高吾北広域圏、高幡広域圏では同率で「どちらともいえない」と「関心はない」が最も高くなっている。

活用したことがある
 関心がある
 どちらともいえない
 関心はない
 無回答



5. 高知で恋しよ！！イベント（出会いイベント）

「関心はない」が 45.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 36.9%、「関心がある」が 11.8%と続いている。



【性別】

男女ともに「関心はない」が最も高くなっている。

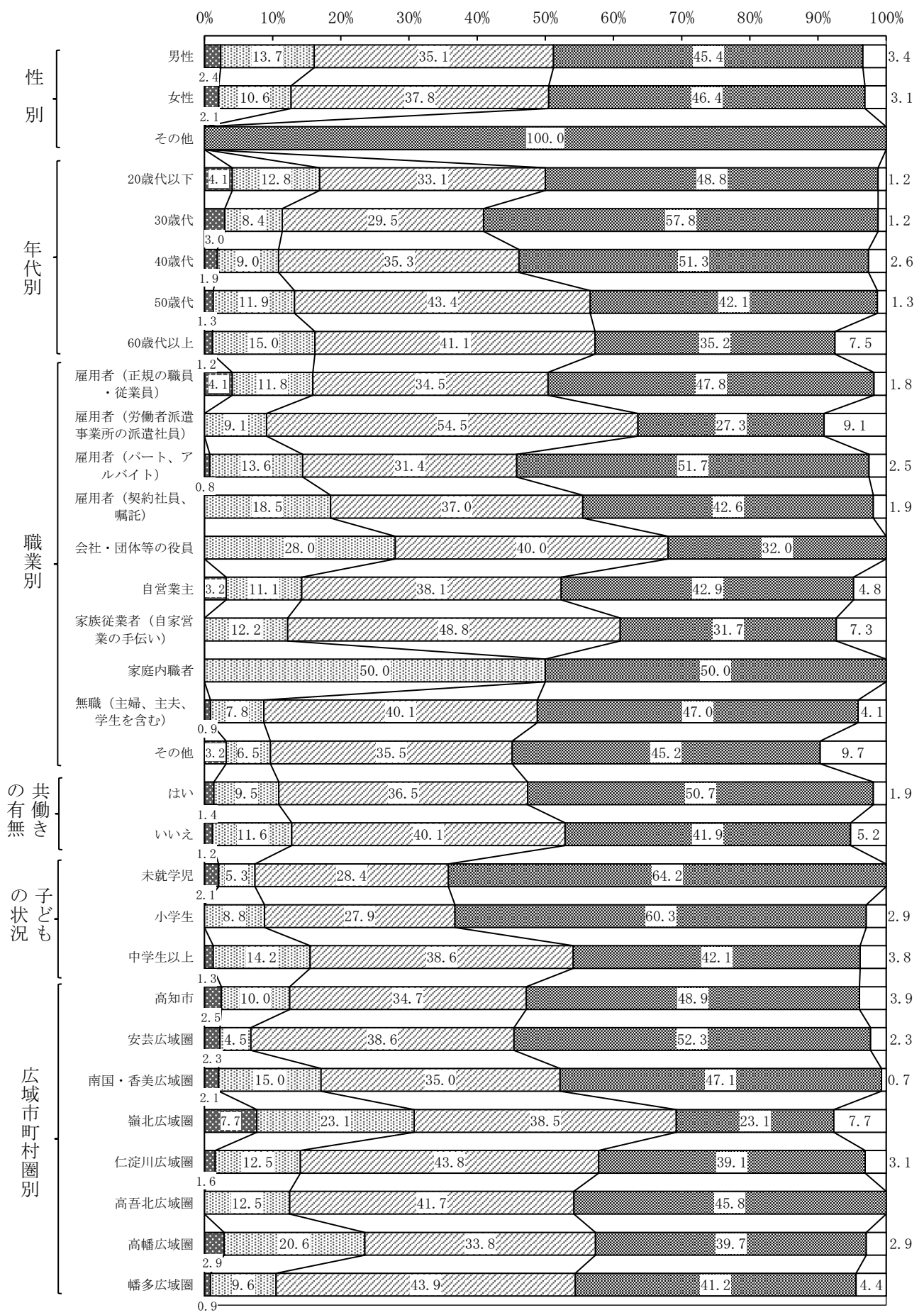
【年代別】

20歳代以下、30歳代、40歳代では「関心はない」が、50歳代、60歳代以上では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

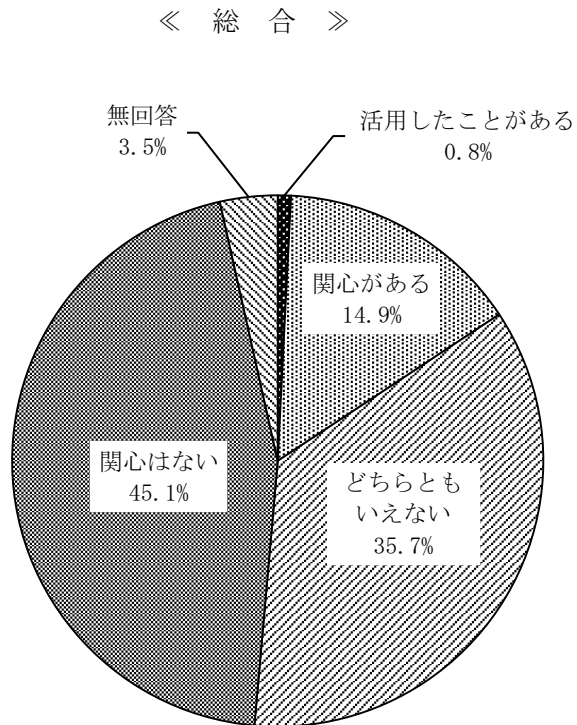
高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏では「関心はない」が、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、幡多広域圏では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

活用したことがある
 関心がある
 どちらともいえない
 関心はない
 無回答



6. 婚活サポーター

「関心はない」が 45.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 35.7%、「関心がある」が 14.9%と続いている。



【性別】

男女とも「関心はない」が最も高くなっている。

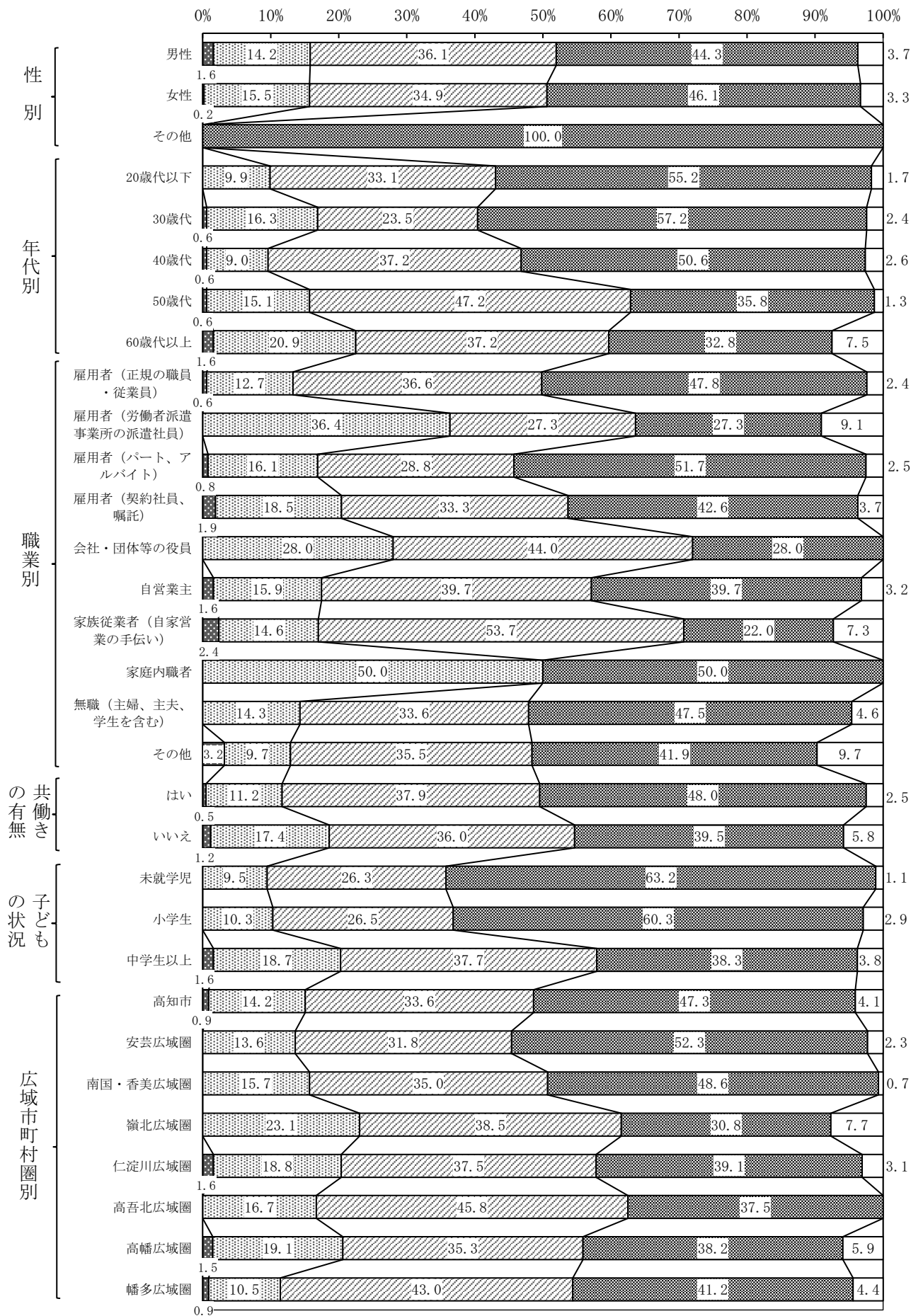
【年代別】

20歳代以下、30歳代、40歳代では「関心はない」が、50歳代、60歳代以上では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

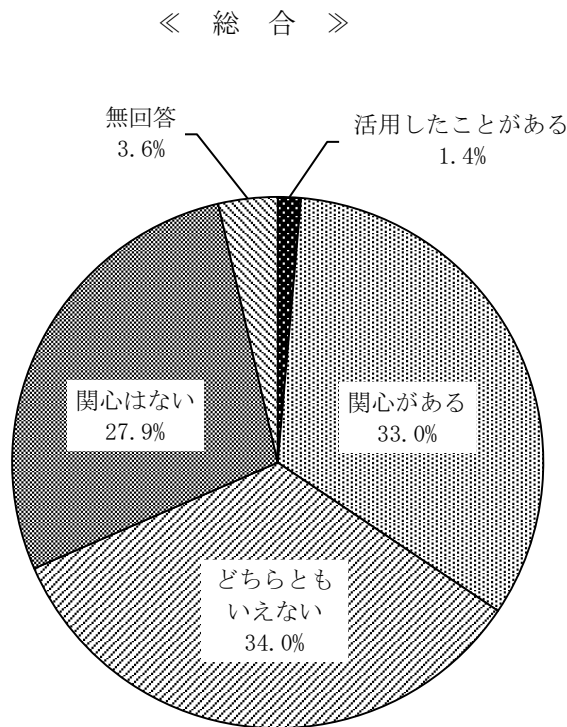
高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、高幡広域圏では「関心はない」が、嶺北広域圏、高吾北広域圏、幡多広域圏では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

活用したことがある
 関心がある
 どちらともいえない
 関心はない
 無回答



7. こうち子育て応援の店

「どちらともいえない」が 34.0%と最も高く、次いで「関心がある」が 33.0%、「関心はない」が 27.9%と続いている。



【性別】

男性は「どちらともいえない」が最も高く、女性は「関心がある」が最も高くなっている。

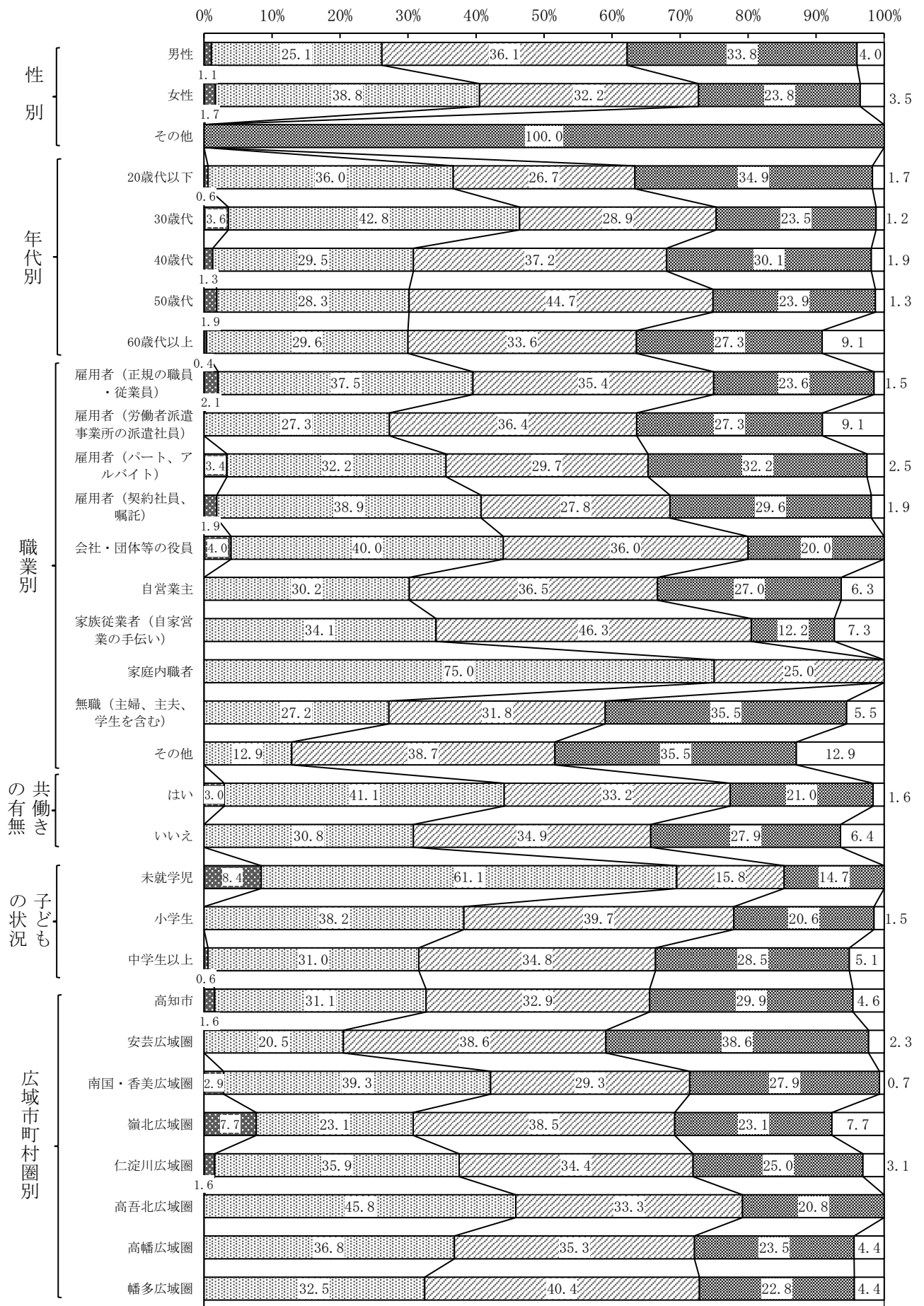
【年代別】

20歳代以下と30歳代では「関心がある」が、40歳代、50歳代、60歳代以上では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

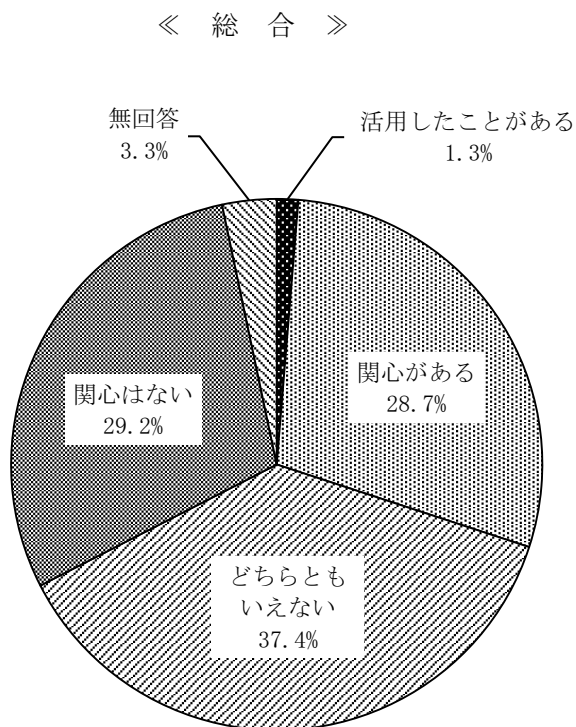
高知市、嶺北広域圏、幡多広域圏では「どちらともいえない」が、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏では「関心がある」が、安芸広域圏では同率で「どちらともいえない」と「関心はない」が最も高くなっている。

活用したことがある
 関心がある
 どちらともいえない
 関心はない
 無回答



8. 高知の子育て応援サイト「こうちプレマ net」

「どちらともいえない」が37.4%と最も高く、次いで「関心がある」が28.7%、「関心はない」が、29.2%と続いている。



【性別】

男女とも「どちらともいえない」が最も高くなっている。

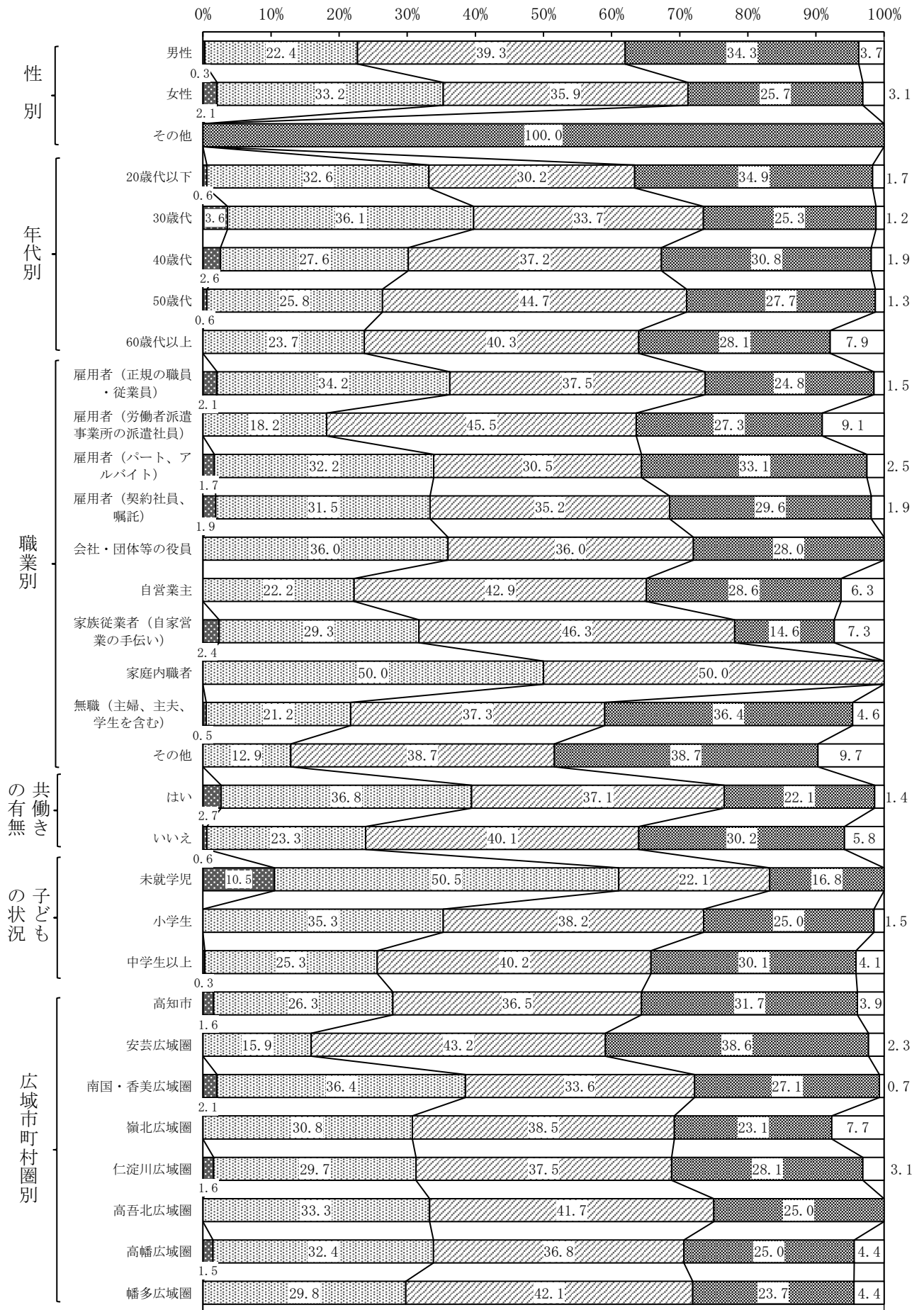
【年代別】

20歳代以下は「関心はない」が、30歳代は「関心がある」が、40歳代、50歳代、60歳代以上では「どちらともいえない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

南国・香美広域圏を除くすべての広域市町村圏で「どちらともいえない」が、南国・香美広域圏では「関心がある」が最も高くなっている。

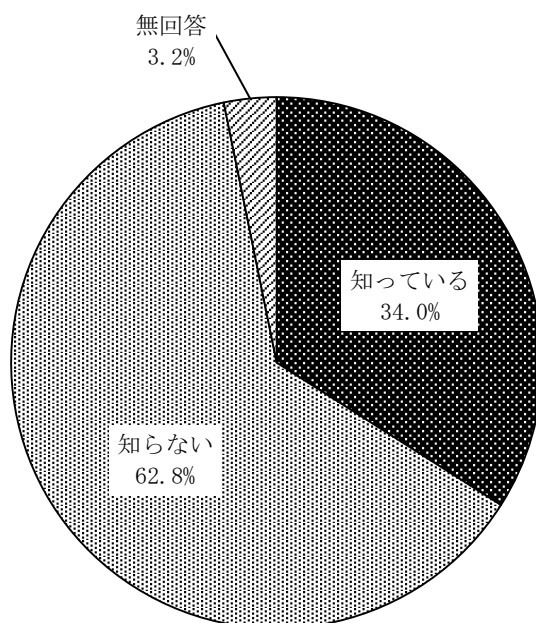
活用したことがある
 関心がある
 どちらともいえない
 関心はない
 無回答



問6 高知県の少子化対策や取組について、テレビや新聞、チラシ、通信、ホームページ等により啓発を行っていますが、知っていますか。(1つだけ○印)

「知らない」が62.8%と最も高く、次いで「知っている」が34.0%となっている。

《 総 合 》



【性別】

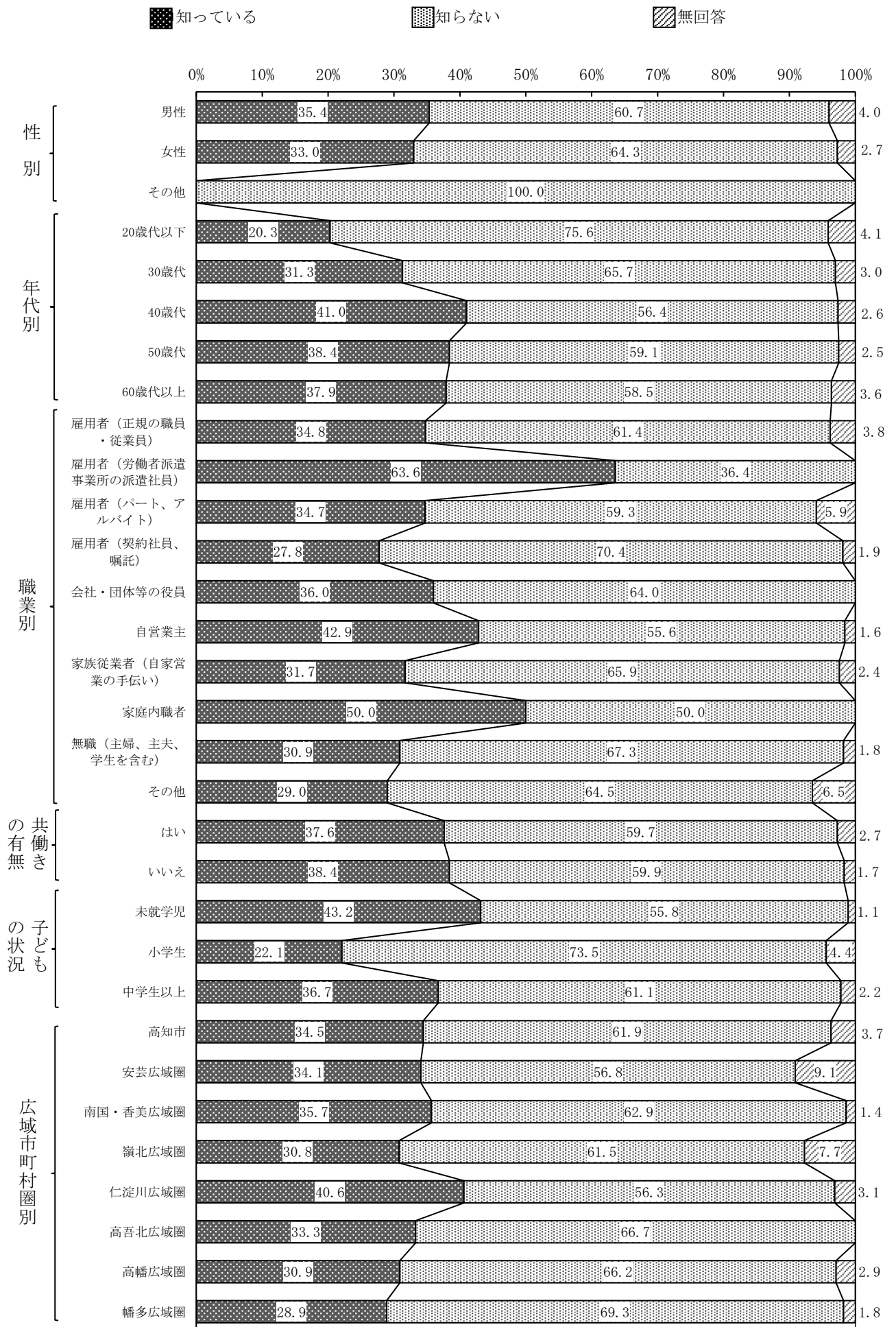
男女とも「知らない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「知らない」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

すべての広域市町村圏で「知らない」が最も高くなっている。



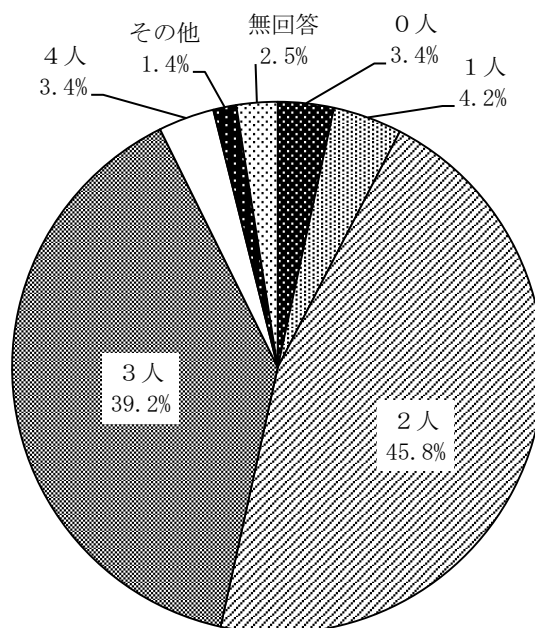
【3. 子育てについて】

問7 あなたにとって理想的な子どもの数は何人ですか。

(1つだけ○印)

「2人」が45.8%と最も高く、次いで「3人」が39.2%、「1人」が4.2%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

男女ともに「2人」が最も高くなっている。

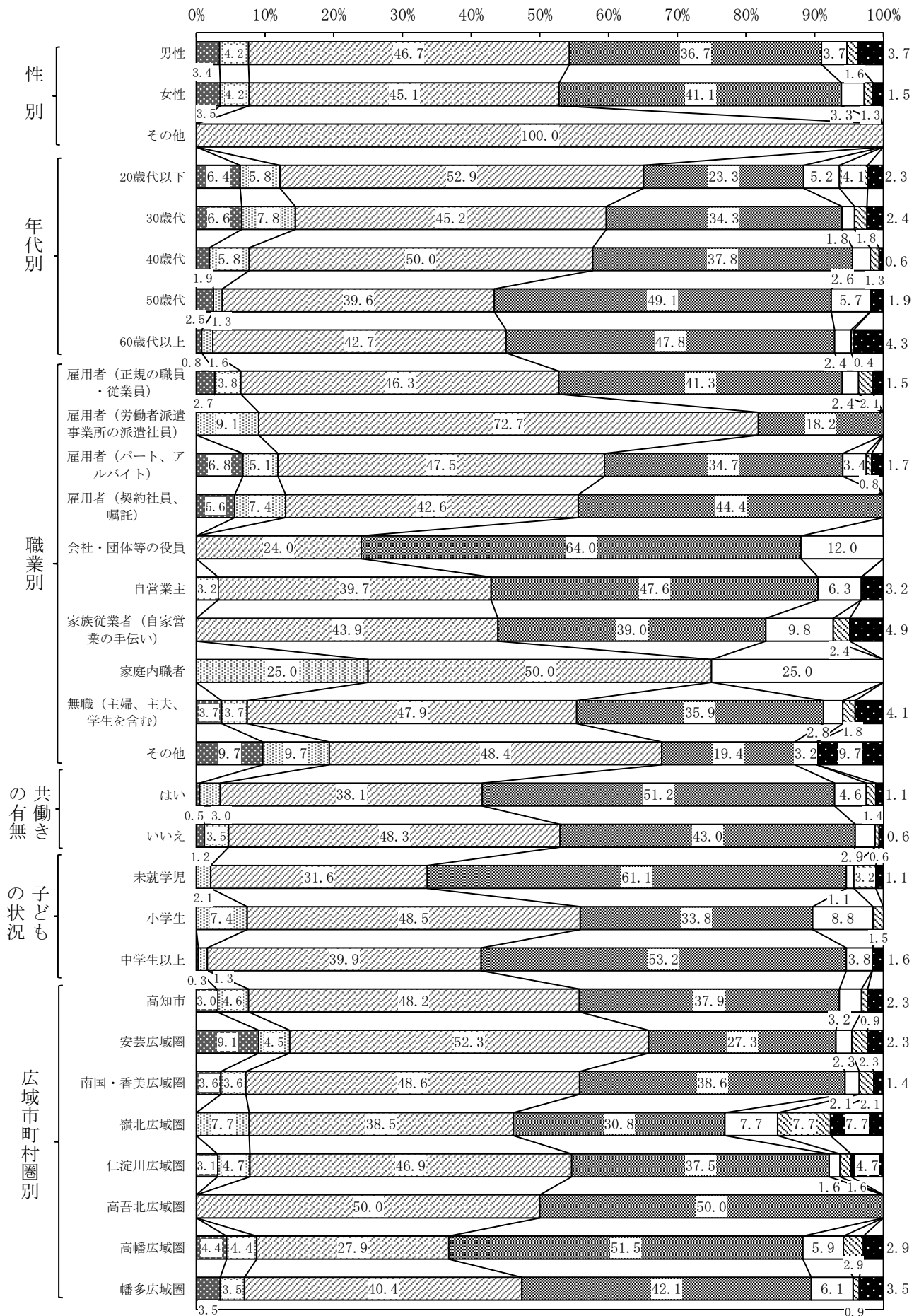
【年代別】

20歳代以下、30歳代、40歳代では「2人」が、50歳代、60歳代以上では「3人」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏では「2人」が、高幡広域圏、幡多広域圏では「3人」が、高吾北広域圏では同率で「2人」と「3人」が最も高くなっている。

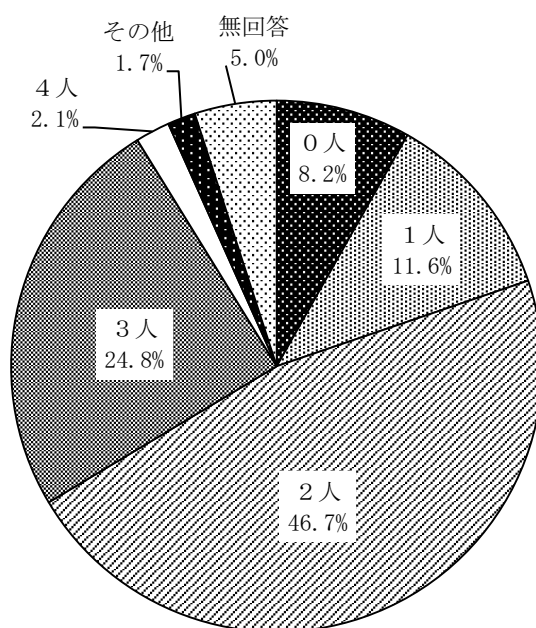
0人
 1人
 2人
 3人
 4人
 その他
 無回答



問8 あなたが、現実的に持ちたいと考えている子どもの人数は何人ですか。
(現在の人数と今後持つつもりの人数の合計) (1つだけ○印)

「2人」が46.7%と最も高く、次いで「3人」が24.8%、「1人」が11.6%と続いている。

《 総合 》



【性別】

男女ともに「2人」が最も高くなっている。

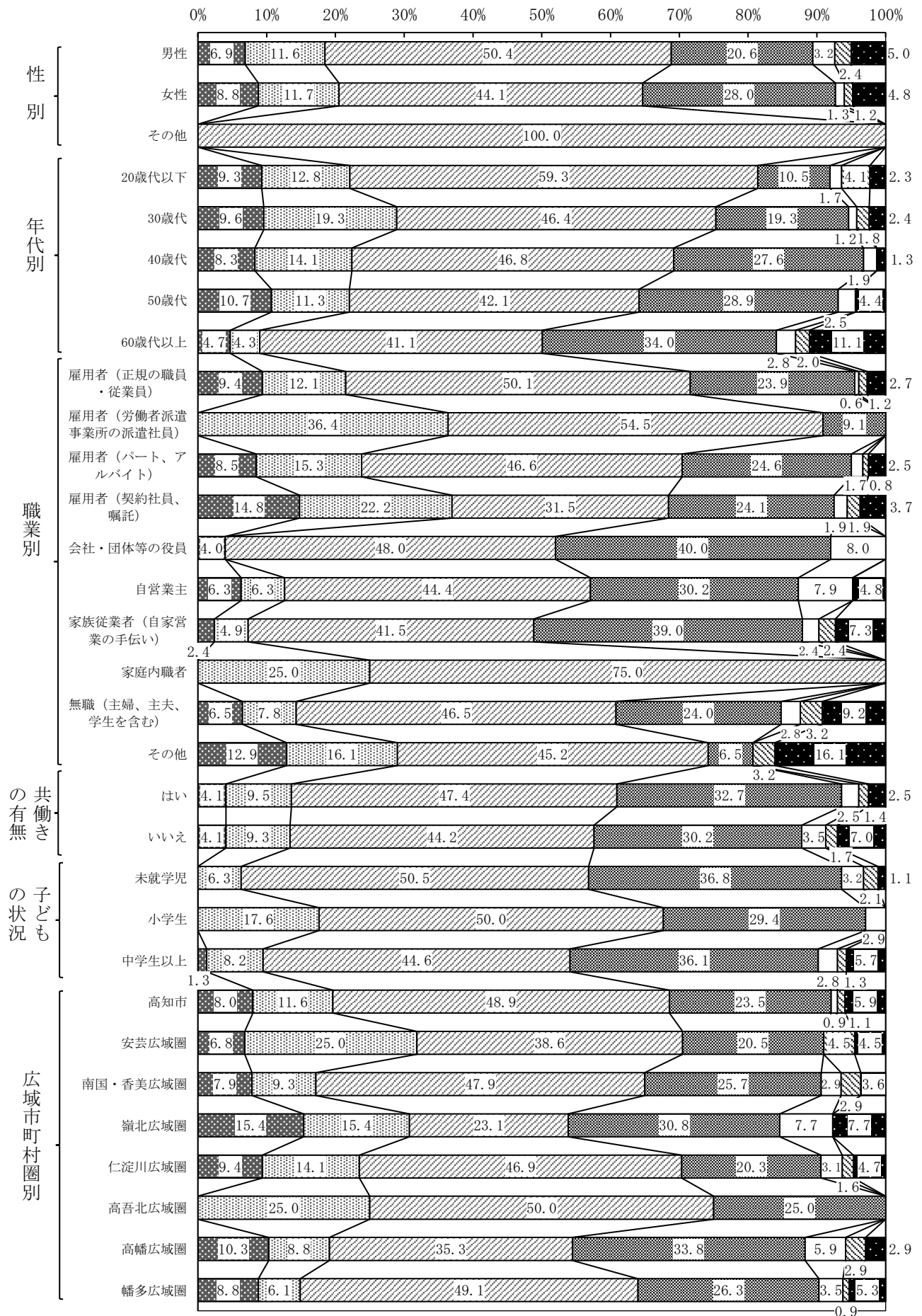
【年代別】

すべての年代で「2人」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

嶺北広域圏を除くすべての広域市町村圏で「2人」が、嶺北広域圏では「3人」が最も高くなっている。

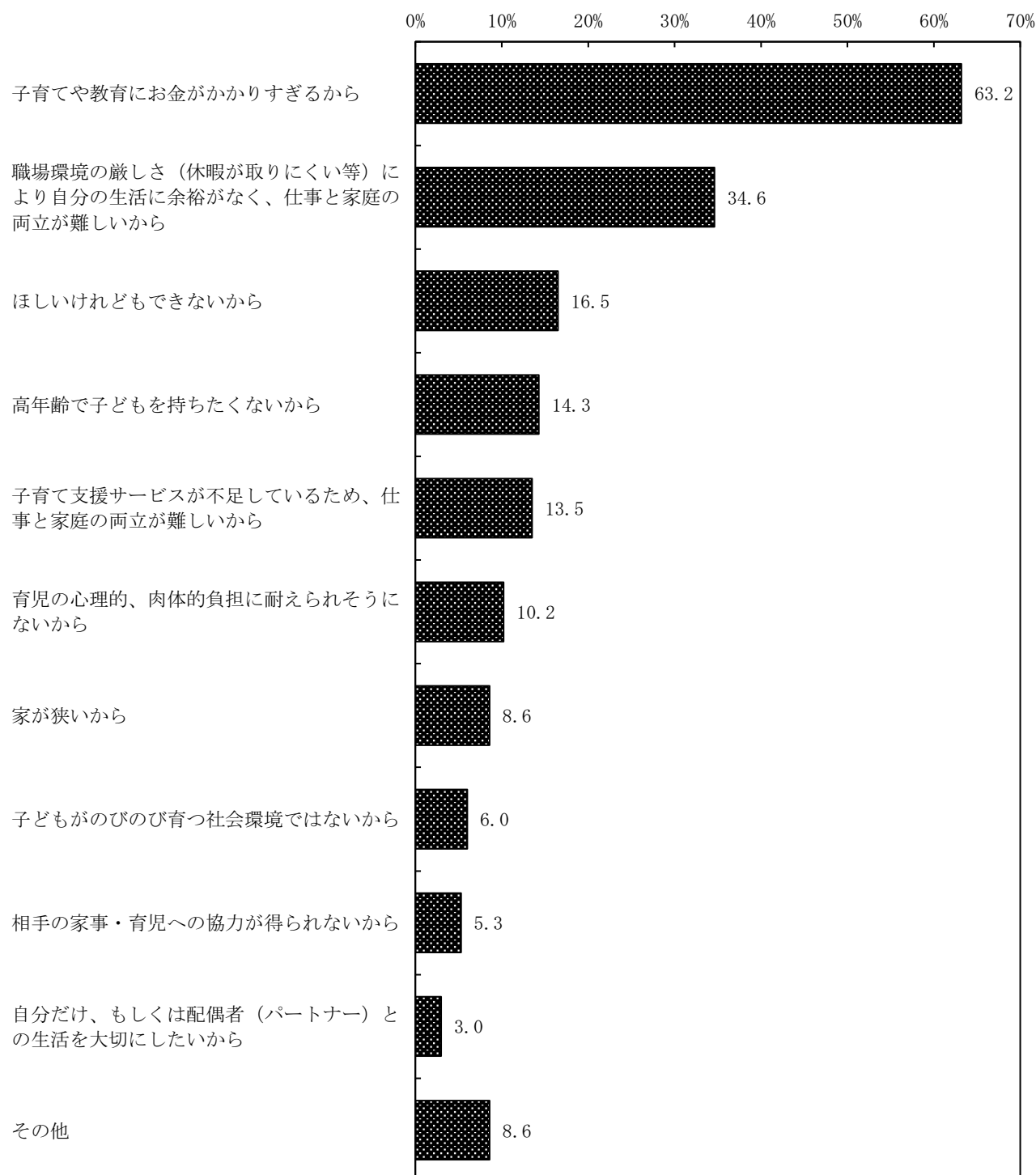
0人
 1人
 2人
 3人
 4人
 その他
 無回答



問9 理想の数だけ子どもを持たない理由について、あなたの考えに近いものをお答えください。
 (問8 の人数が問7 の人数より少ない方のみお答えください。)(3つまで○印)

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」63.2%と最も高く、次いで「職場環境の厳しさ(休暇が取りにくい等)により自分の生活に余裕がなく、仕事と家庭の両立が難しいから」が34.6%、「ほしいけれどもできないから」が16.5%と続いている。

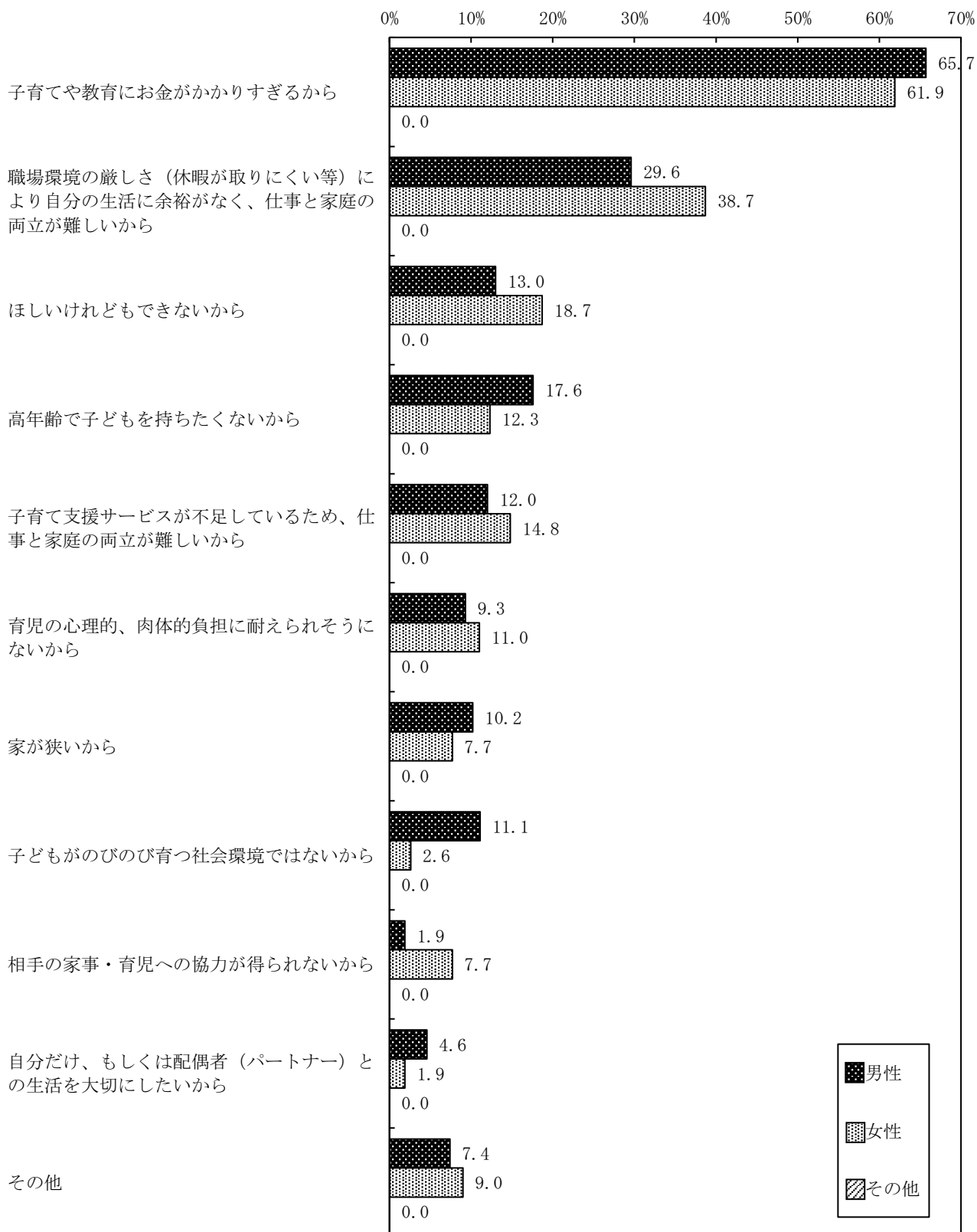
《 総 合 》



【性別】

男女ともに「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も高くなっている。

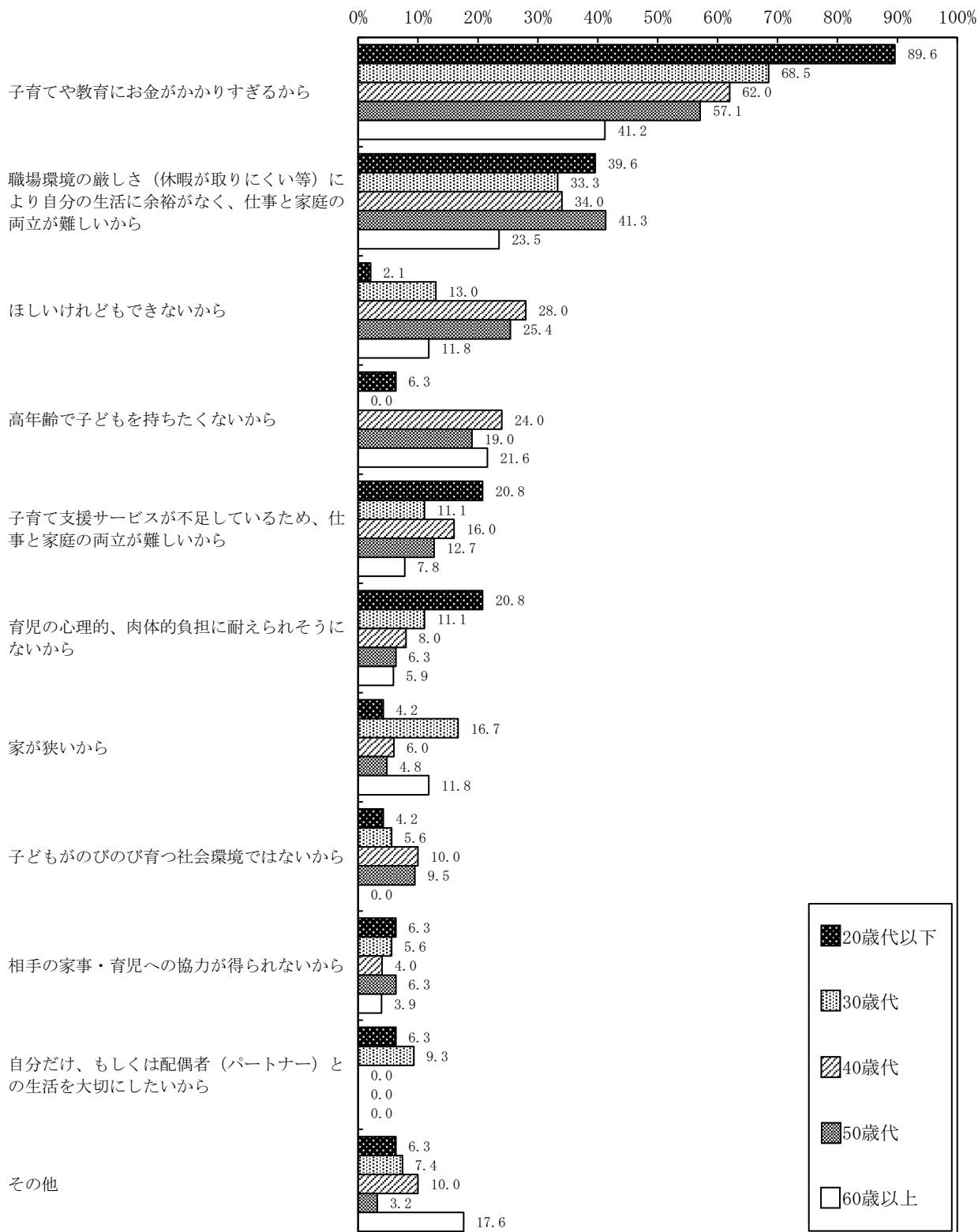
《 性別 》



【年代別】

すべての年代で「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も高くなっている。

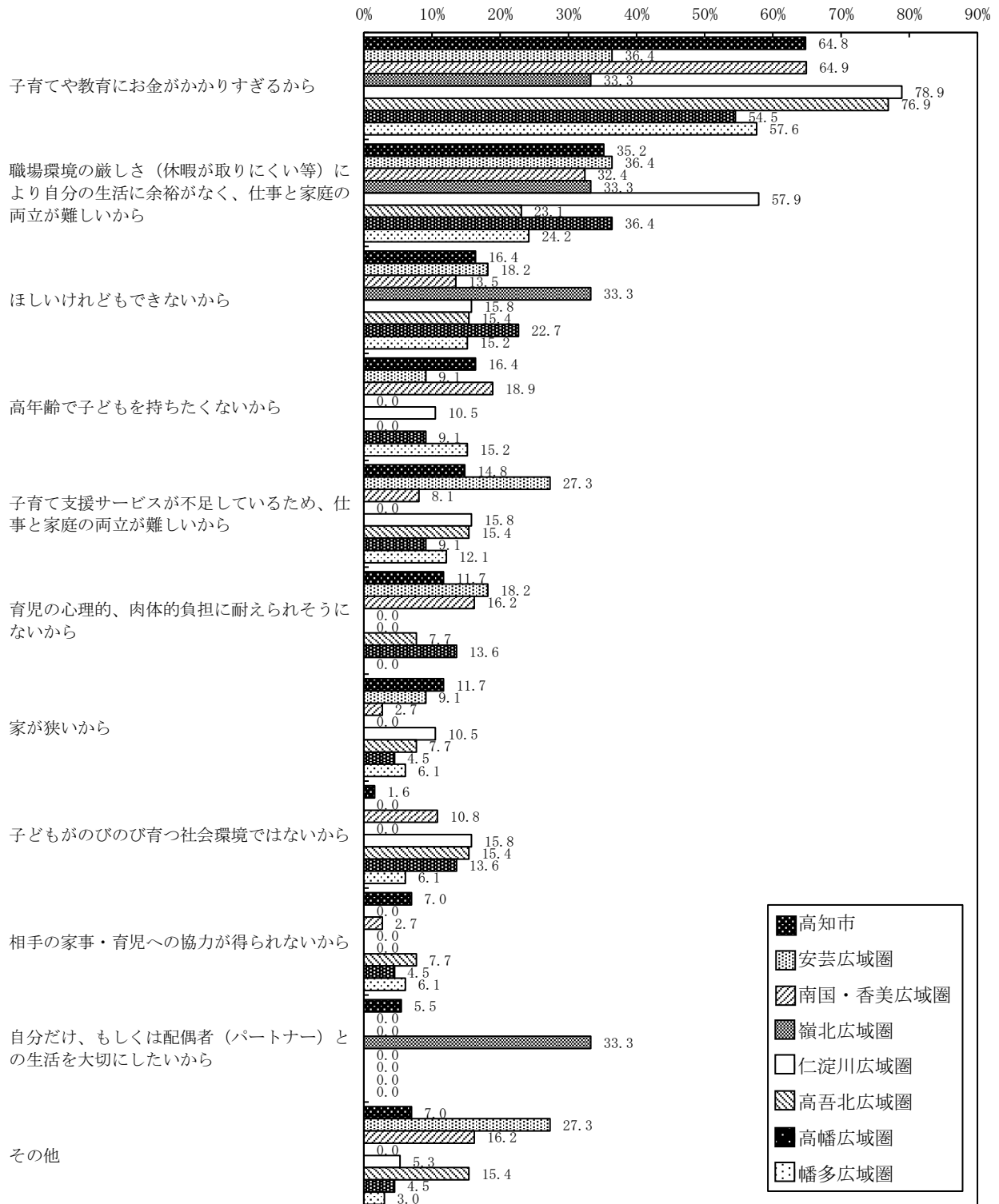
《 年代別 》



【広域市町村圏別】

安芸広域圏、嶺北広域圏を除くすべての広域市町村圏で「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が、安芸広域圏では同率で「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と「職場環境の厳しさ（休暇が取りにくい等）により自分の生活に余裕がなく、仕事と家庭の両立が難しいから」が、嶺北広域圏では同率で「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」と「職場環境の厳しさ（休暇が取りにくい等）により自分の生活に余裕がなく、仕事と家庭の両立が難しいから」と「自分だけ、もしくは配偶者（パートナー）との生活を大切にしたいから」と「ほしいけれどもできないから」が最も高くなっている。

《広域市町村圏別》

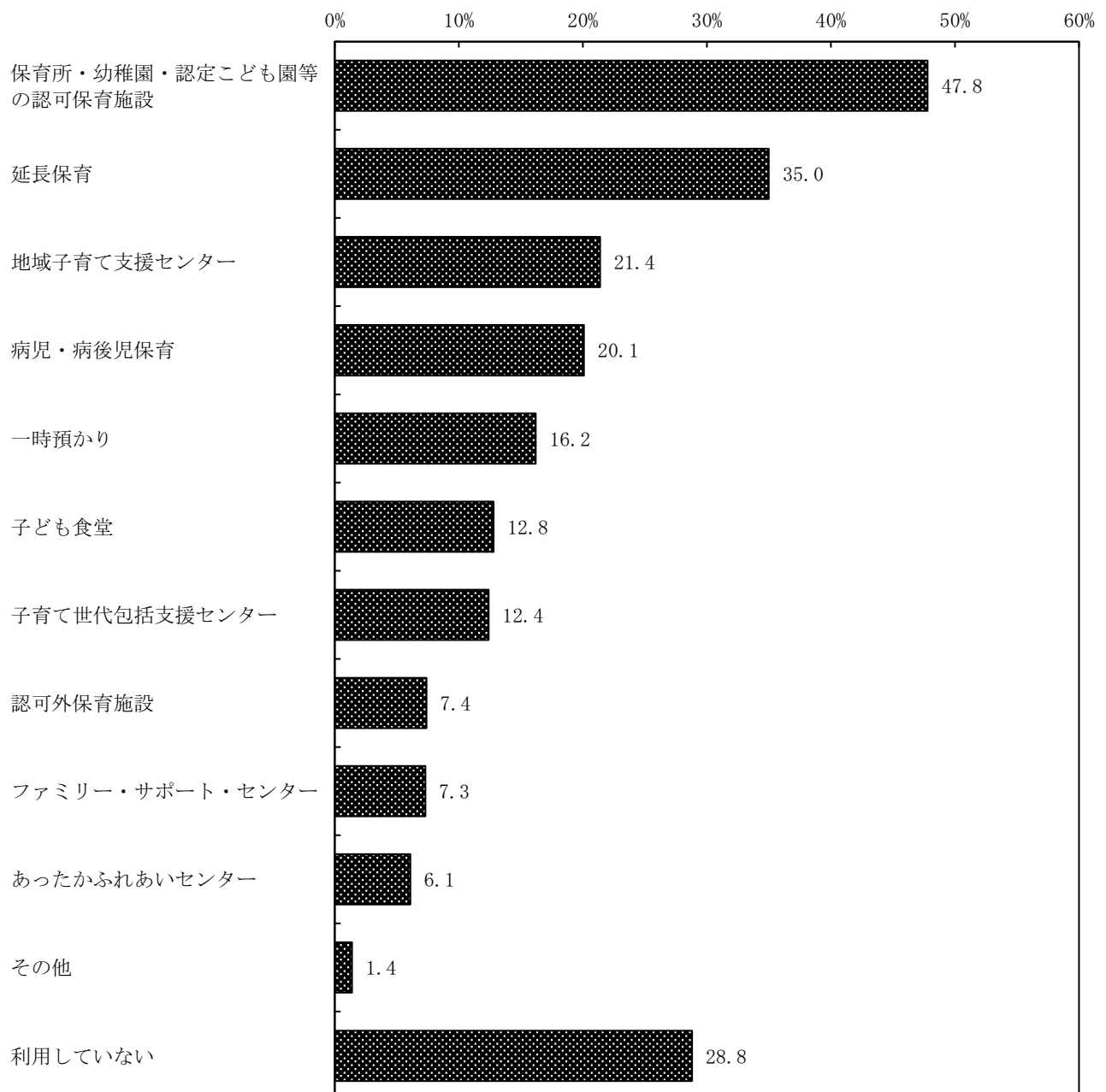


問 10 「高知版ネウボラ」では、妊娠・出産・子育てに関するワンストップ相談窓口となる「子育て世代包括支援センターや、子育て家庭の交流の場である「地域子育て支援センター」など、地域の子育て支援に関わる関係機関が連携することで妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の充実に図り、子育て家庭の状況に応じた適切な対応を行うとともに、子育て家庭の不安の解消や、働きながら子育てできる環境づくりを進めています。

あなたが子育ての不安や負担を軽減したり、働きながら子育てをするために利用したいと思う（利用している・過去に利用していたを含む）支援機関やサービスを次の中から選択してください。（あてはまるもの全てに○印）

「保育所・幼稚園・認定こども園等の認可保育施設」が 47.8%と最も高く、次いで「延長保育」が 35.0%、「地域子育て支援センター」が 21.4%と続いている。

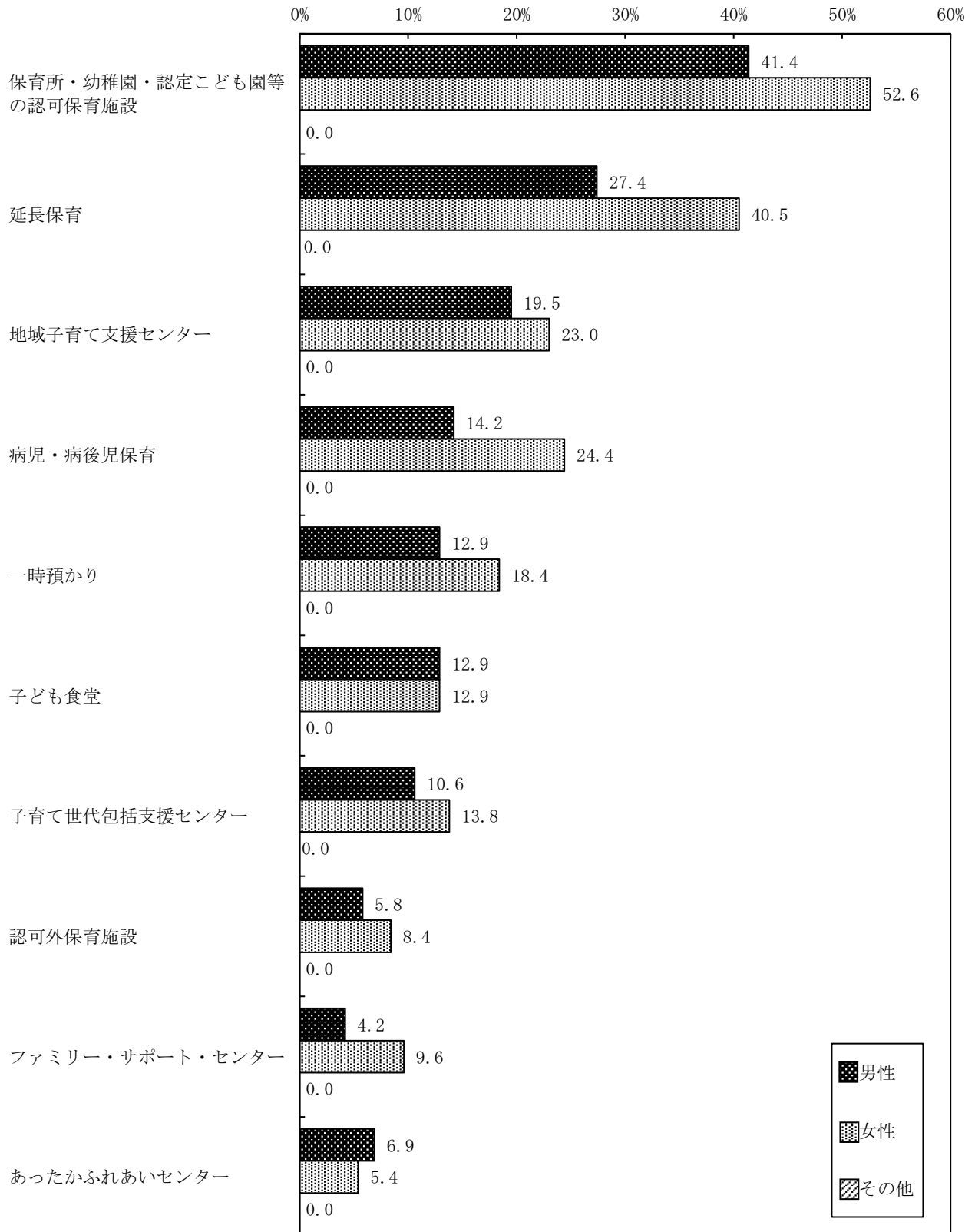
《 総 合 》



【性別】

男女ともに「保育所・幼稚園・認定こども園等の認可保育施設」が最も高くなっている。

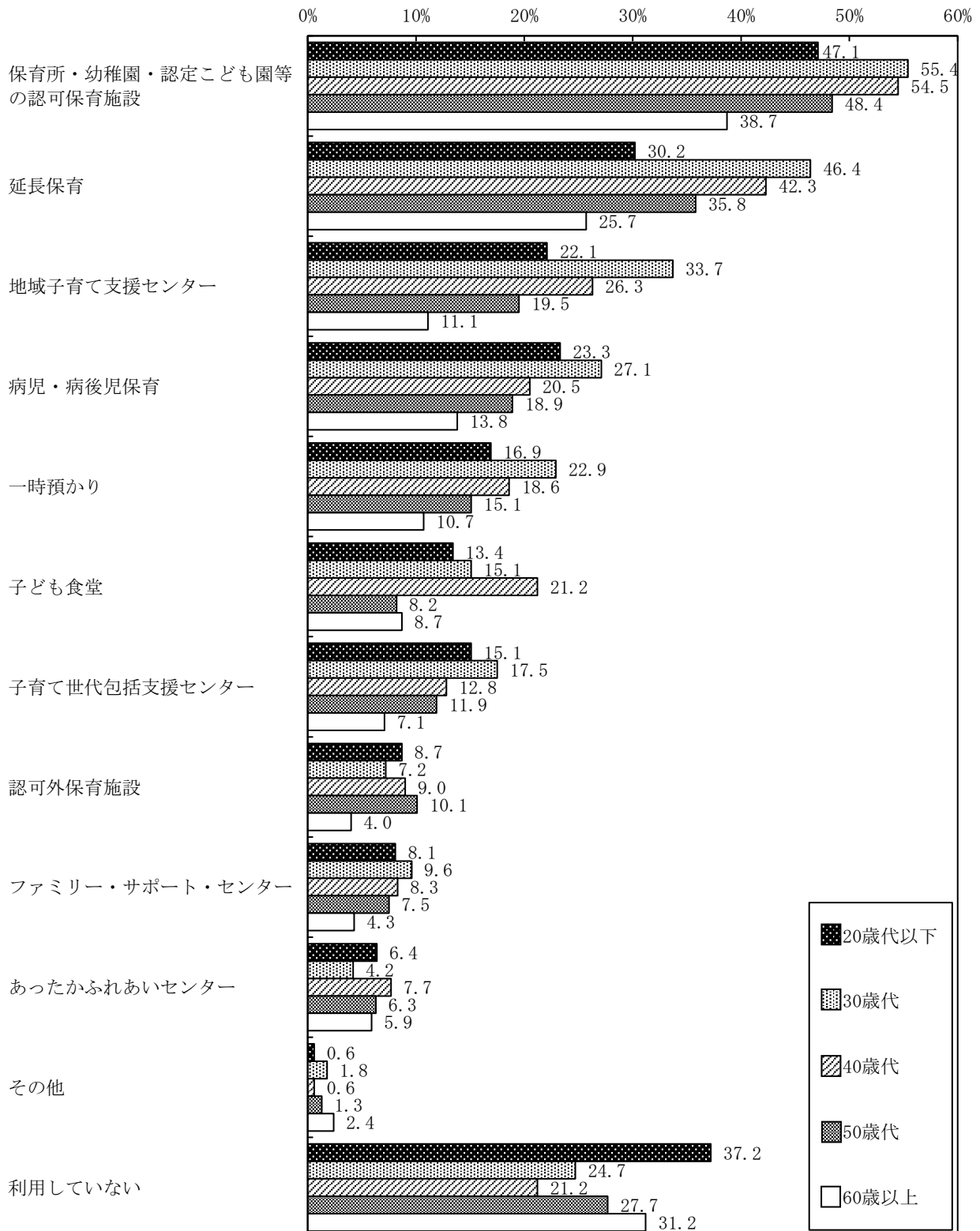
《 性別 》



【年代別】

すべての年代で「保育所・幼稚園・認定こども園等の認可保育施設」が最も高くなっている。

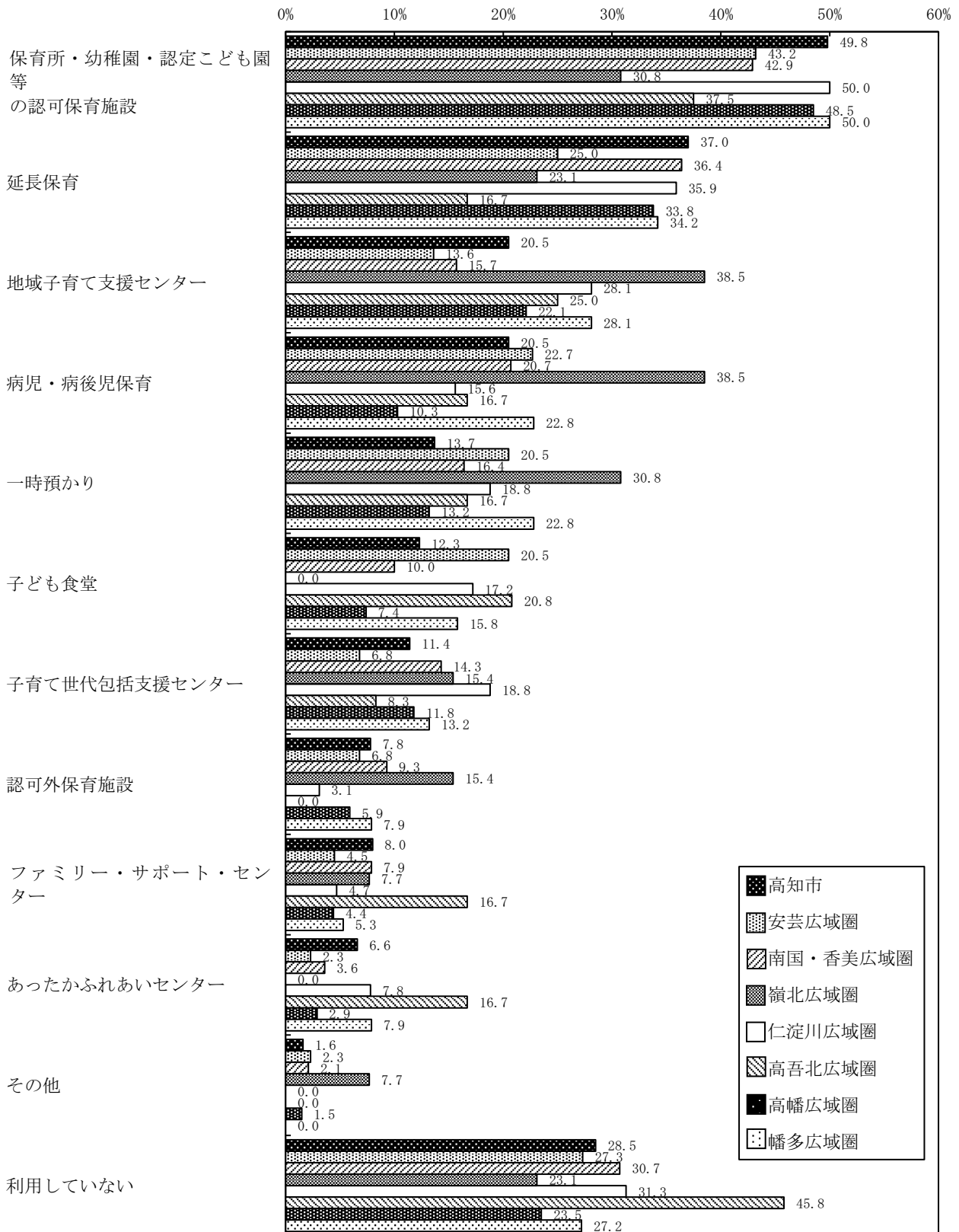
《 年 代 別 》



【広域市町村圏別】

嶺北広域圏、高吾北広域圏を除くすべての広域市町村圏で「保育所・幼稚園・認定こども園等の認可保育施設」が、嶺北広域圏では同率で「地域子育て支援センター」と「病児・病後児保育」が、高吾北広域圏では「利用していない」が最も高くなっている。

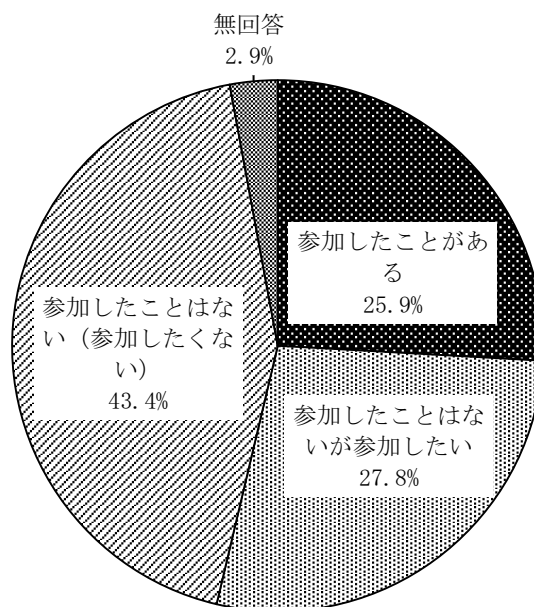
《広域市町村圏別》



問11 あなたは、地域において、子どもを守り育てる活動に参加したことはありますか。または、参加したいと思いますか。(登下校中の子どもの見守り、PTA、子育てサークル等)
(1つだけ○印)

「参加したことはない(参加したくない)」が43.4%と最も高く、次いで「参加したことはないが参加したい」が27.8%、「参加したことがある」が25.9%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

男女ともに「参加したことはない(参加したくない)」が最も高くなっている。

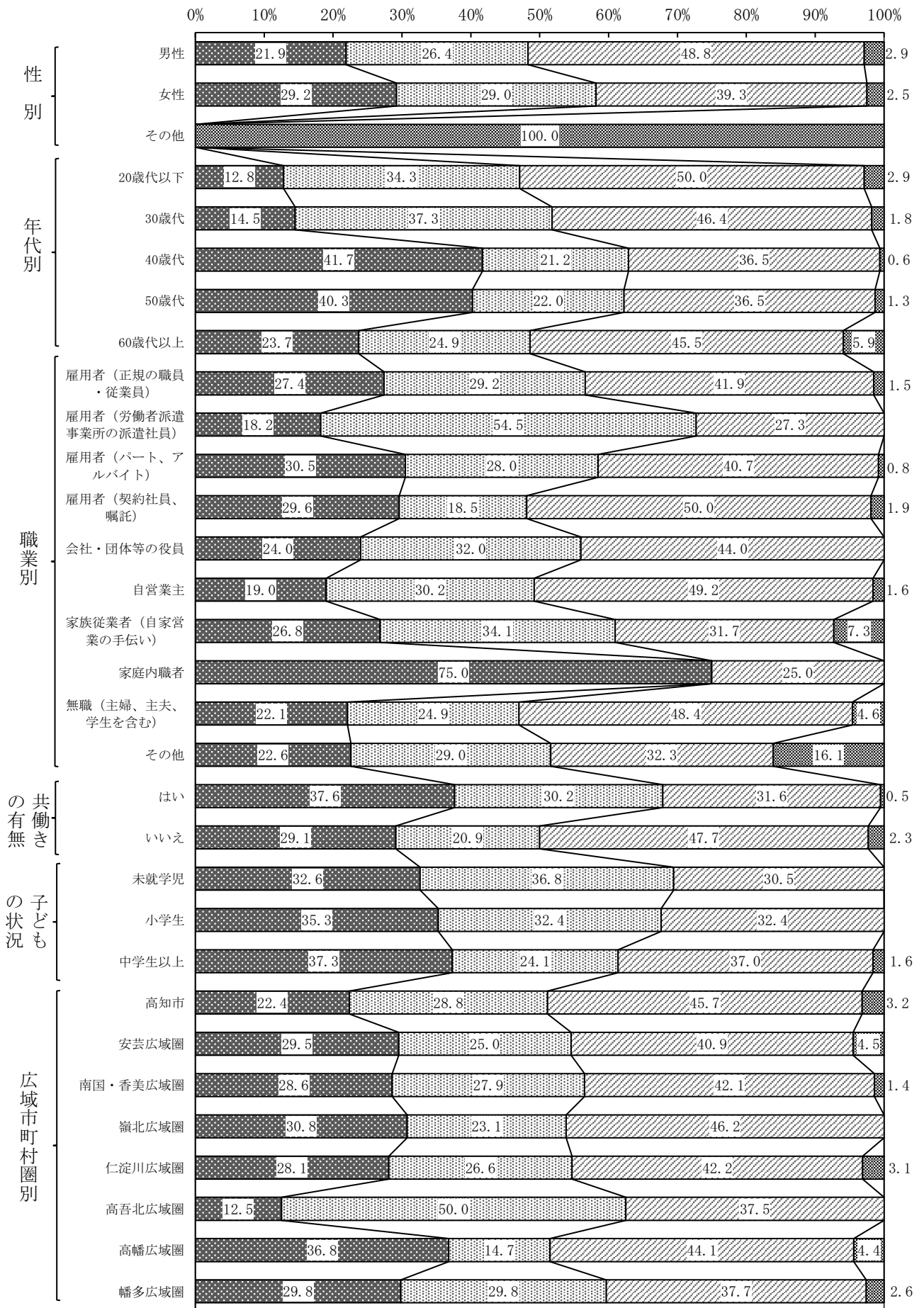
【年代別】

20歳代以下、30歳代、60歳代以上では「参加したことはない(参加したくない)」が、40歳代、50歳代では「参加したことがある」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

高吾北広域圏を除くすべての広域市町村圏で「参加したことはない(参加したくない)」が、高吾北広域圏では「参加したことはないが参加したい」が最も高くなっている。

参加したことがある
 参加したことはないが参加したい
 参加したことはない（参加したくない）
 無回答

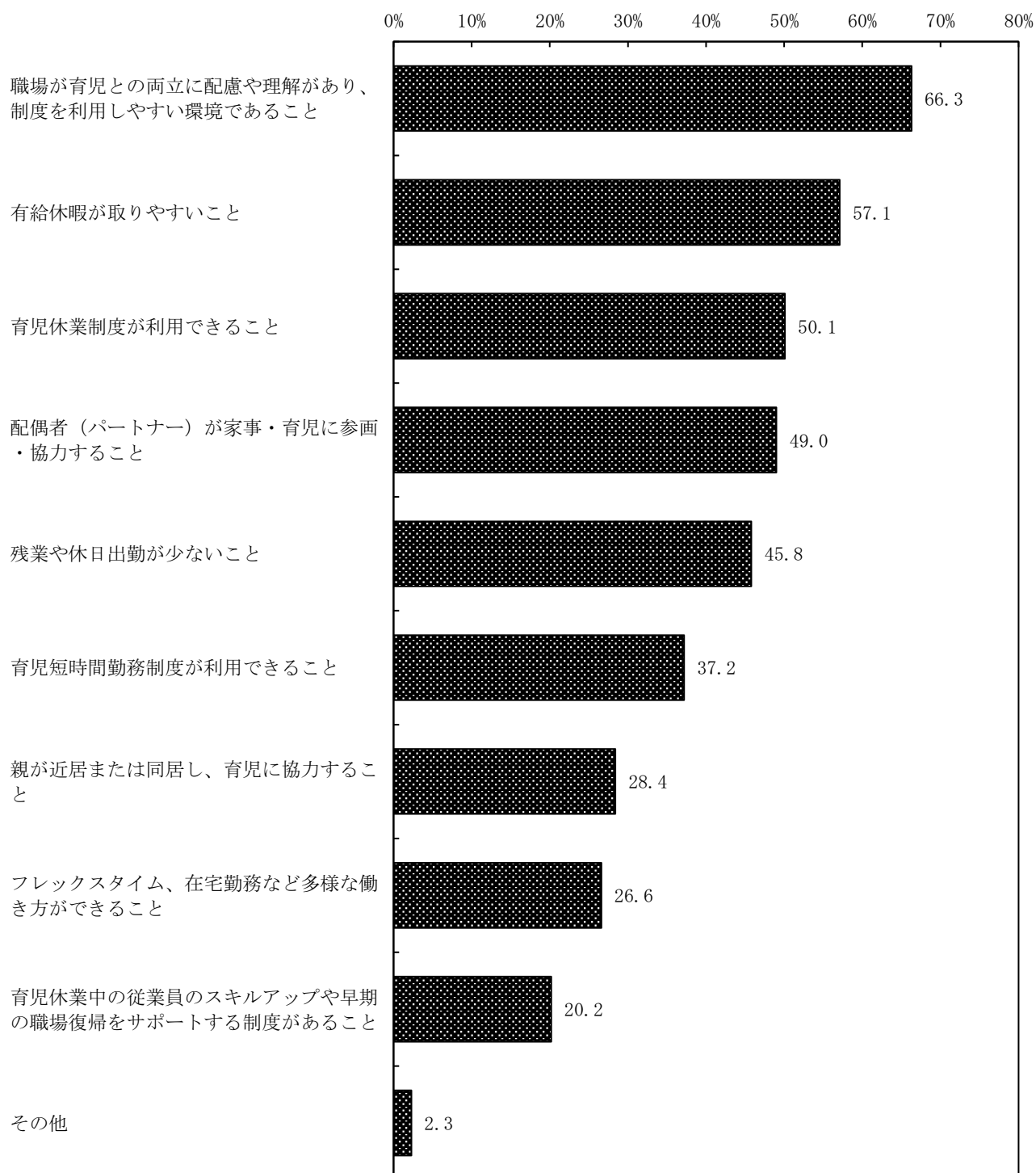


問 12 男性が働きながら子育てする環境に必要なと思うことは何ですか。

(あてはまるもの全てに○印)

「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が 66.3%と最も高く、次いで「有給休暇が取りやすいこと」が 57.1%、「育児休業制度が利用できること」が 50.1%と続いている。

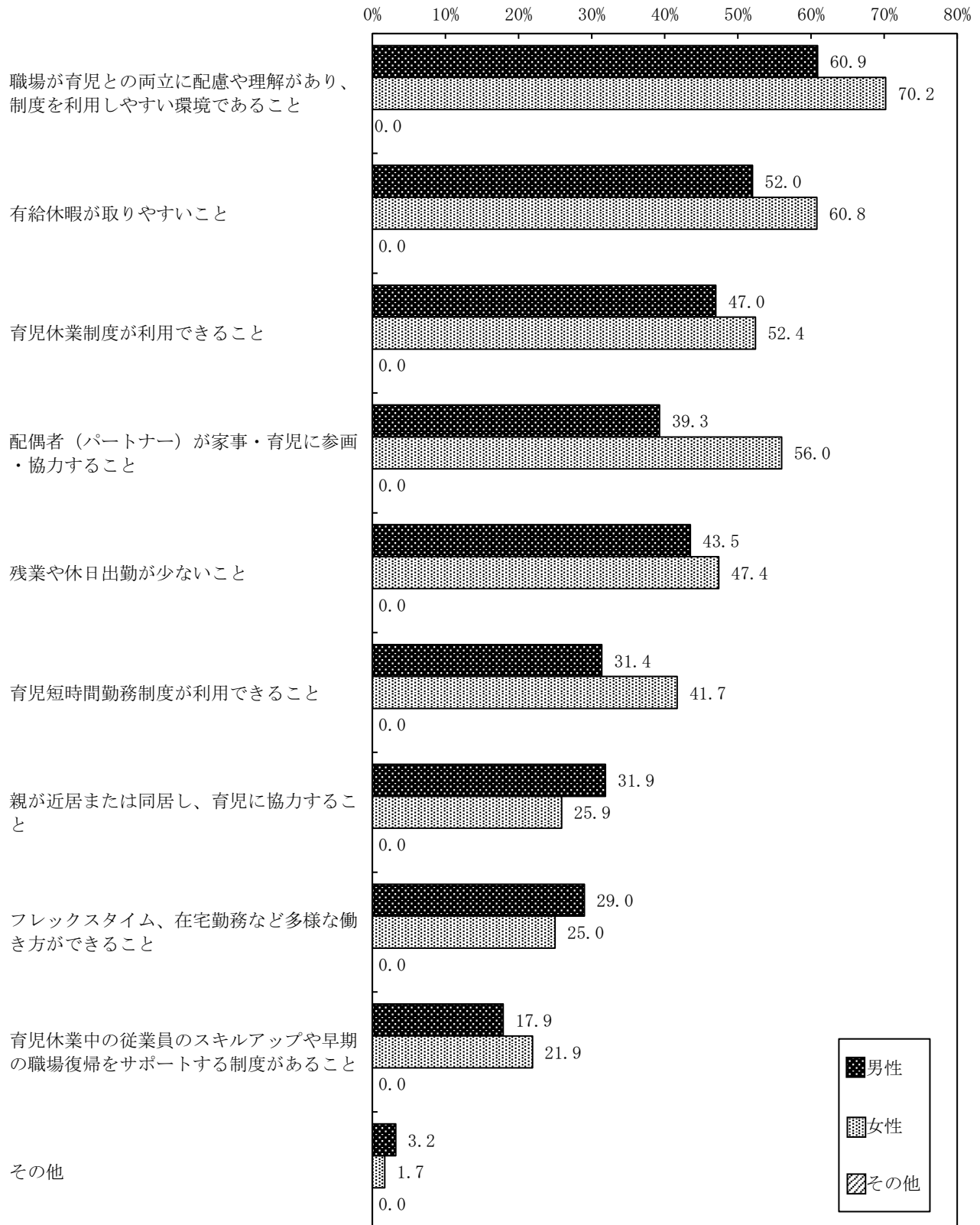
《 総 合 》



【性別】

男女ともに「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が最も高くなっている。

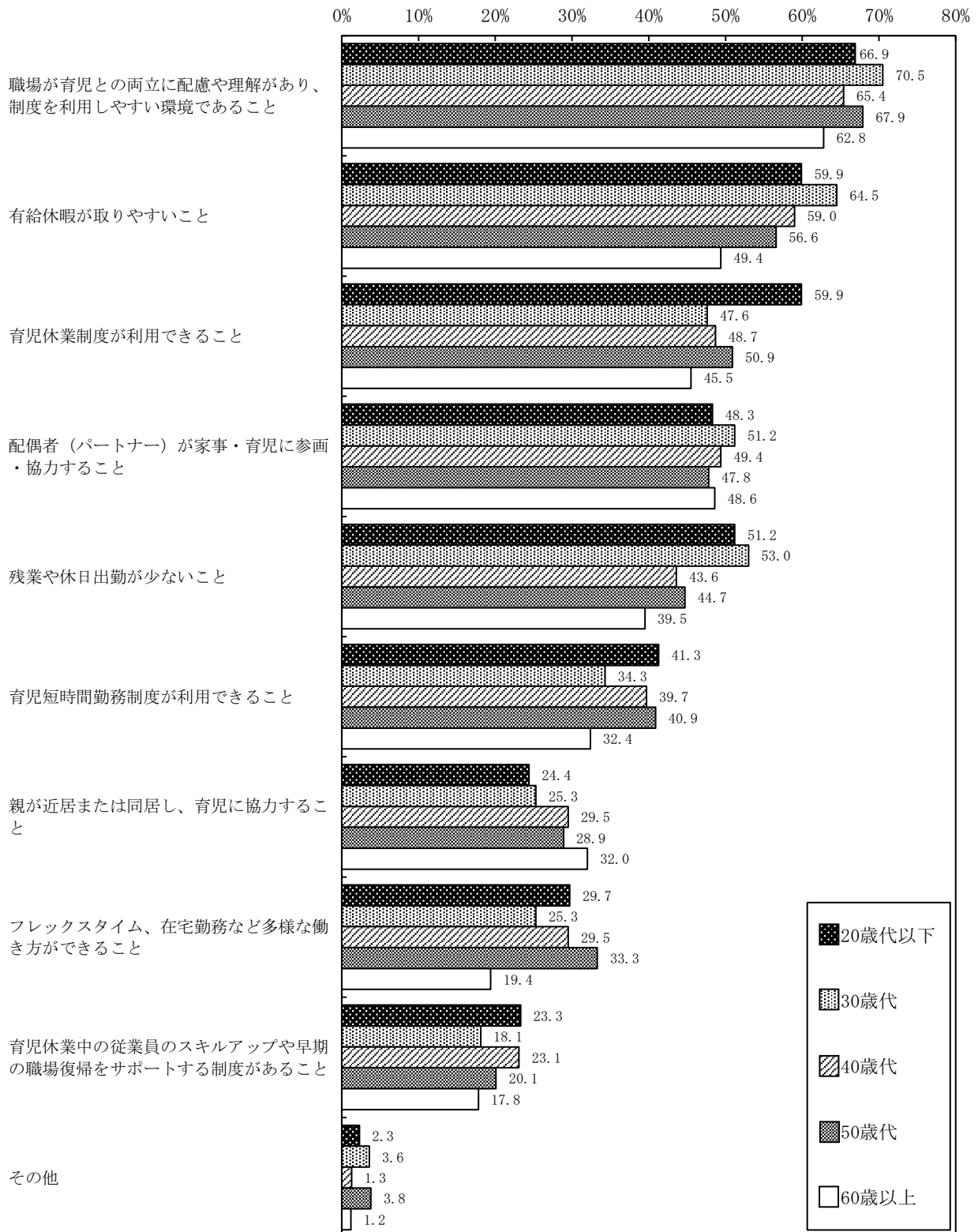
≪ 性別 ≫



【年代別】

すべての年代で「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が最も高くなっている。

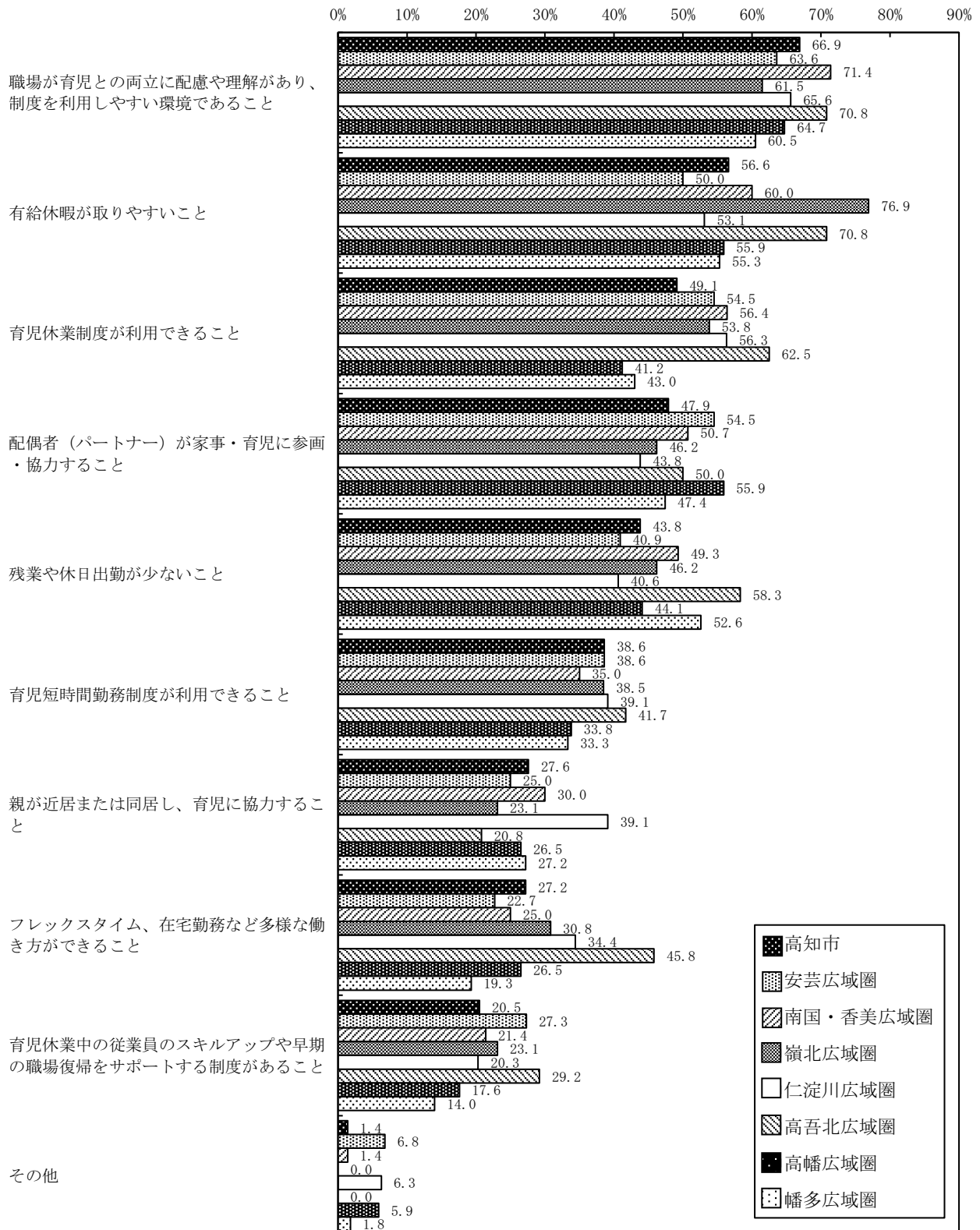
《 年 代 別 》



【広域市町村圏別】

嶺北広域圏、高吾北広域圏を除くすべての広域市町村圏で「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が、嶺北広域圏では「有給休暇が取りやすいこと」が、高吾北広域圏では同率で「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」と「有給休暇が取りやすいこと」が最も高くなっている。

《広域市町村圏別》

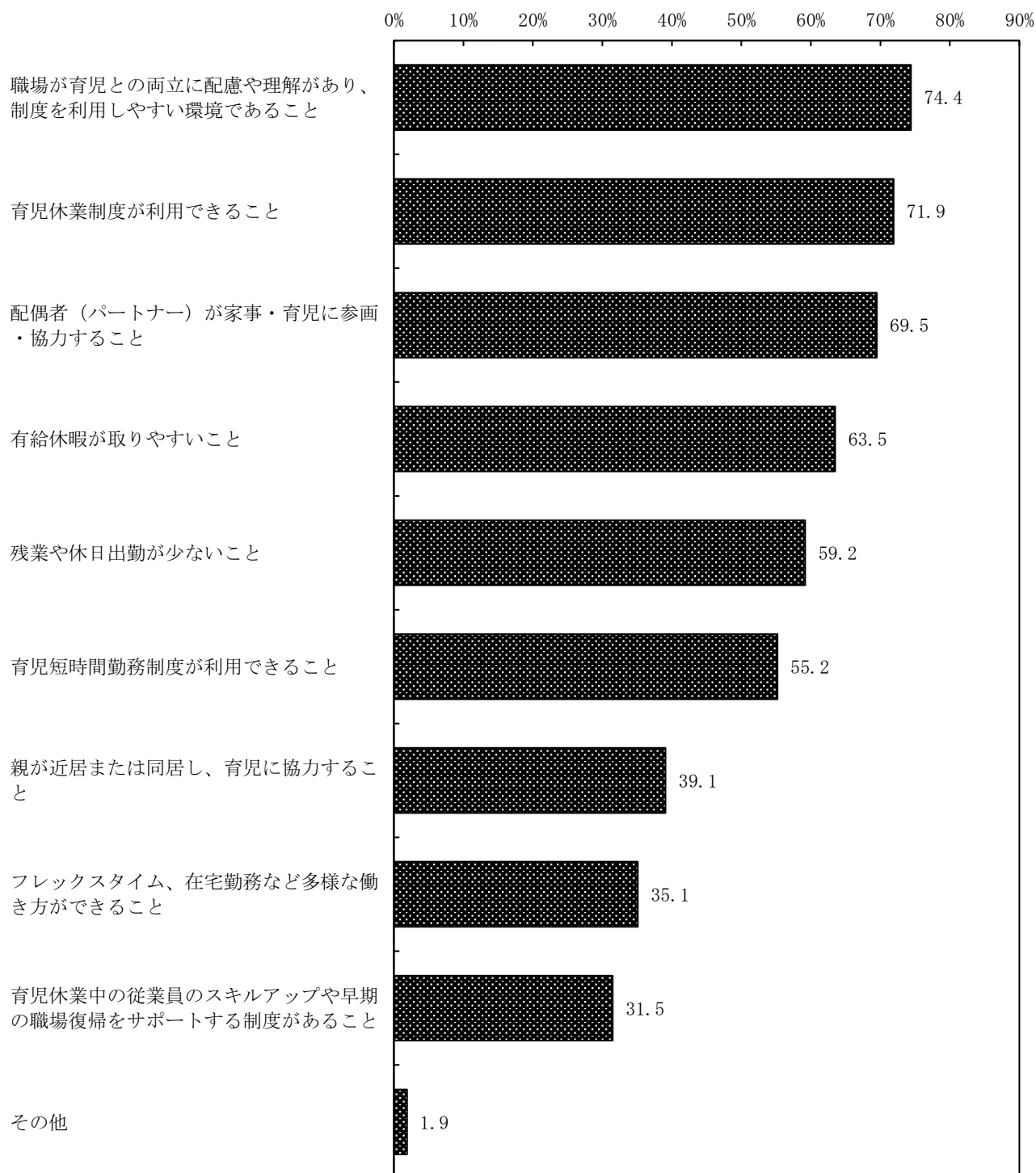


問 13 女性が働きながら子育てする環境に必要なと思うことは何ですか。

(あてはまるもの全てに○印)

「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が 74.4%と最も高く、次いで「育児休業制度が利用できること」が 71.9%、「配偶者（パートナー）が家事・育児に参画・協力すること」が 69.5%と続いている。

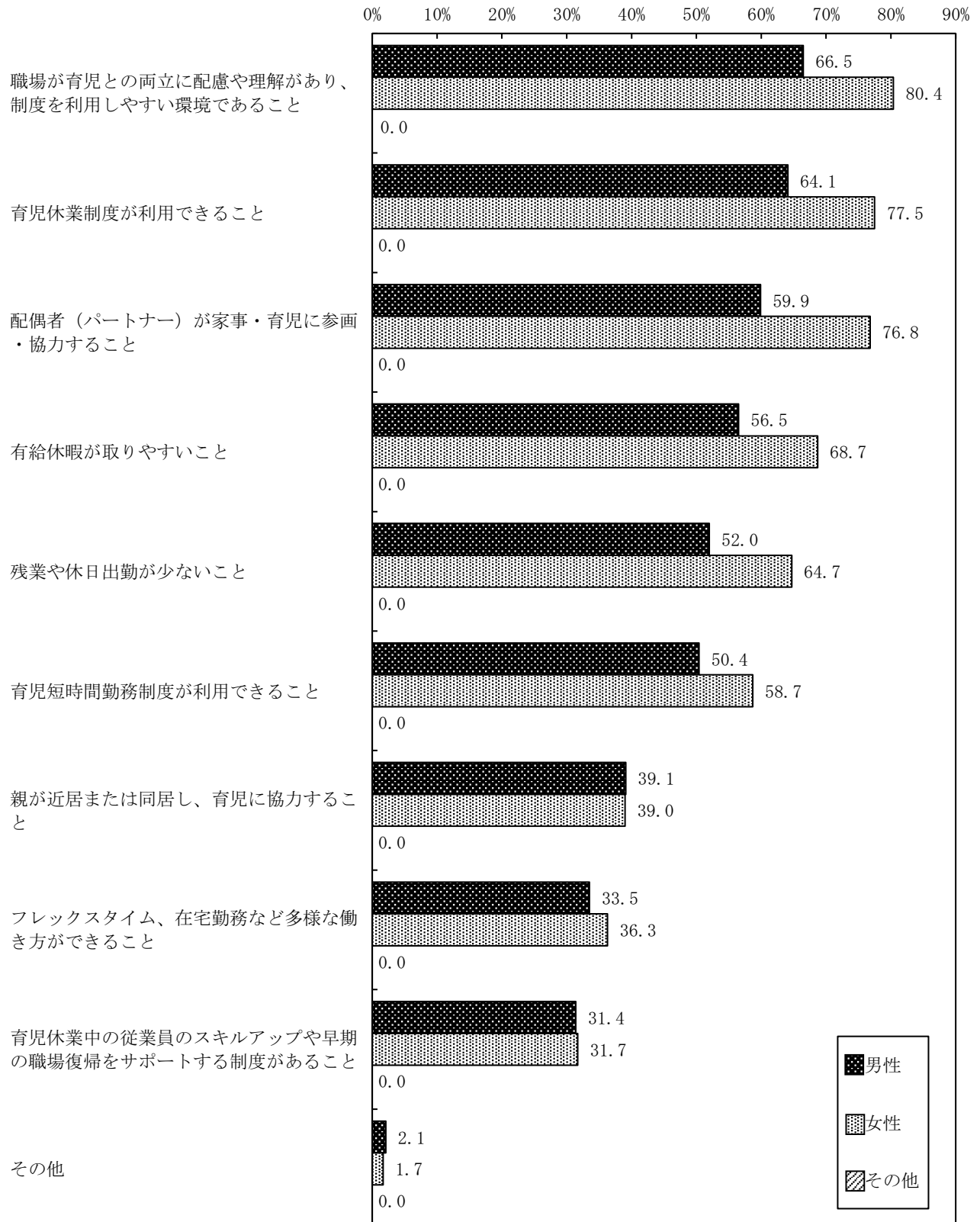
《 総 合 》



【性別】

男女とも「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が最も高くなっている。

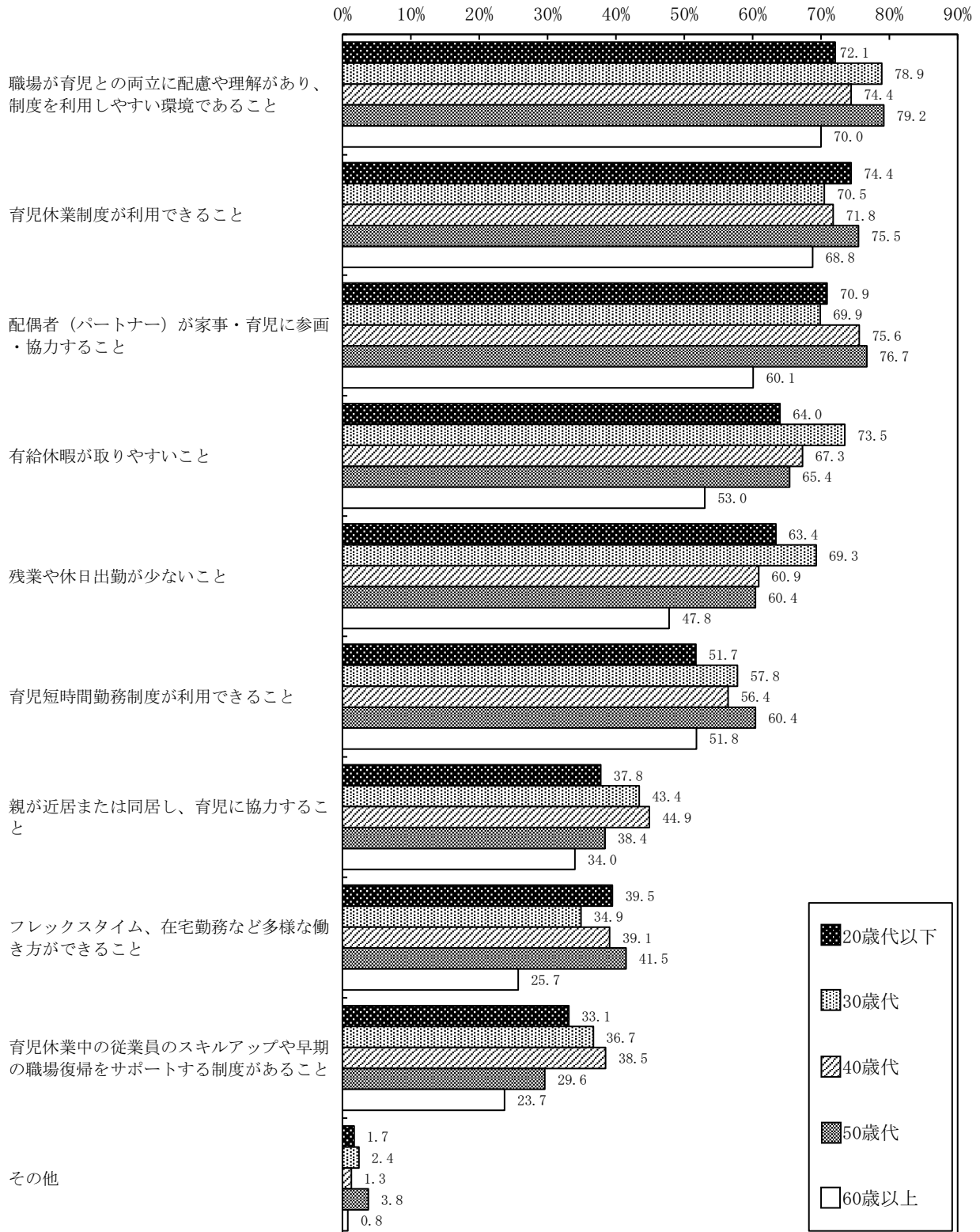
《 性別 》



【年代別】

20歳代以下では「育児休業制度が利用できること」が、30歳代、50歳代、60歳代以上では「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が、40歳代では「配偶者（パートナー）が家事・育児に参画・協力すること」が最も高くなっている。

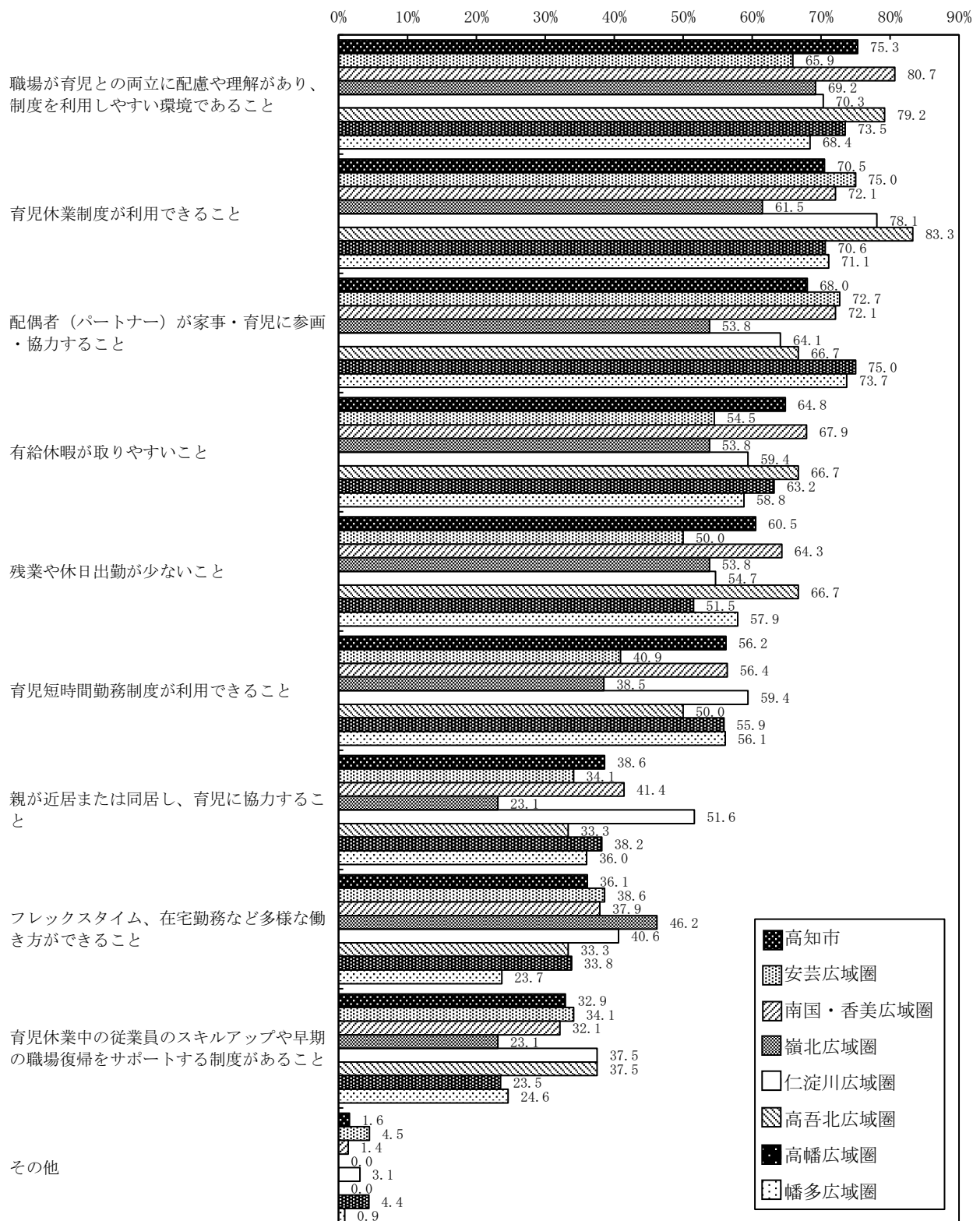
《 年代別 》



【広域市町村圏別】

高知市、南国・香美広域圏、嶺北広域圏では「職場が育児との両立に配慮や理解があり、制度を利用しやすい環境であること」が、安芸広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏では「育児休業制度が利用できること」が、高幡広域圏、幡多広域圏では「配偶者（パートナー）が家事・育児に参画・協力すること」が最も高くなっている。

《広域市町村圏別》



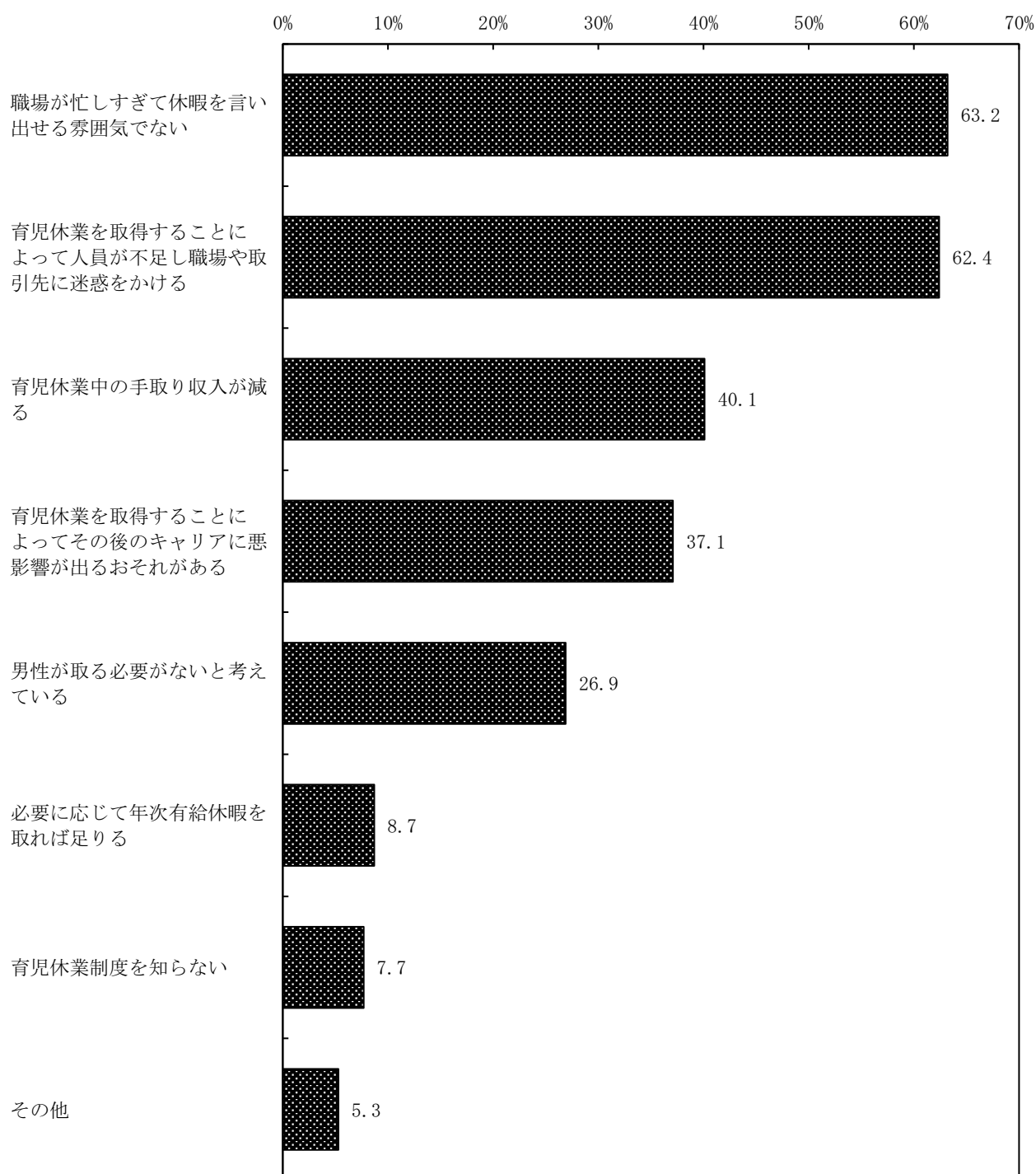
問 14 あなたは、なぜ日本の男性は育児休業取得率が低いと思いますか。あなた自身の経験、または、あなたの周囲の人について見聞きしたことを踏まえてお答えください。

* 日本の男性の育児休業取得率は 6.16% (2018 年度) となっています。

(あてはまるもの全てに○印)

「職場が忙しすぎて休暇を言い出せる雰囲気でない」が 63.2%と最も高く、次いで「育児休業を取得することによって人員が不足し職場や取引先に迷惑をかける」が 62.4%、「育児休業中の手取り収入が減る」が 40.1%と続いている。

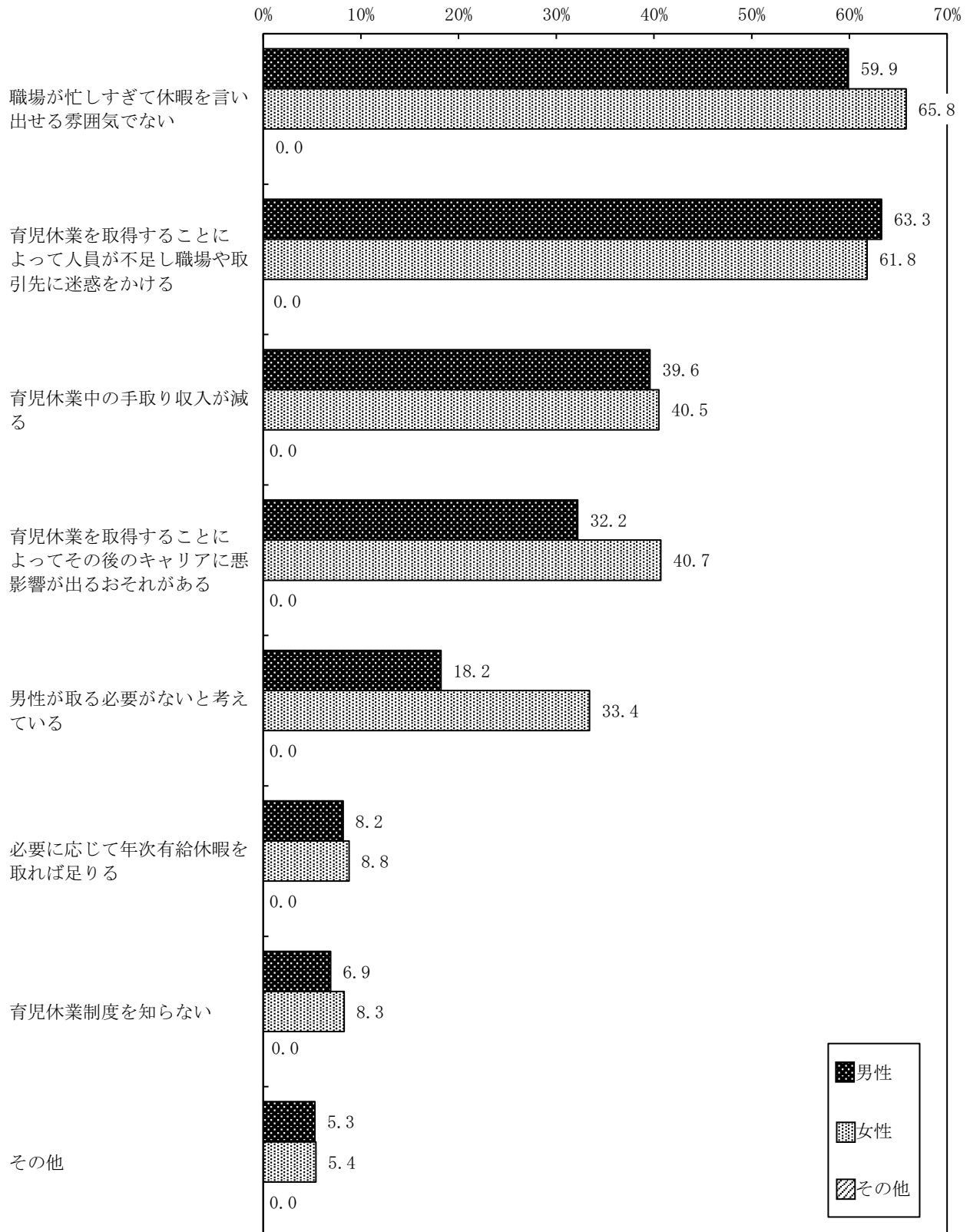
《 総 合 》



【性別】

男性は「育児休業を取得することによって人員が不足し職場や取引先に迷惑をかける」が、女性は「職場が忙しすぎて休暇を言い出せる雰囲気でない」が最も高くなっている。

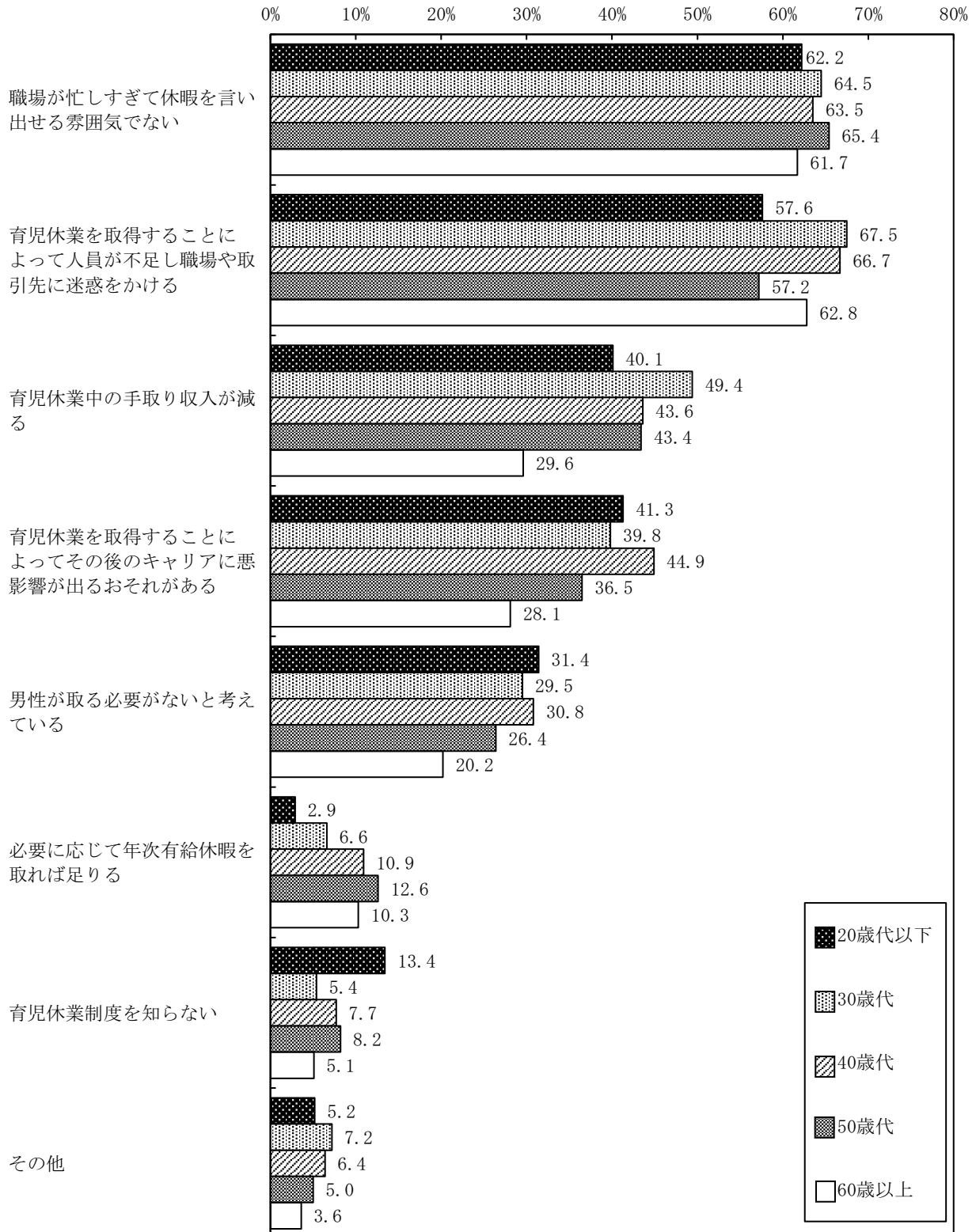
《 性別 》



【年代別】

20歳代以下、50歳代では「職場が忙しすぎて休暇を言い出せる雰囲気でない」が、30歳代、40歳代、60歳代以上では「育児休業を取得することによって人員が不足し職場や取引先に迷惑をかける」が最も高くなっている。

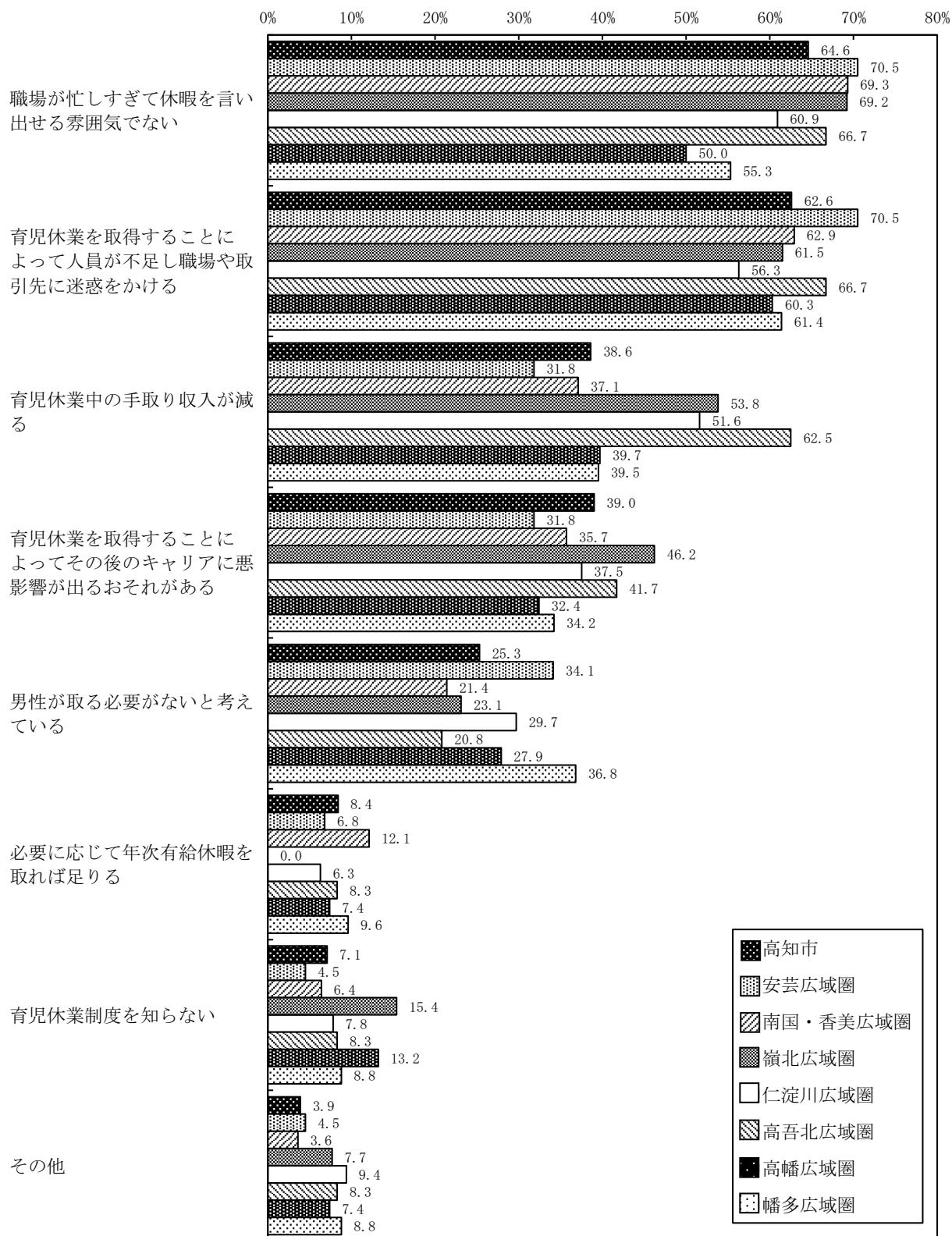
《 年代別 》



【広域市町村圏別】

高知市、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏では「職場が忙しすぎて休暇を言い出せる雰囲気でない」が、安芸広域圏、高吾北広域圏では同率で「職場が忙しすぎて休暇を言い出せる雰囲気でない」と「育児休業を取得することによって人員が不足し職場や取引先に迷惑をかける」が、高幡広域圏、幡多広域圏では「育児休業を取得することによって人員が不足し職場や取引先に迷惑をかける」が最も高くなっている。

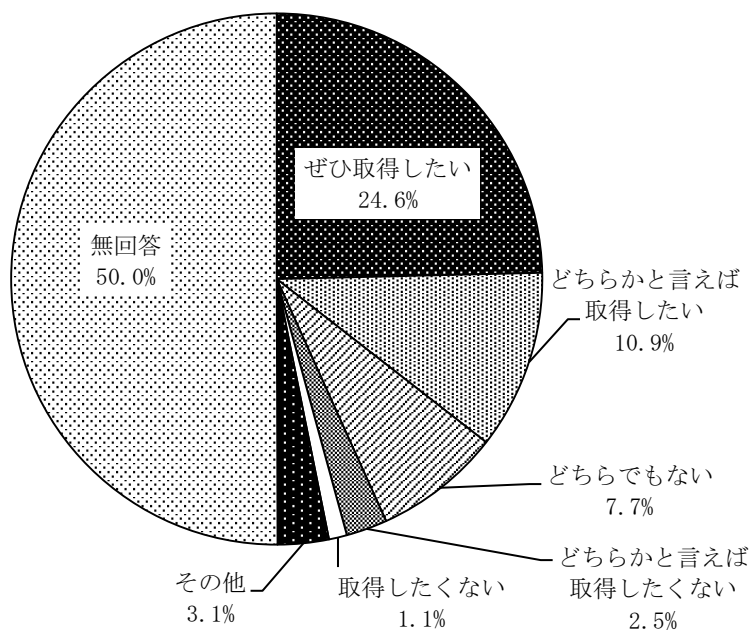
《広域市町村圏別》



問 15 現在妊娠中（配偶者が妊娠中の場合を含む）または将来子どもを持つ意向のある方で、子どもが生まれたらあなた自身が育児休業を取得したいと思いますか。配偶者またはパートナーの有無を問わず、希望についてお答えください。（一つだけ〇印）

「ぜひ取得したい」が 24.6%と最も高く、次いで「どちらかと言えば取得したい」が 10.9%、「どちらでもない」が 7.7%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

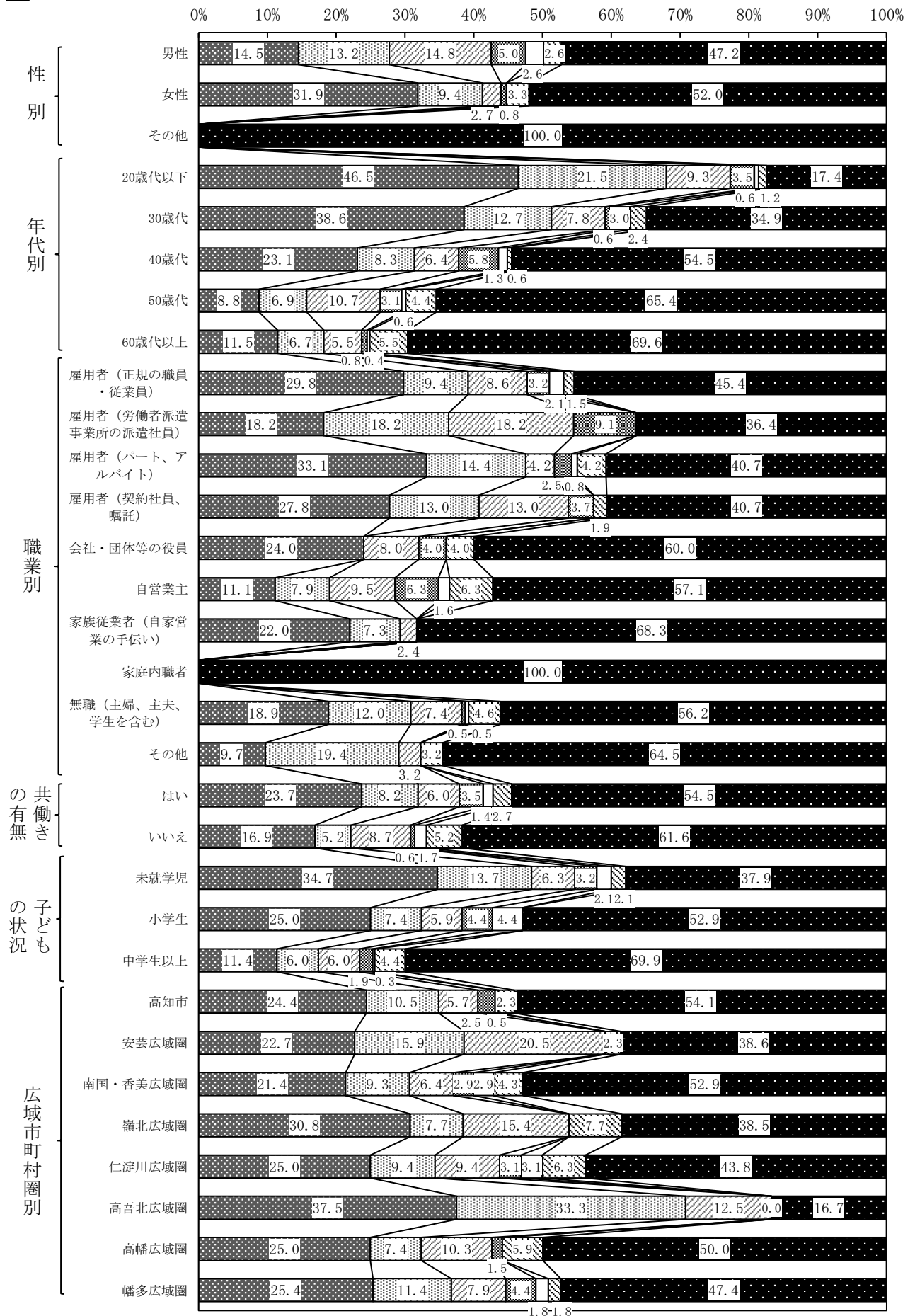
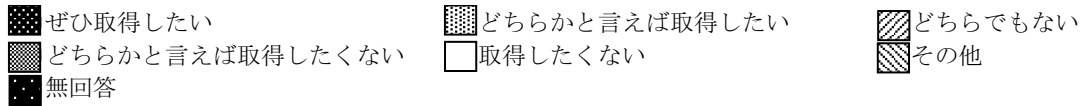
男性は「どちらでもない」が、女性は「ぜひ取得したい」が最も高くなっている。

【年代別】

50歳代を除くすべての年代で「ぜひ取得したい」が、50歳代では「どちらでもない」が高くなっている。

【広域市町村圏別】

すべての広域市町村圏で「ぜひ取得したい」が最も高くなっている。

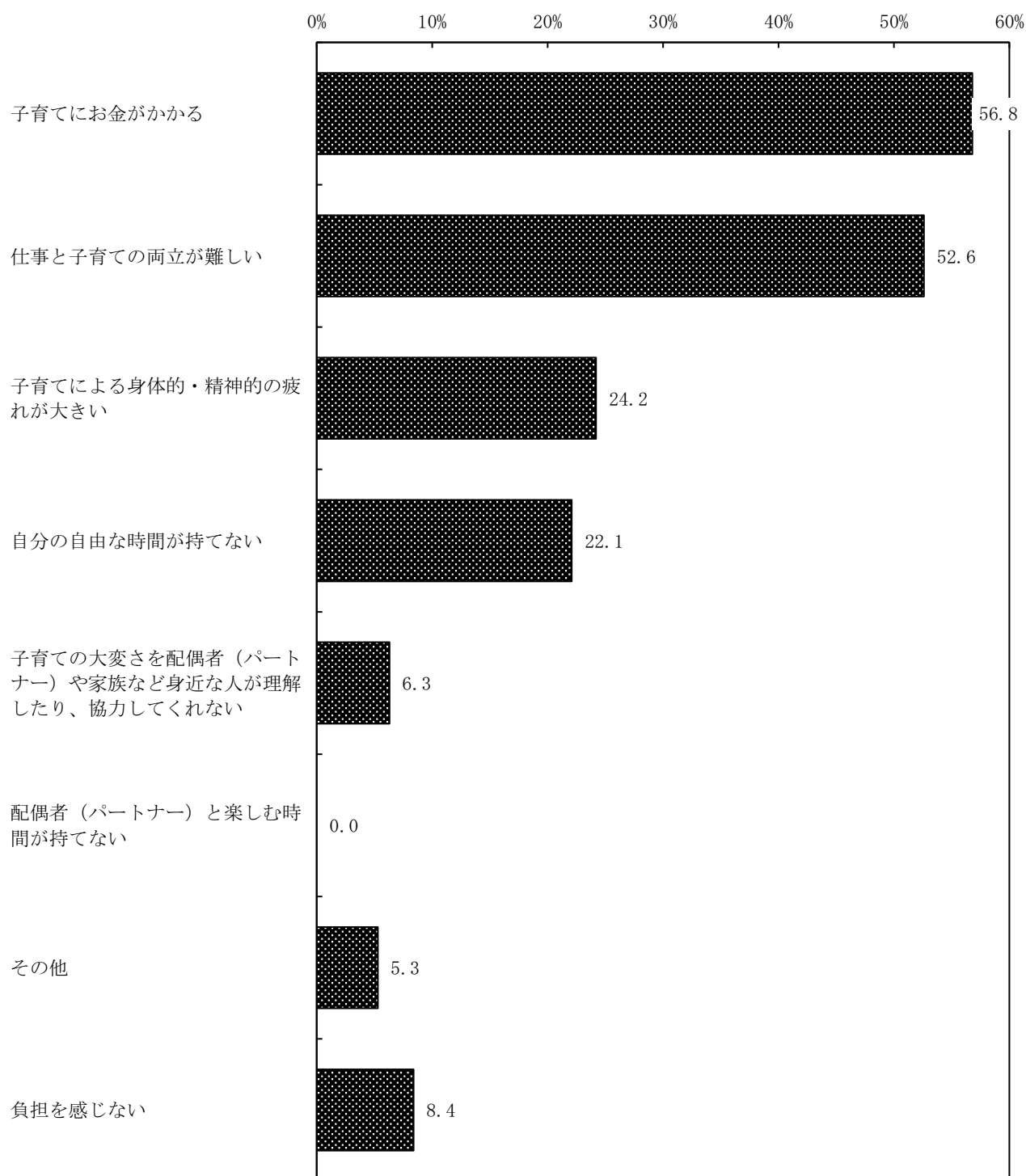


<問 16～問 18 小学校就学前（未就学児）の子どもを子育て中の方のみお答えください。>

問 16 あなたが現在、子育てについて感じている負担について、あてはまるもの、近いものをお答えください。（2つまで○印）

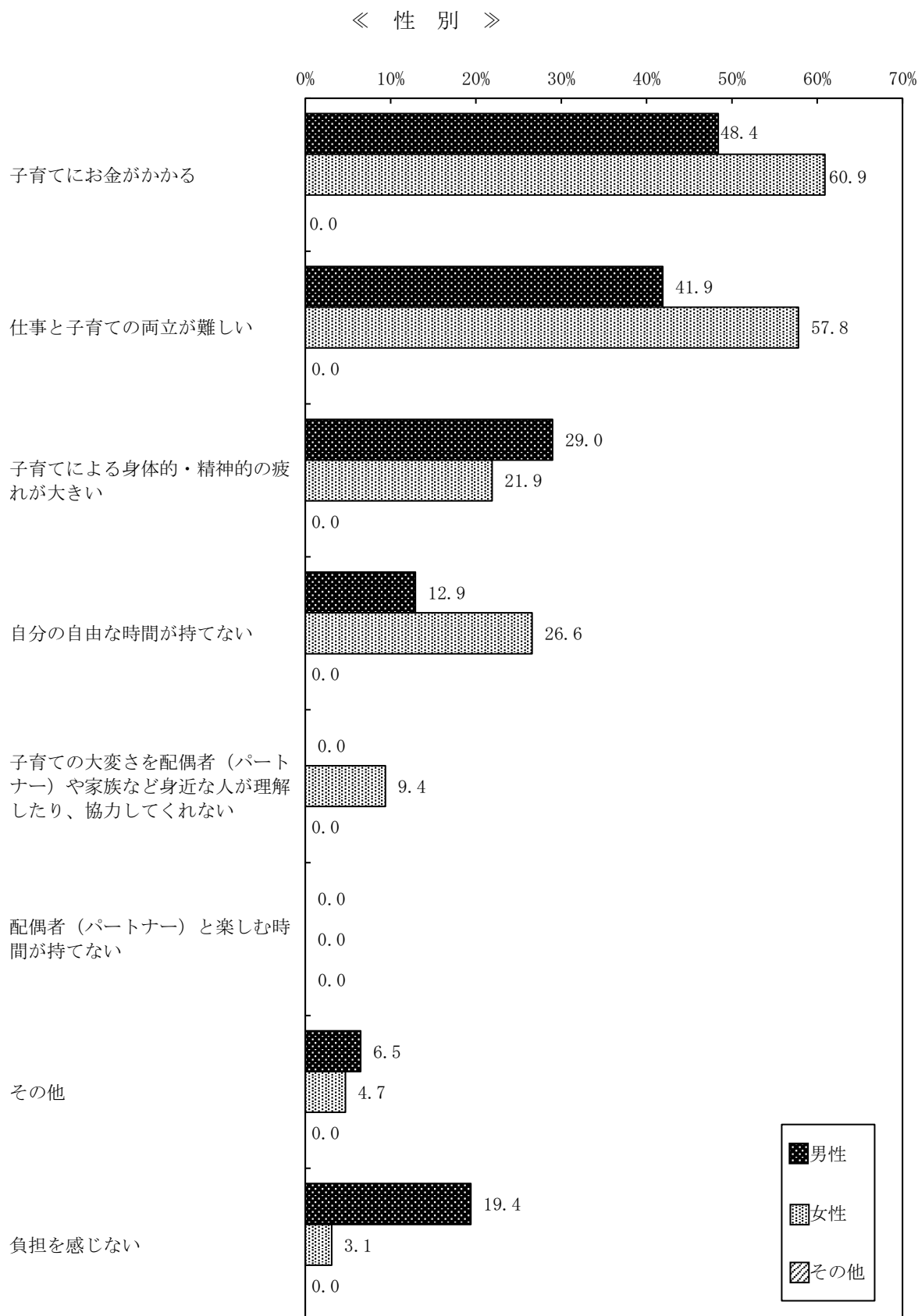
「子育てにお金がかかる」が 56.8%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」が 52.6%、「子育てによる身体的・精神的の疲れが大きい」が 24.2%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

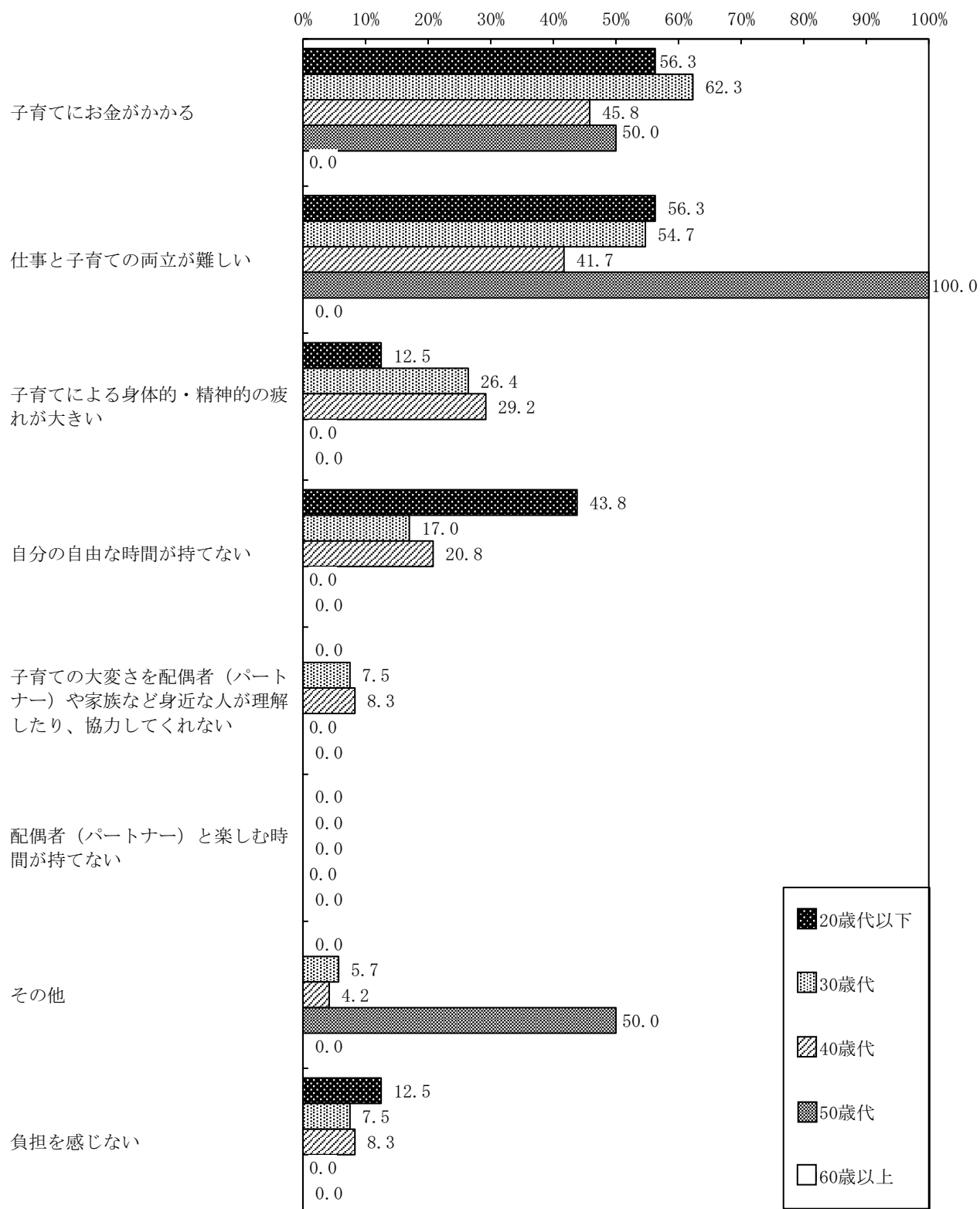
男女ともに「子育てにお金がかかる」が最も高くなっている。



【年代別】

20歳代以下では同率で「子育てにお金がかかる」と「仕事と子育ての両立が難しい」が、30歳代、40歳代では「子育てにお金がかかる」が、50歳代では「仕事と子育ての両立が難しい」が最も高くなっている。

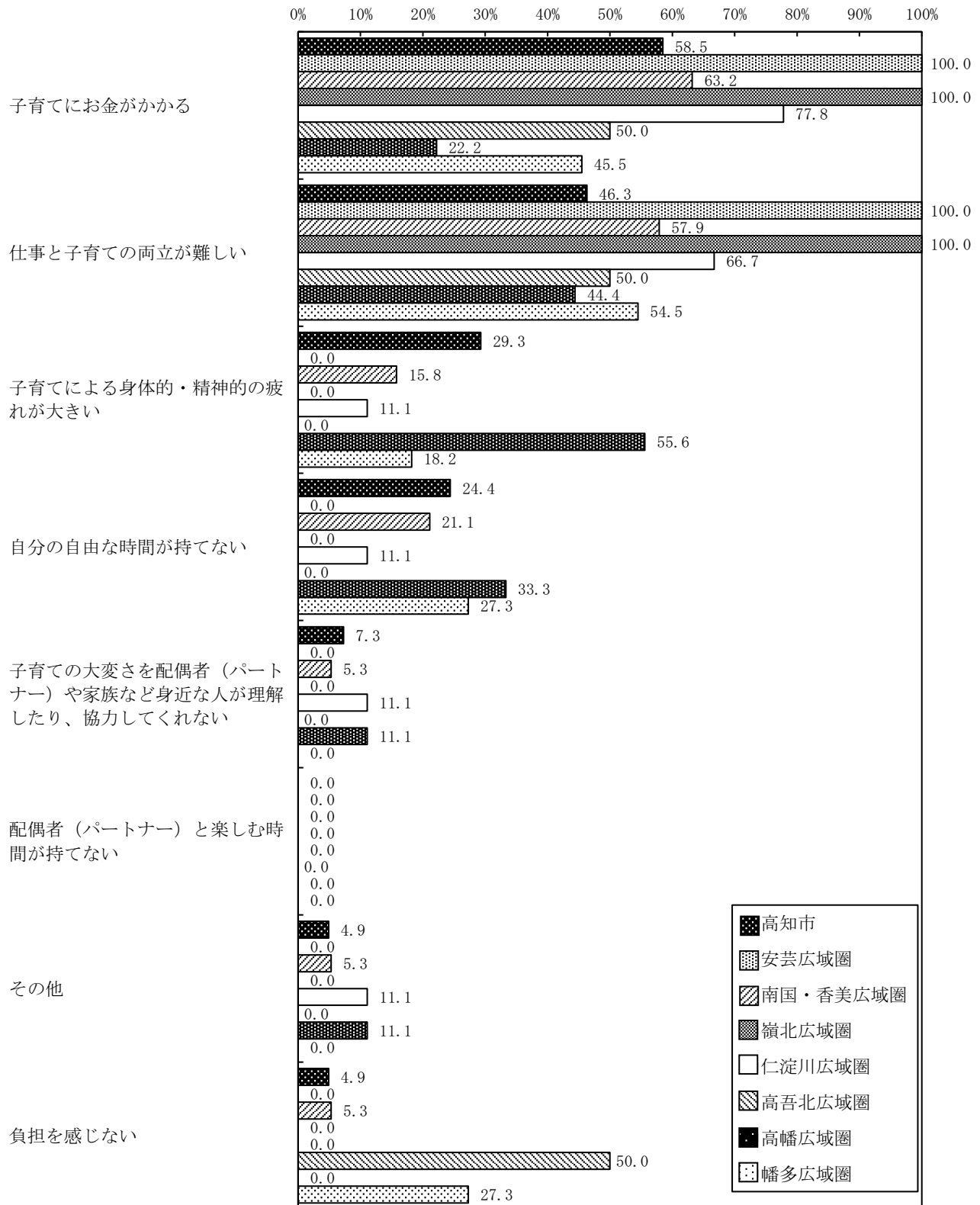
《 年代別 》



【広域市町村圏別】

高知市、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏では「子育てにお金がかかる」が、安芸広域圏、嶺北広域圏では同率で「子育てにお金がかかる」と「仕事と子育ての両立が難しい」が、高吾北広域圏では同率で「子育てにお金がかかる」と「仕事と子育ての両立が難しい」と「負担を感じない」が、高幡広域圏では「子育てによる身体的・精神的の疲れが大きい」が、幡多広域圏では「仕事と子育ての両立が難しい」が最も高くなっている。

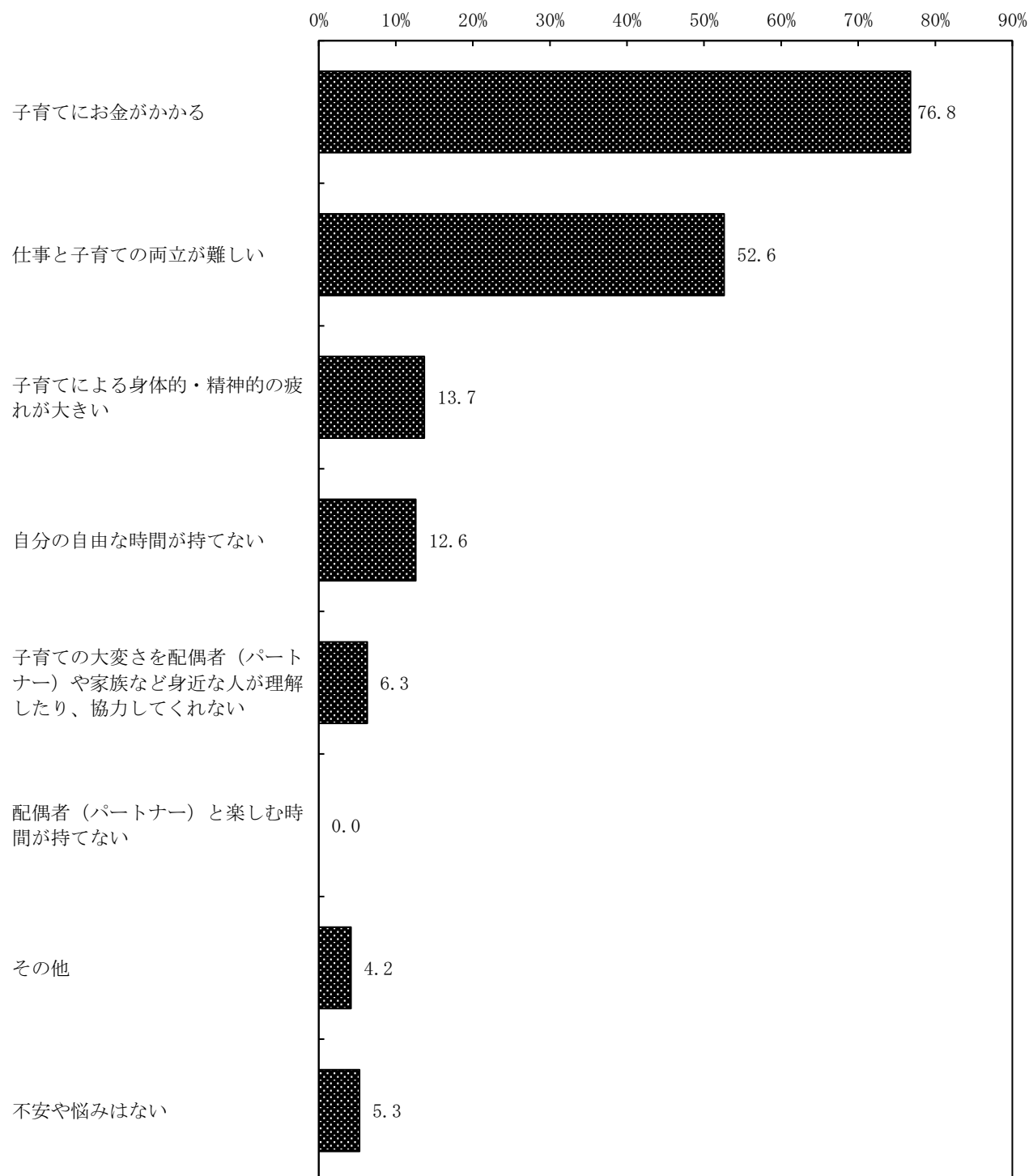
《広域市町村圏別》



問17 あなたは今後（将来）、子育てをするうえで、どのようなことに不安や悩みがありますか。
あてはまるもの、近いものを選択してください。（2つまで○印）

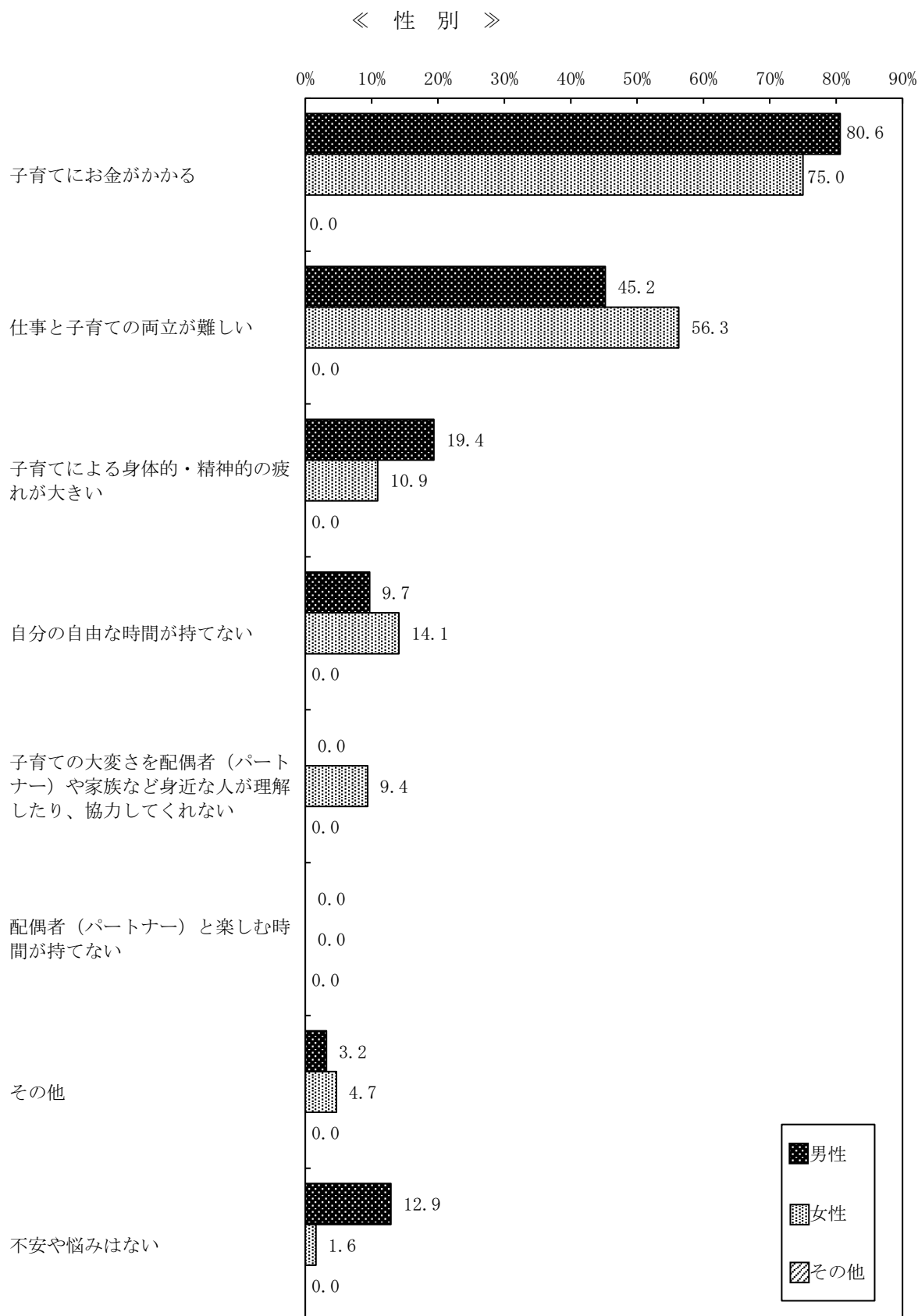
「子育てにお金がかかる」が76.8%と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」が52.6%、
「子育てによる身体的・精神的の疲れが大きい」が13.7%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

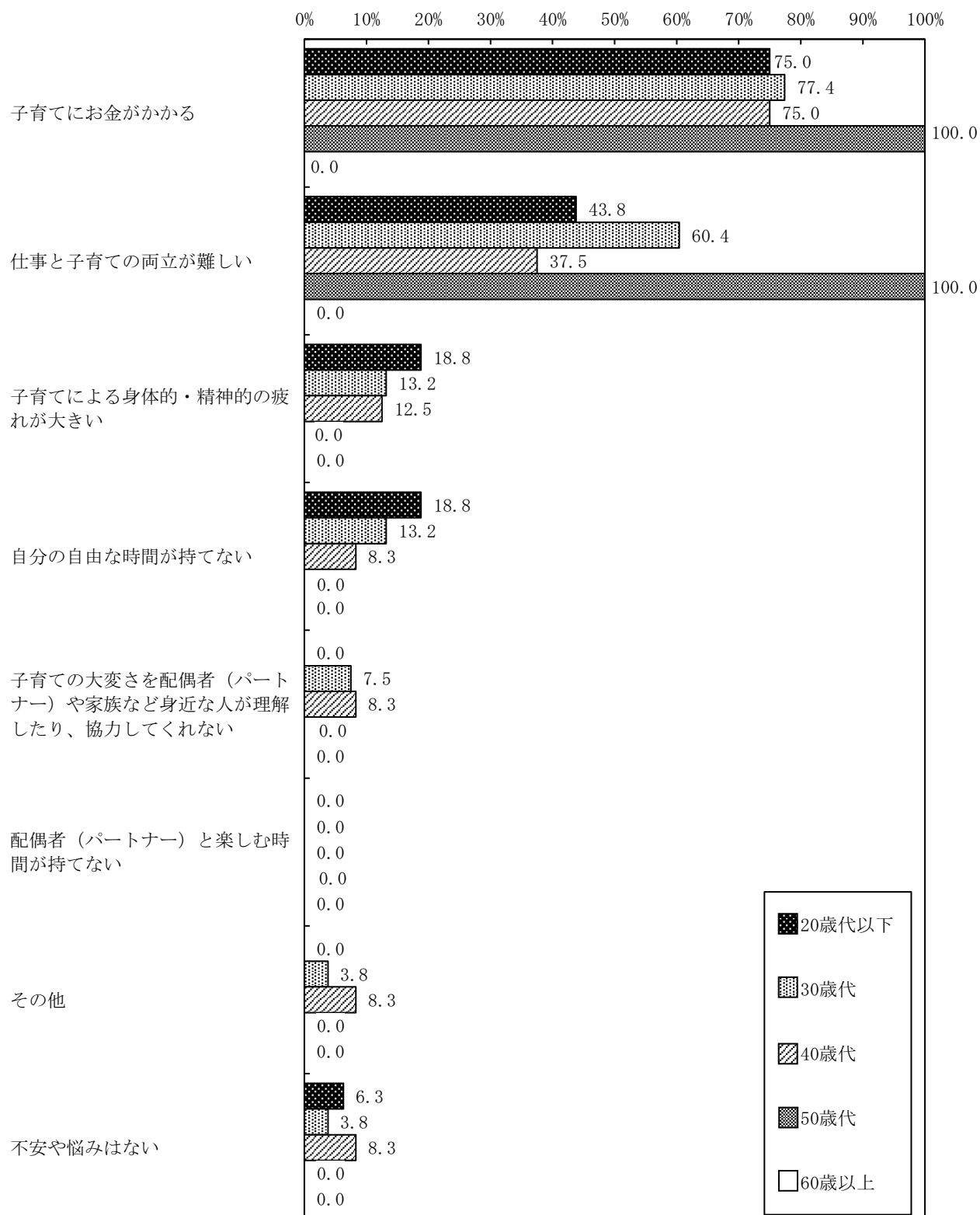
男女ともに「子育てにお金がかかる」が最も高くなっている。



【年代別】

20歳代以下、30歳代、40歳代では「子育てにお金がかかる」が、50歳代では同率で「子育てにお金がかかる」と「仕事と子育ての両立が難しい」が最も高くなっている。

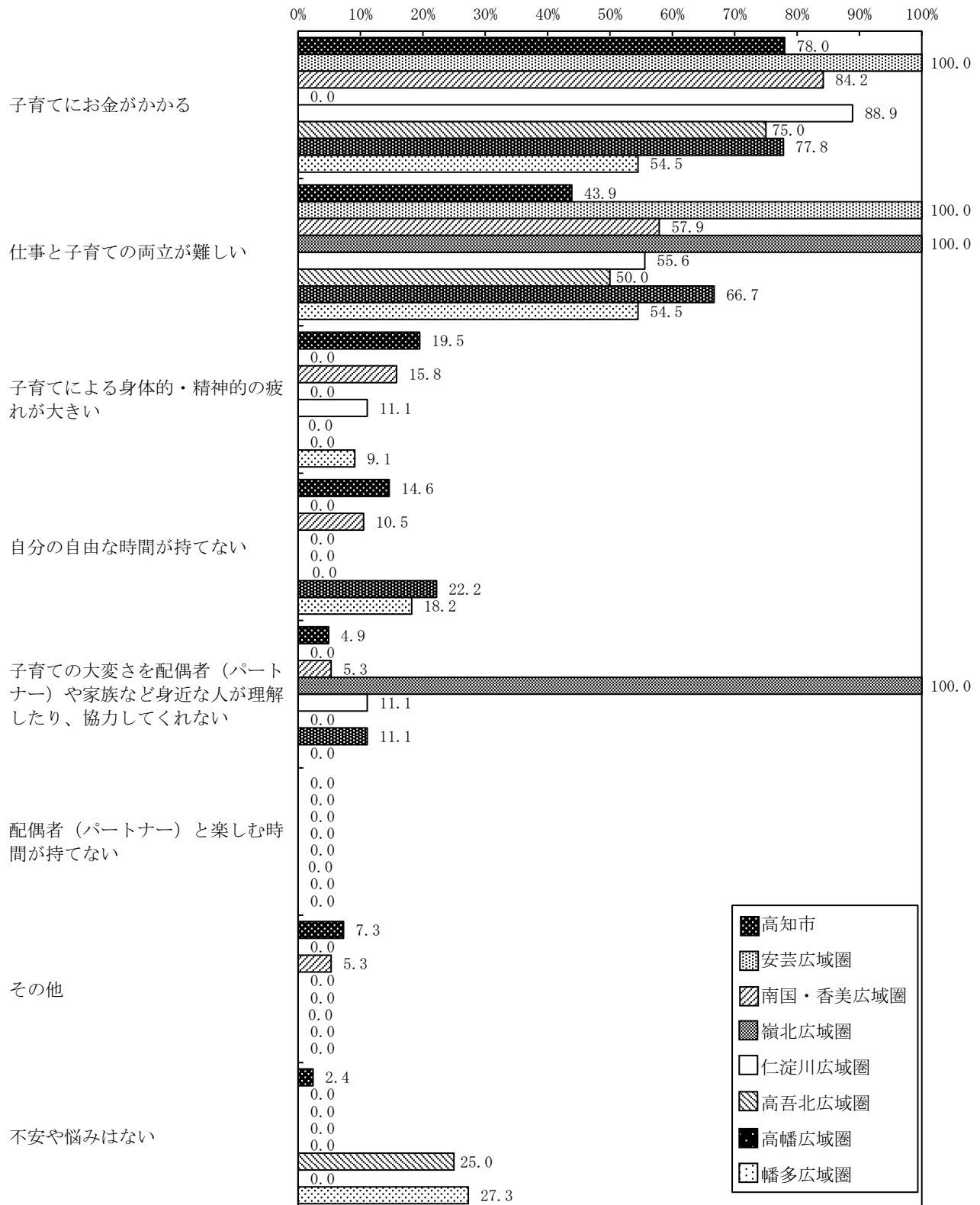
《 年 代 別 》



【広域市町村圏別】

高知市、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏では「子育てにお金がかかる」が、安芸広域圏、幡多広域圏では同率で「子育てにお金がかかる」と「仕事と子育ての両立が難しい」が、嶺北広域圏では同率で「仕事と子育ての両立が難しい」と「子育ての大変さを配偶者（パートナー）や家族など身近な人が理解したり、協力してくれない」が最も高くなっている。

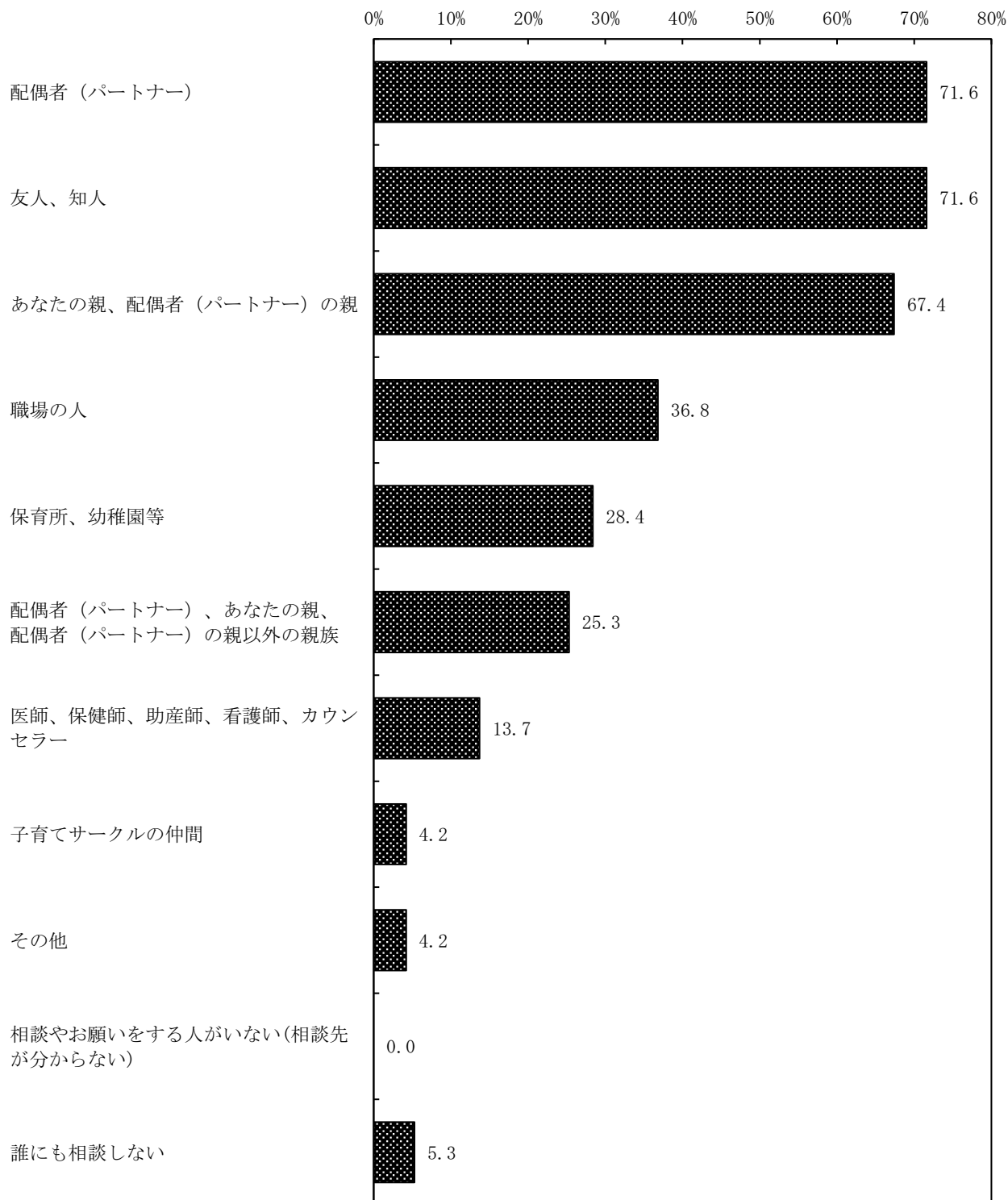
《広域市町村圏別》



問 18 子育ての不安や悩みについて、誰か（どこか）に相談しますか（しましたか）。
 （あてはまるもの全てに○印）

「配偶者（パートナー）」と「友人、知人」が同率の71.6%と最も高く、次いで「あなたの親、配偶者（パートナー）の親」が67.4%と続いている。

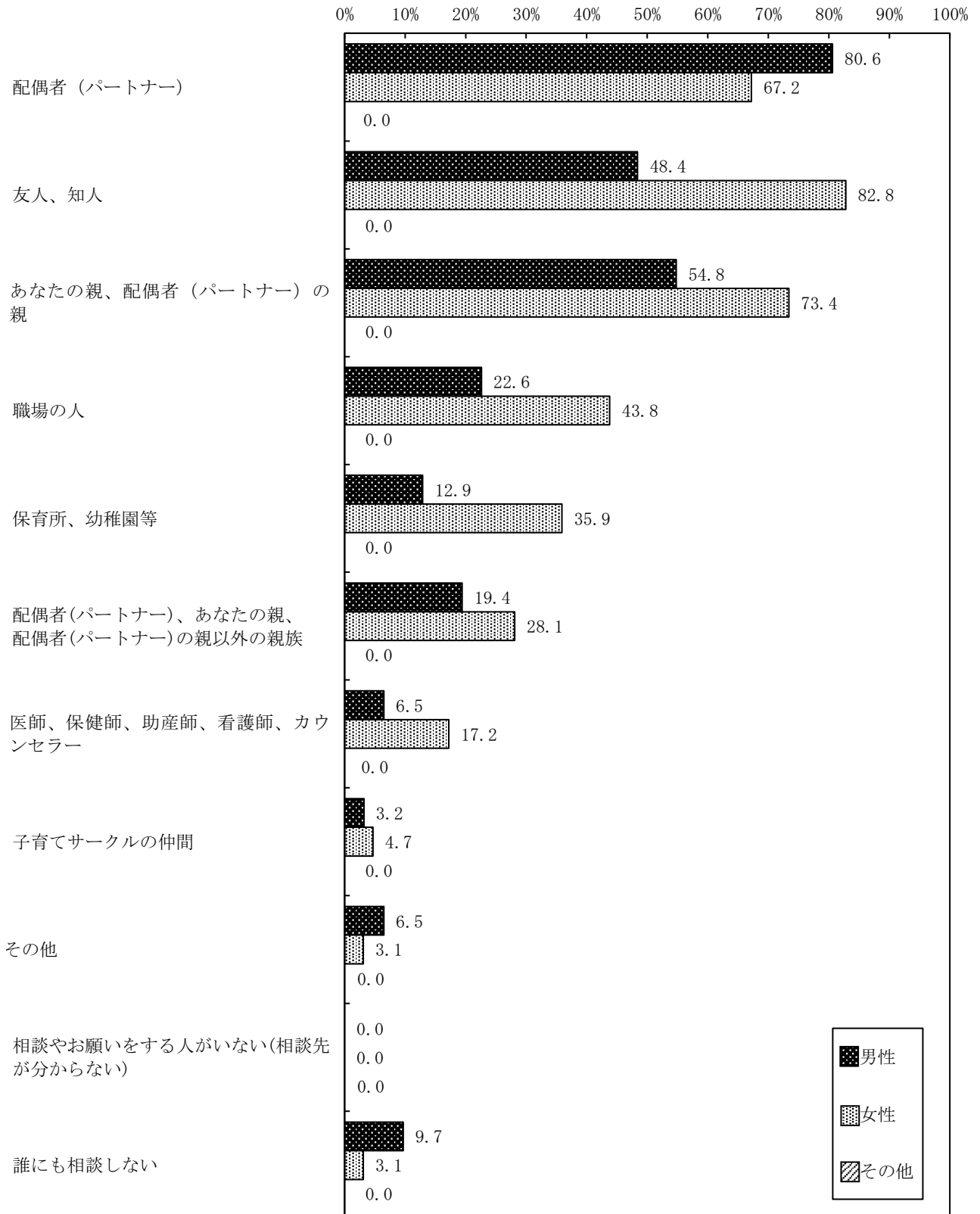
《 総 合 》



【性別】

男性は「配偶者（パートナー）」が、女性は「友人、知人」が最も高くなっている。

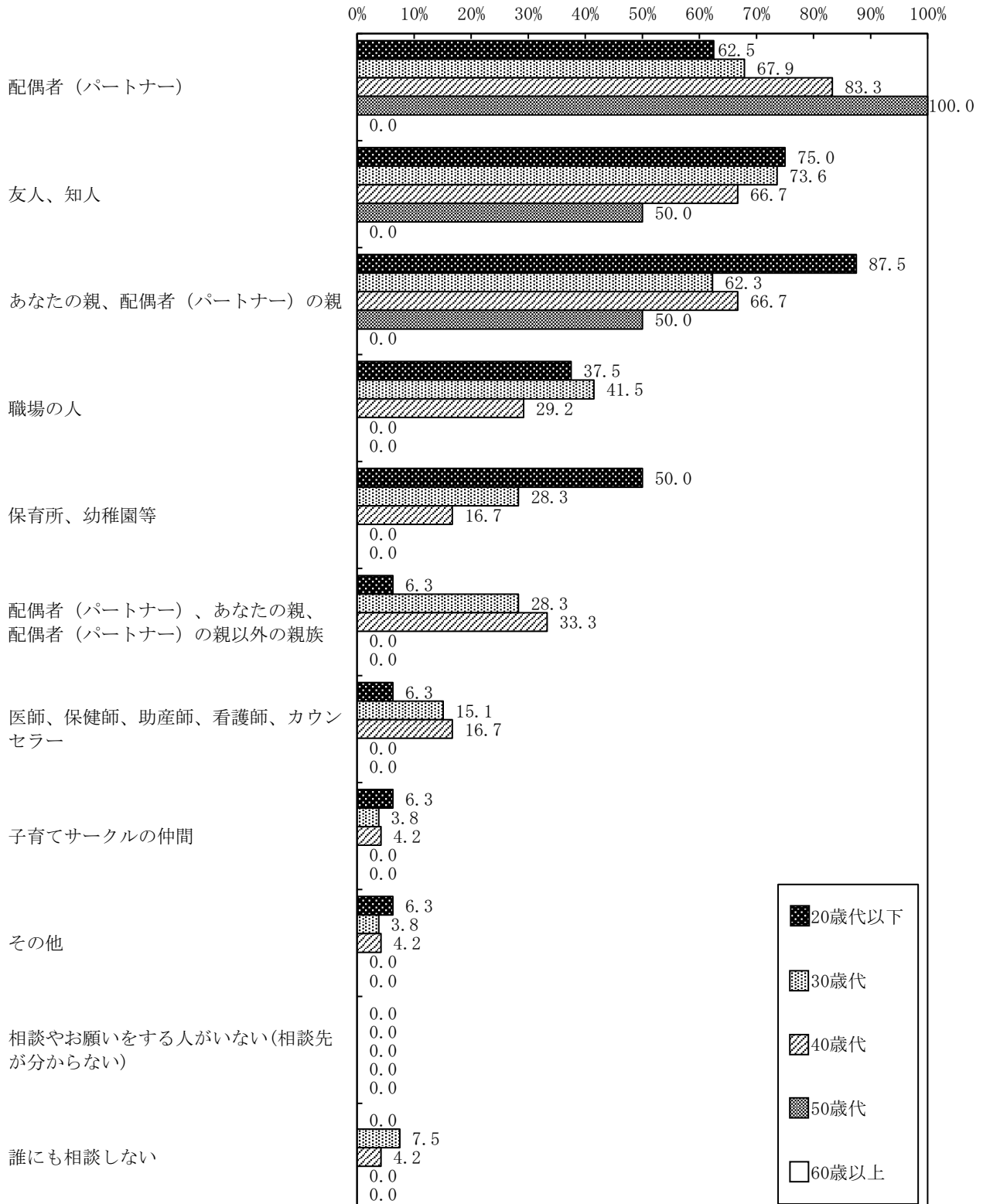
《 性別 》



【年代別】

20歳代以下では「あなたの親、配偶者（パートナー）の親」が、30歳代では「友人、知人」が、40歳代、50歳代では「配偶者（パートナー）」が最も高くなっている。

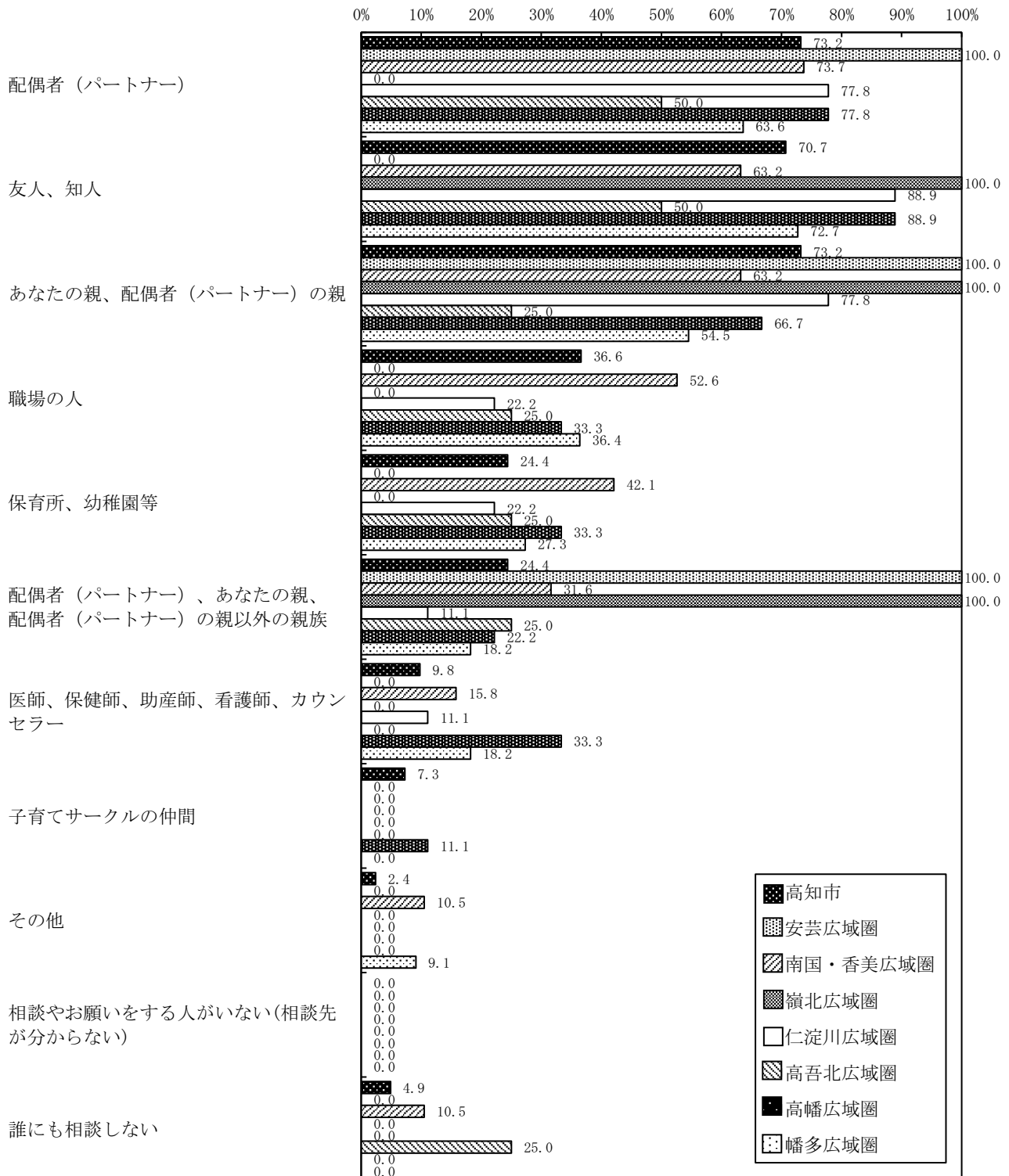
《 年代別 》



【広域市町村圏別】

高知市では同率で「配偶者（パートナー）」と「あなたの親、配偶者（パートナー）の親」が、安芸広域圏では同率で「配偶者（パートナー）」と「あなたの親、配偶者（パートナー）の親」と「配偶者（パートナー）、あなたの親、配偶者（パートナー）の親以外の親族」が、南国・香美広域圏では「配偶者（パートナー）」が、嶺北広域圏では同率で「友人、知人」と「あなたの親、配偶者（パートナー）の親」と「配偶者（パートナー）、あなたの親、配偶者（パートナー）の親以外の親族」が、仁淀川広域圏では「友人、知人」が、高吾北広域圏では同率で「配偶者（パートナー）」と「友人、知人」が、高幡広域圏、幡多広域圏では「友人、知人」が最も高くなっている。

《広域市町村圏別》



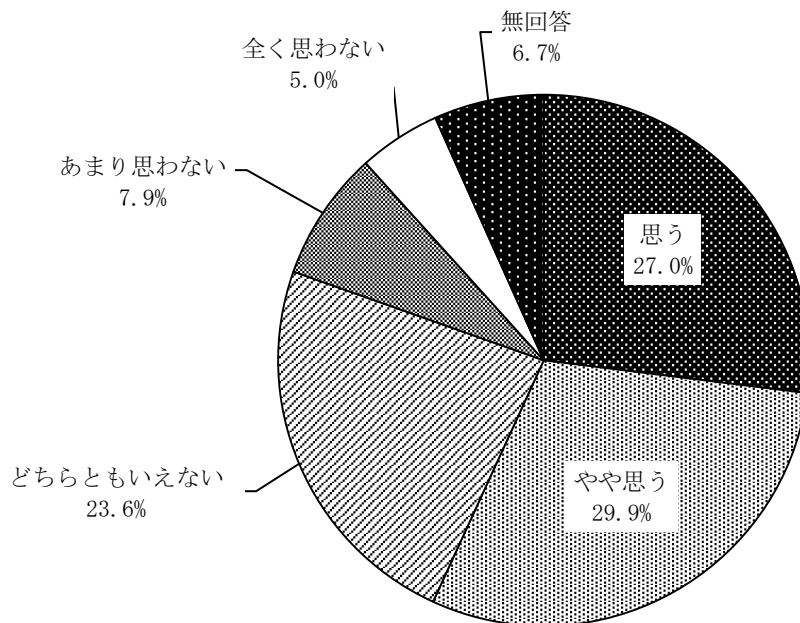
【4. ワーク・ライフ・バランスについて】

<問 19～問 23 現在、会社・団体にお勤めの方（雇用者）のみお答えください。>

問 19 あなたが働いている職場は、子育てに対して、協力的だと思いますか。（1つだけ○印）

「やや思う」が 29.9%と最も高く、次いで「思う」が 27.0%、「どちらともいえない」が 23.6%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

男女ともに「やや思う」が最も高くなっている。

【年代別】

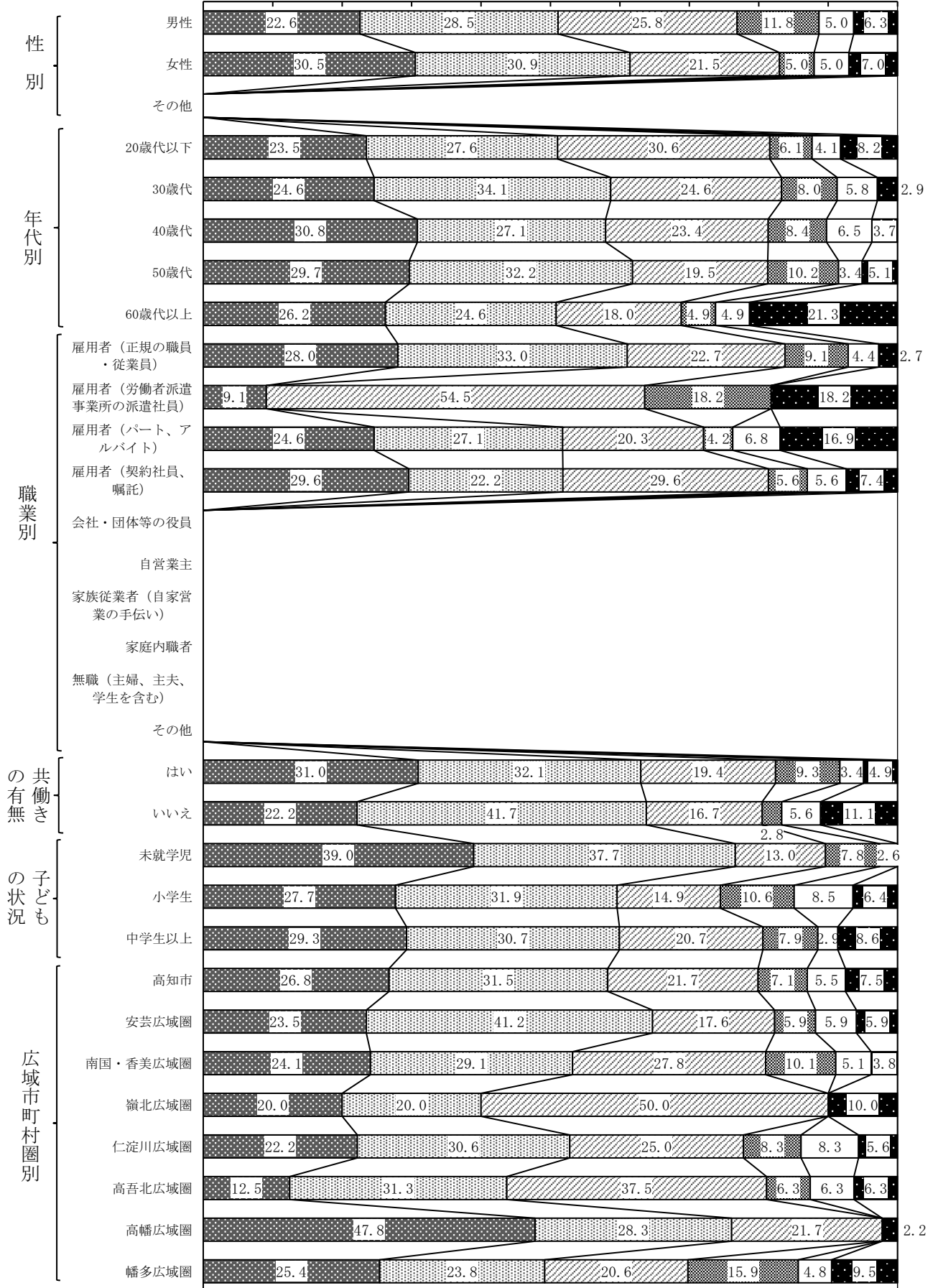
20歳代以下では「どちらともいえない」が、30歳代、50歳代では「やや思う」が、40歳代、60歳代以上では「思う」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏では「やや思う」が、嶺北広域圏、高吾北広域圏では「どちらともいえない」が、高幡広域圏、幡多広域圏では「思う」が最も高くなっている。

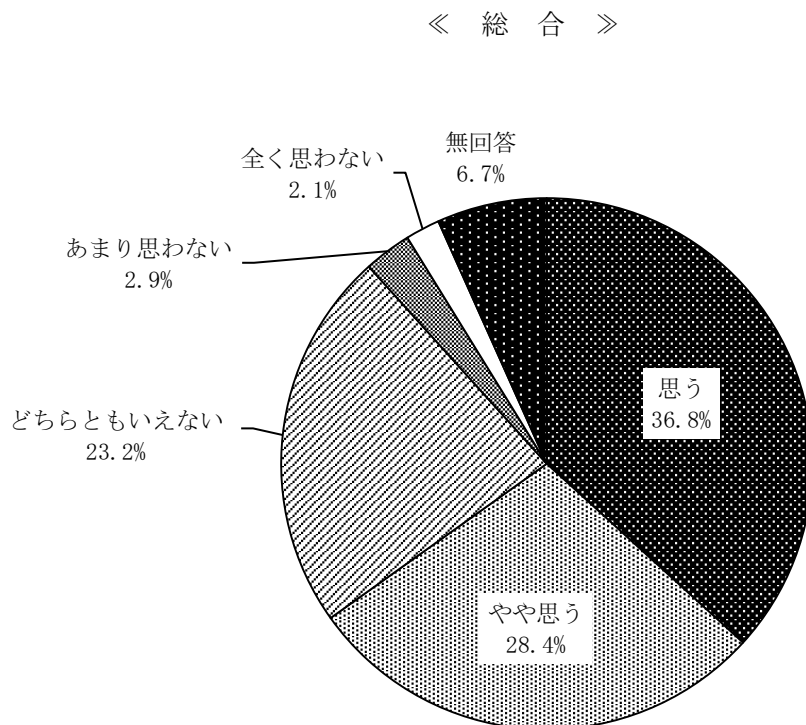
思う
 やや思う
 どちらともいえない
 あまり思わない
 全く思わない
 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問 20 あなた自身は、働いている職場の中で、子育て中の方に対して協力的だと思いますか。
(1つだけ○印)

「思う」が36.8%と最も高く、次いで「やや思う」が28.4%、「どちらともいえない」が23.2%と続いている。



【性別】

男性は「やや思う」が、女性は「思う」が最も高くなっている。

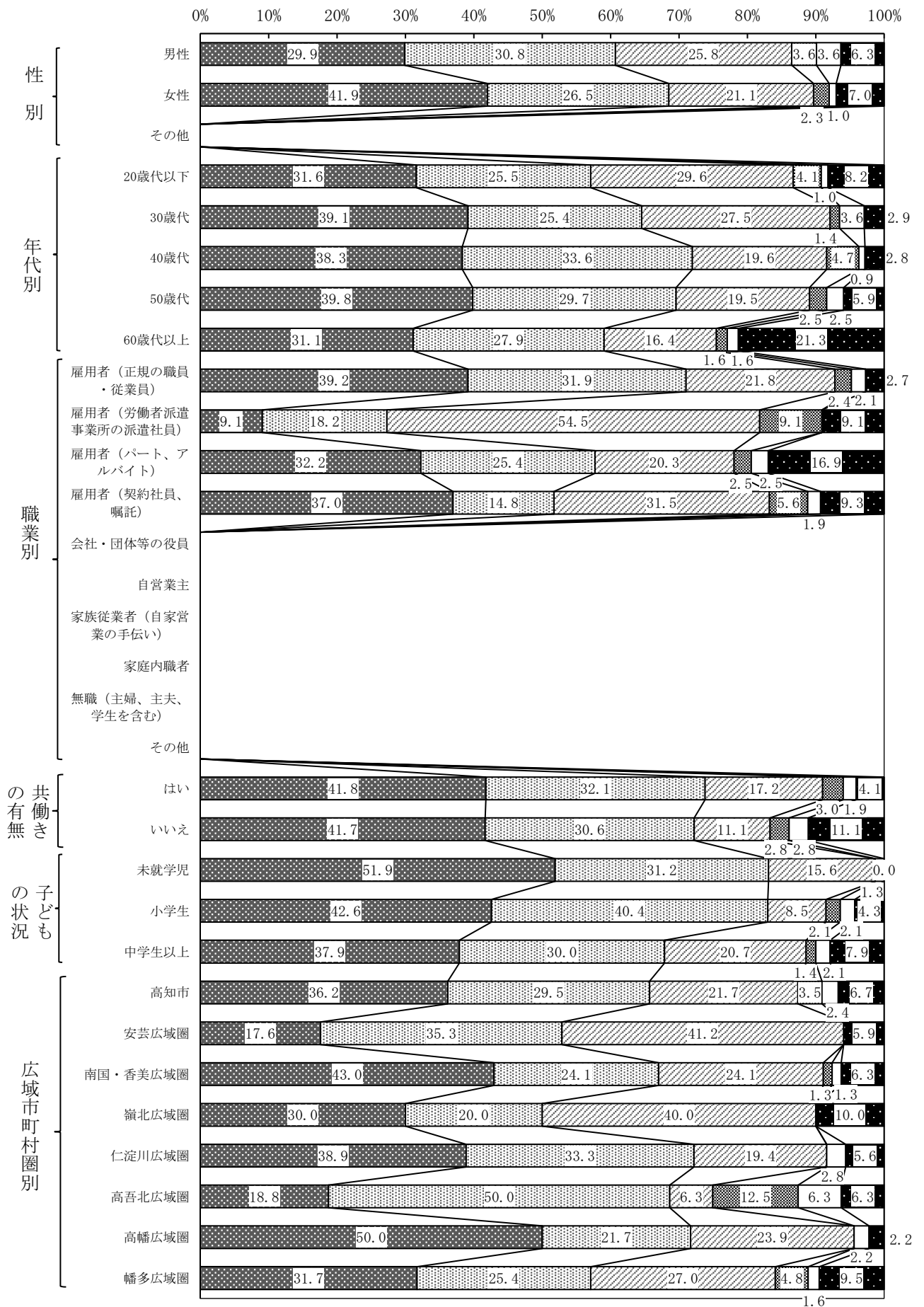
【年代別】

すべての年代で「思う」が最も高くなっている。

【広域市町村圏別】

高知市、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏では「思う」が、安芸広域圏、嶺北広域圏では「どちらともいえない」が、高吾北広域圏では「やや思う」が最も高くなっている。

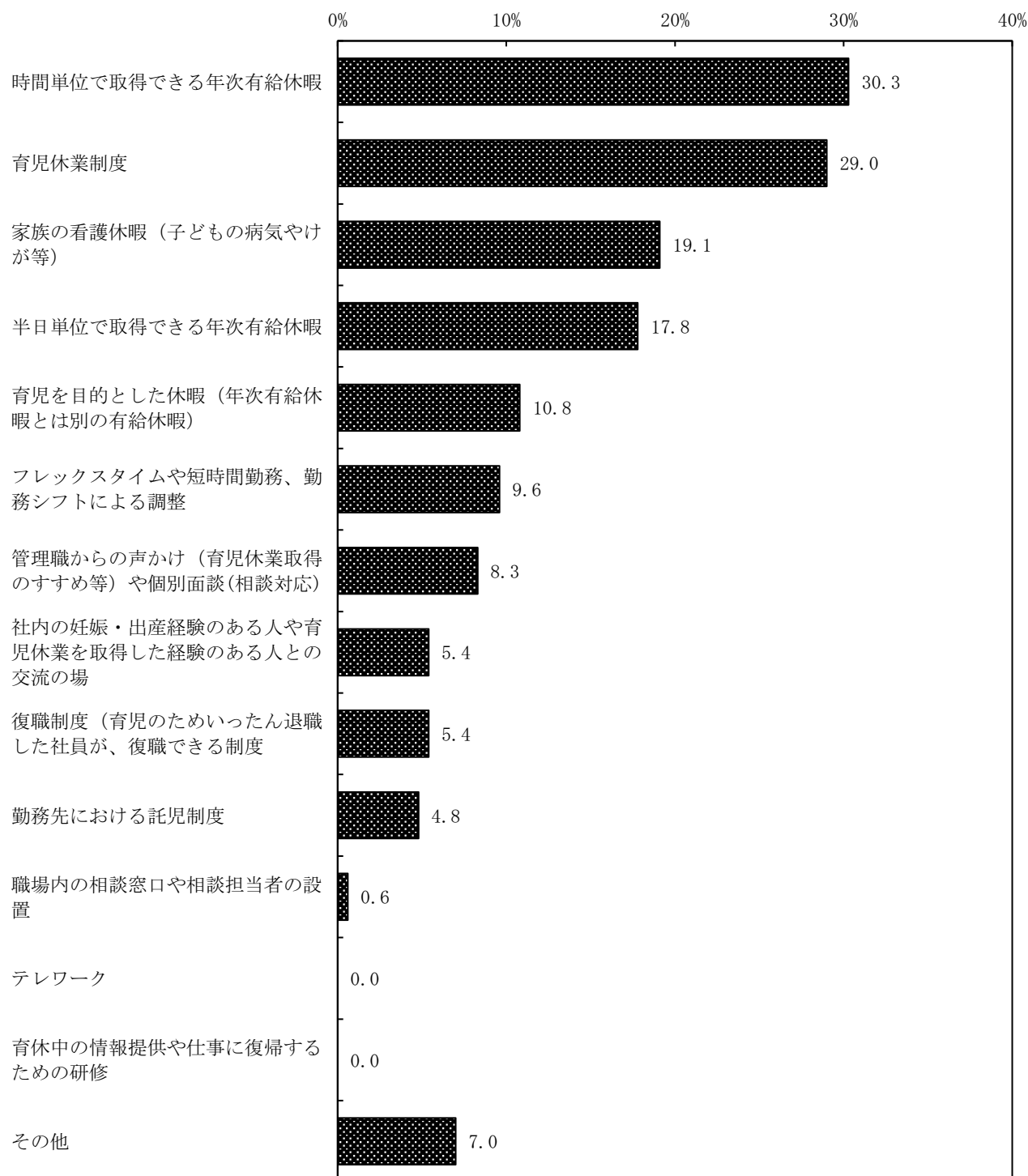
思う
 やや思う
 どちらともいえない
 あまり思わない
 全く思わない
 無回答



問 21 あなたが働きながら子育てをされてきたなかで、あなた自身が最も「利用して良かった」と感じた職場の制度、仕組みがあれば次のなかから選択してください。（3つまで○印）

「時間単位で取得できる年次有給休暇」が 30.3%と最も高く、次いで「育児休業制度」が 29.0%、「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」が 19.1%と続いている。

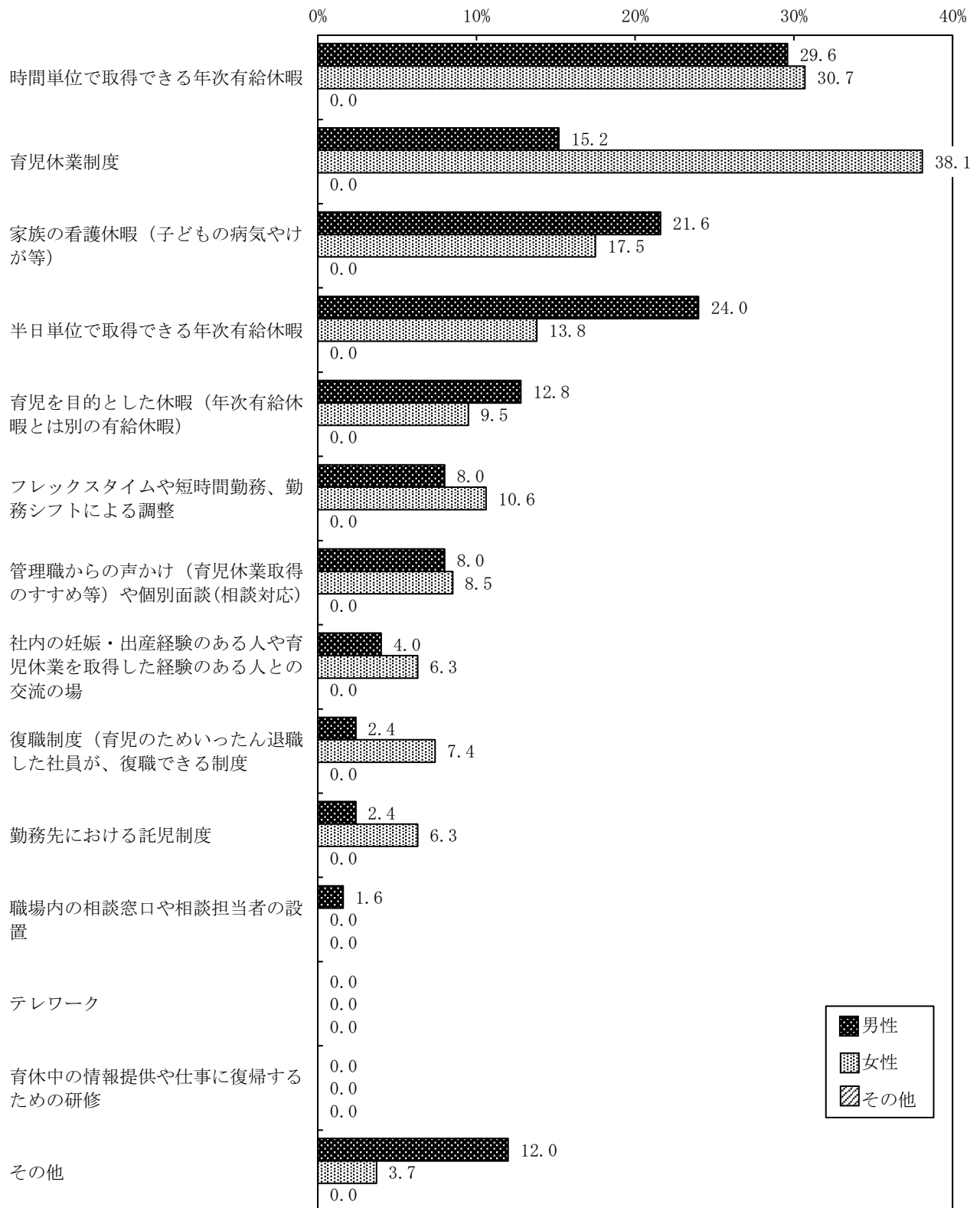
《 総 合 》



【性別】

男性では「時間単位で取得できる年次有給休暇」が、女性では「育児休業制度」が最も高くなっている。

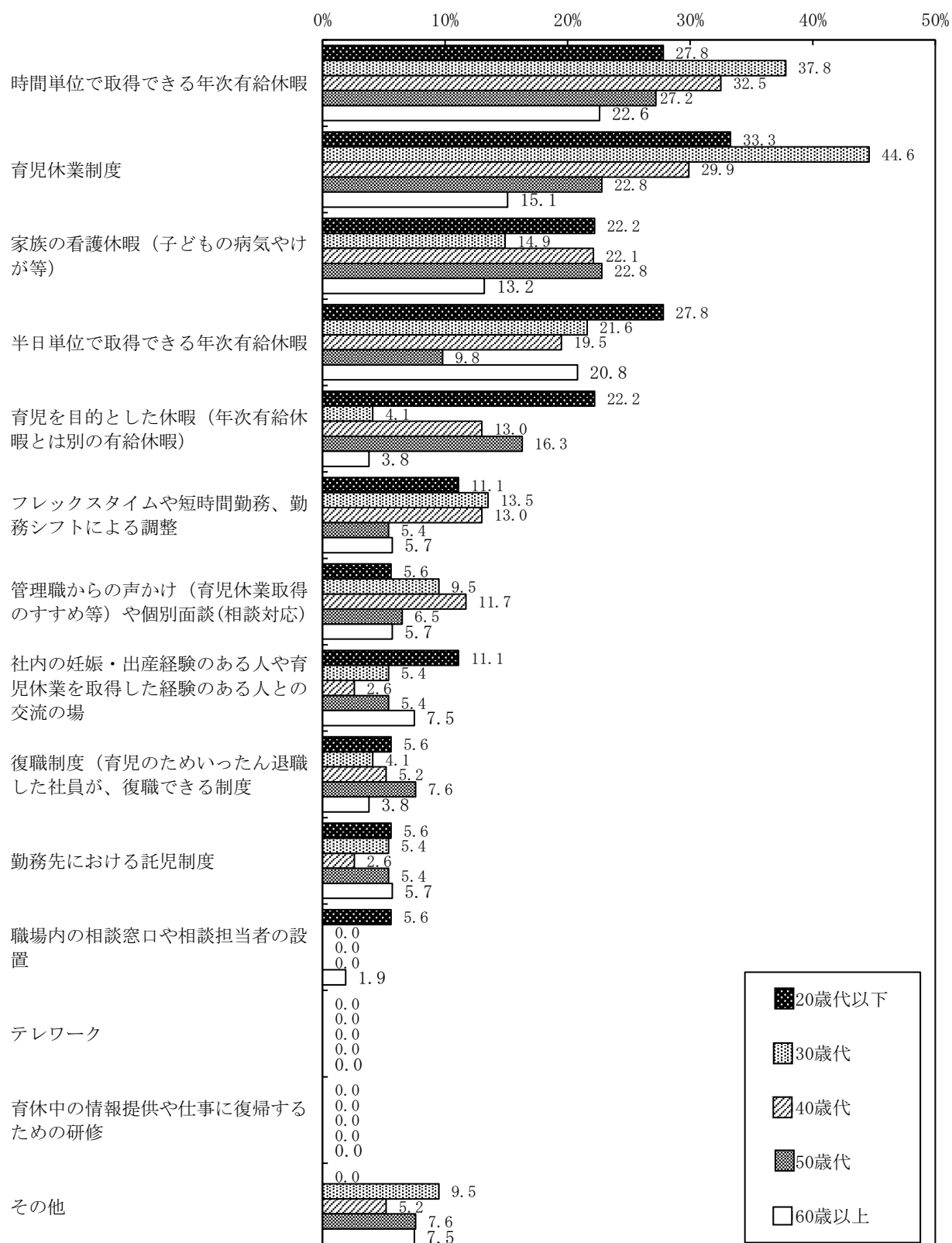
《 性別 》



【年代別】

20歳代以下、30歳代では「育児休業制度」が、40歳代、50歳代、60歳代以上では「時間単位で取得できる年次有給休暇」が最も高くなっている。

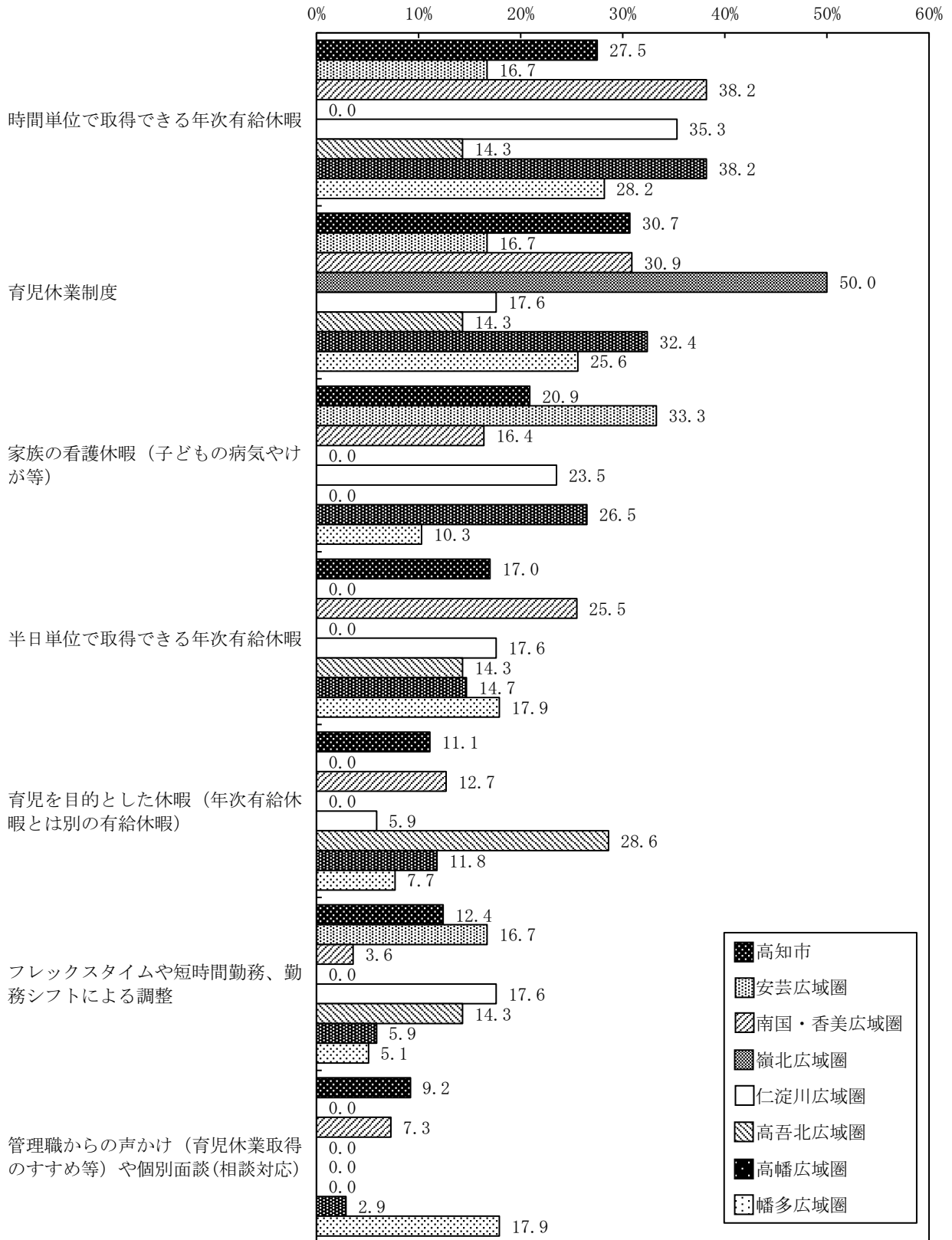
《 年 代 別 》

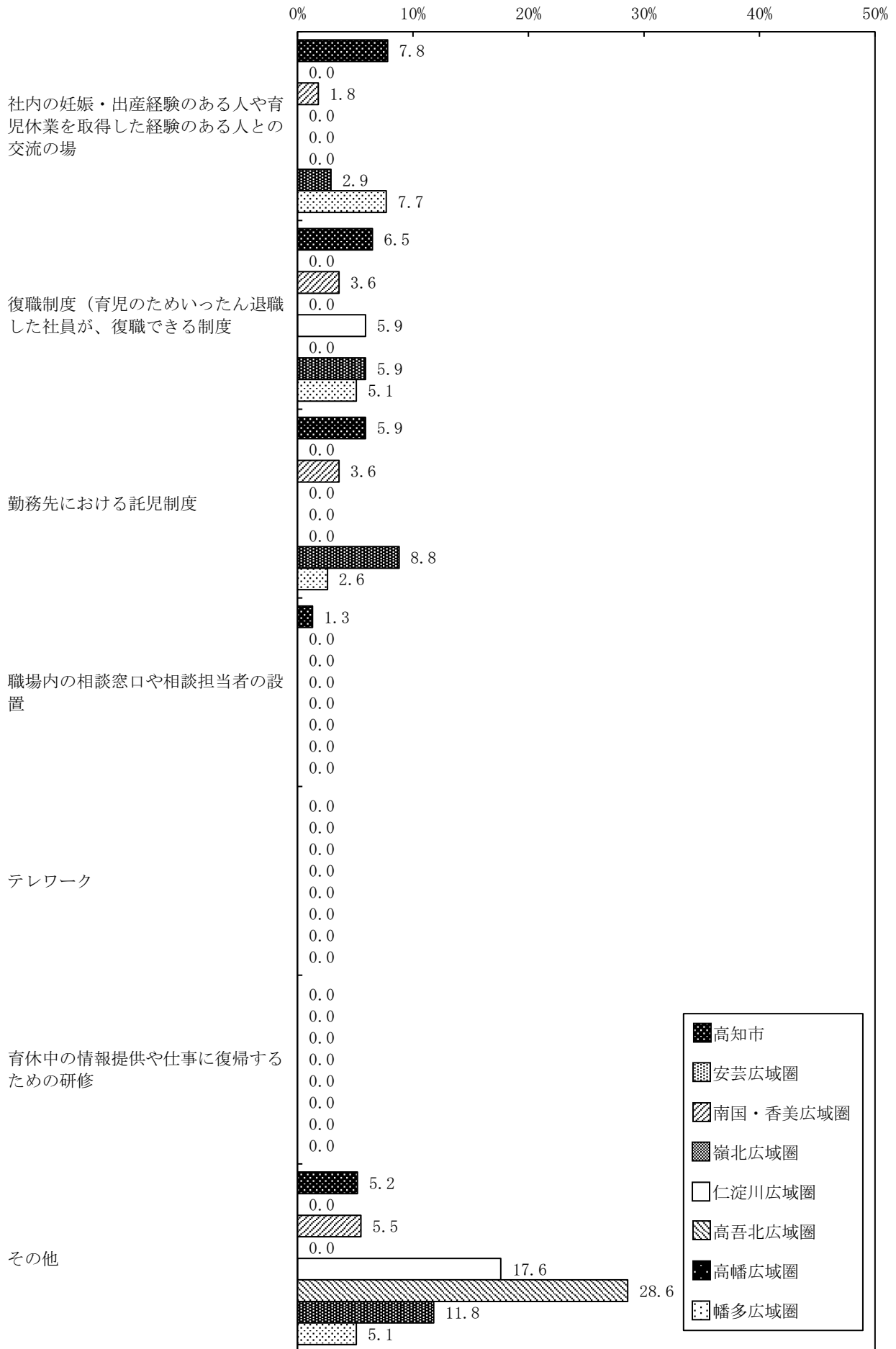


【広域市町村圏別】

高知市、嶺北広域圏では「育児休業制度」が、安芸広域圏では「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」が、南国・香美広域圏、仁淀川広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏では「時間単位で取得できる年次有給休暇」が、高吾北広域圏では「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」が最も高くなっている。

《広域市町村圏別》

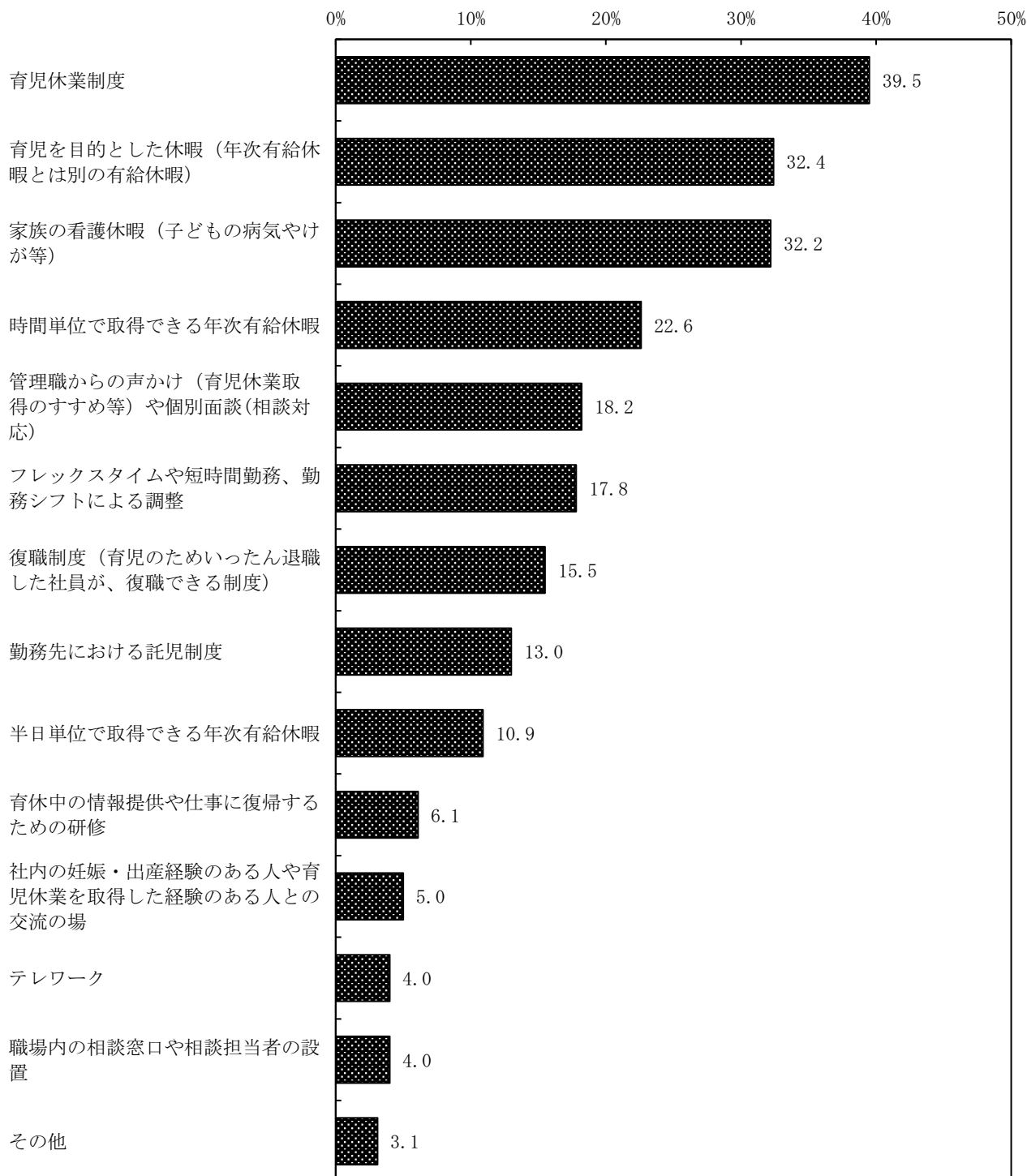




問 22 働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために、あなたの職場に必要であると思う制度、仕組みは何だと思えますか。あなたの考えに近いものをお選びください。（3つまで〇印）

「育児休業制度」が 39.5%と最も高く、次いで「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」が 32.4%、「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」が 32.2%と続いている。

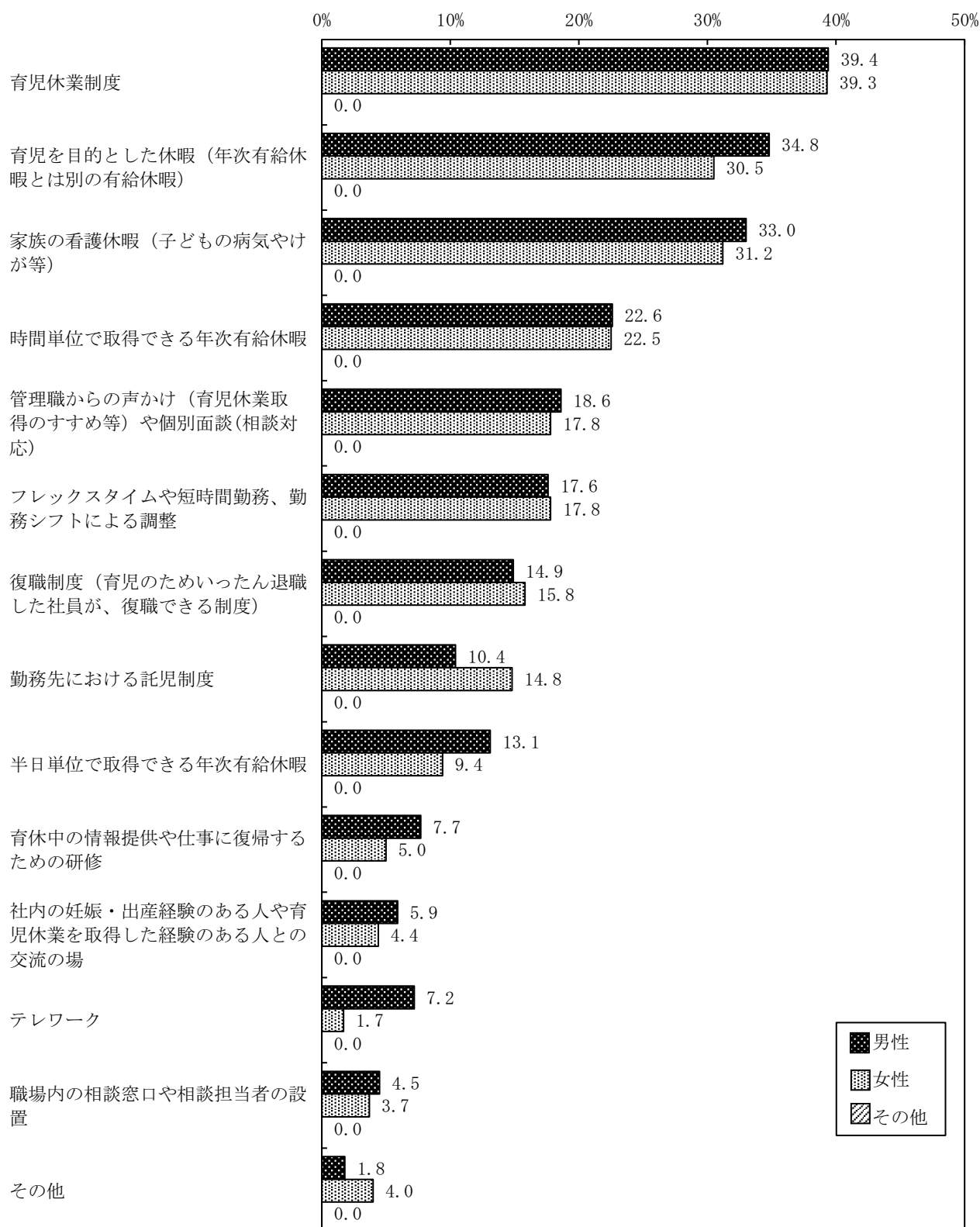
《 総 合 》



【性別】

男女ともに「育児休業制度」が最も高くなっている。

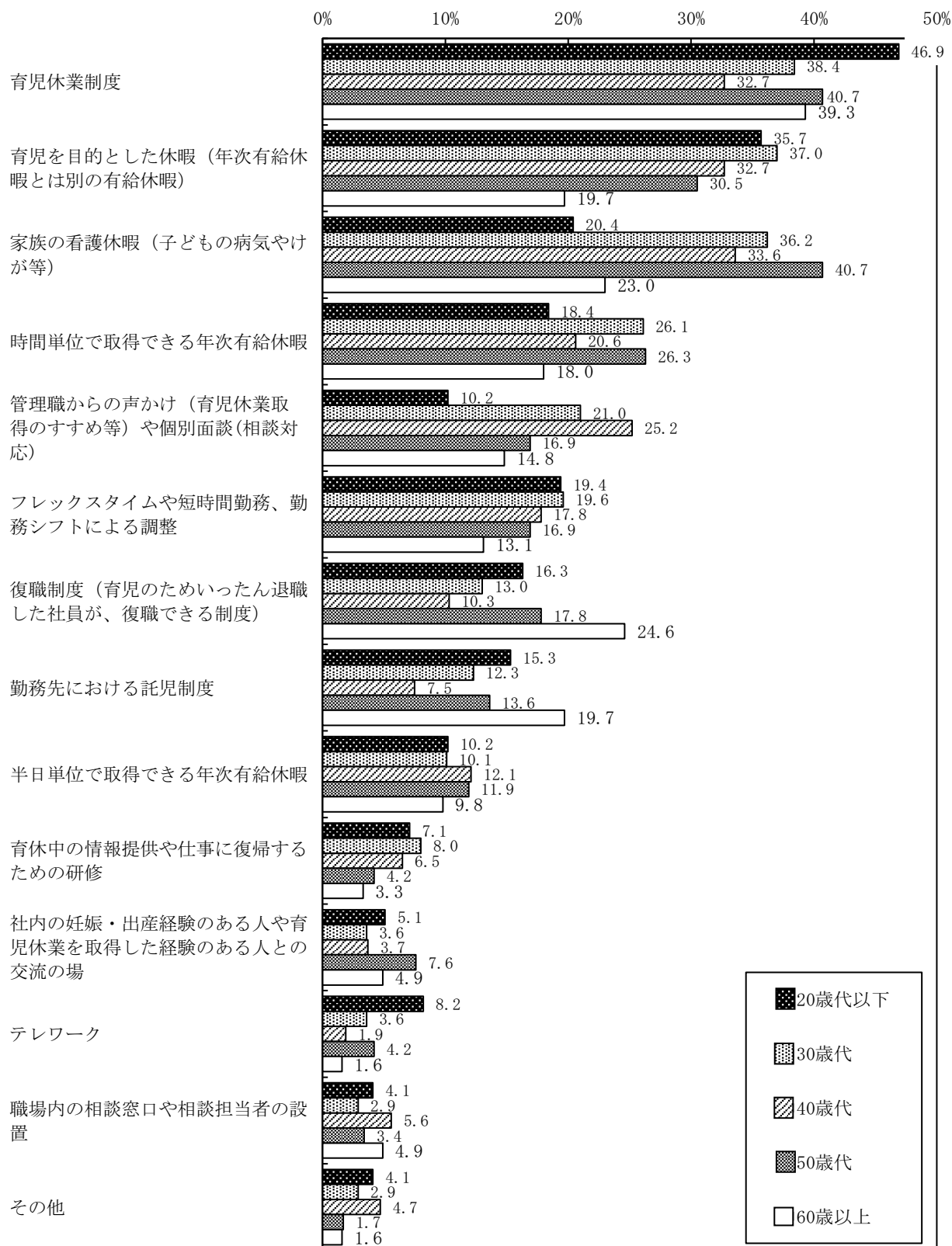
＜ 性別 ＞



【年代別】

20歳代以下、30歳代、60歳代以上では「育児休業制度」が、40歳代では「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」が、50歳代では同率で「育児休業制度」と「家族の看護休暇（子どもの病気やけが等）」が最も高くなっている。

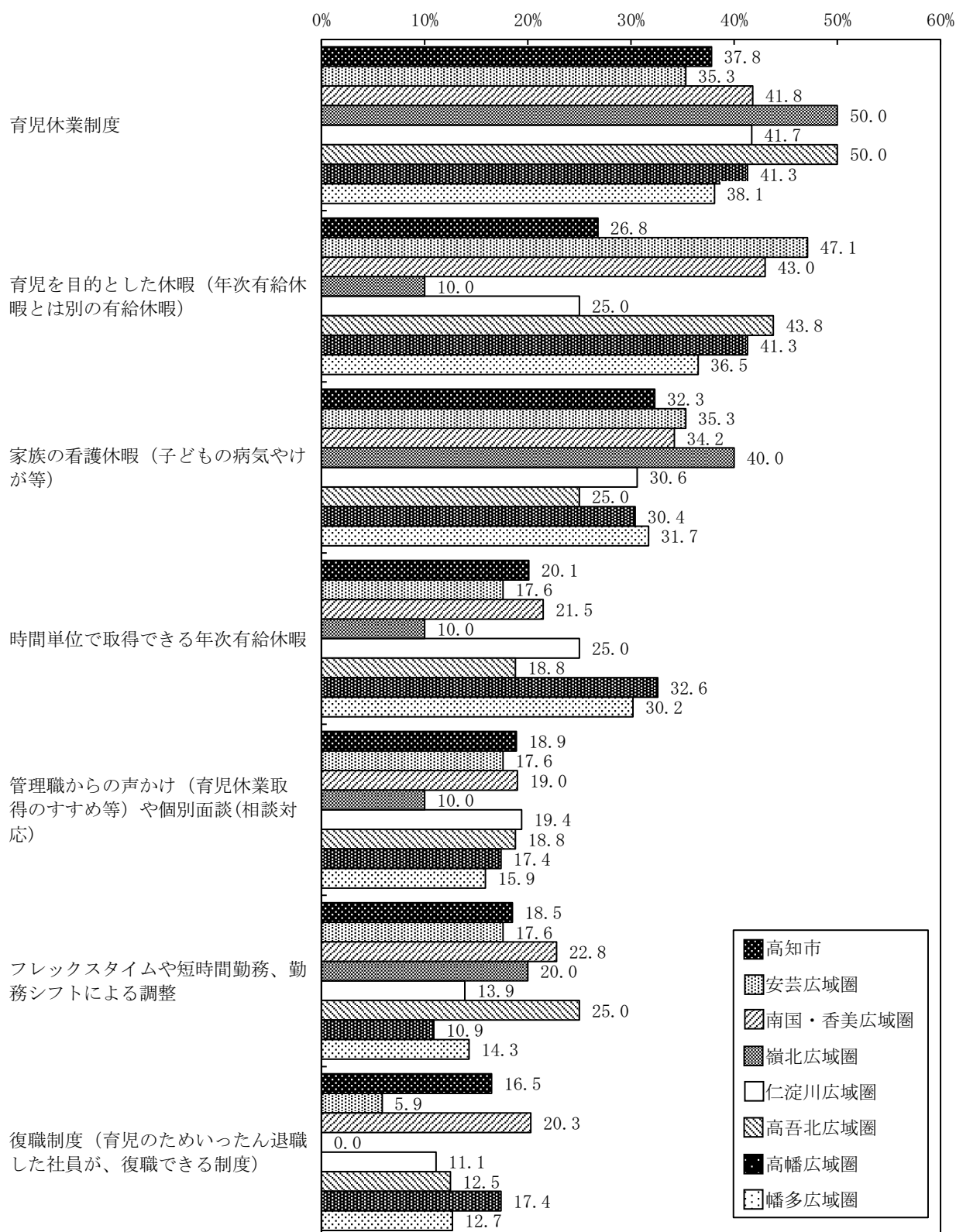
《 年 代 別 》

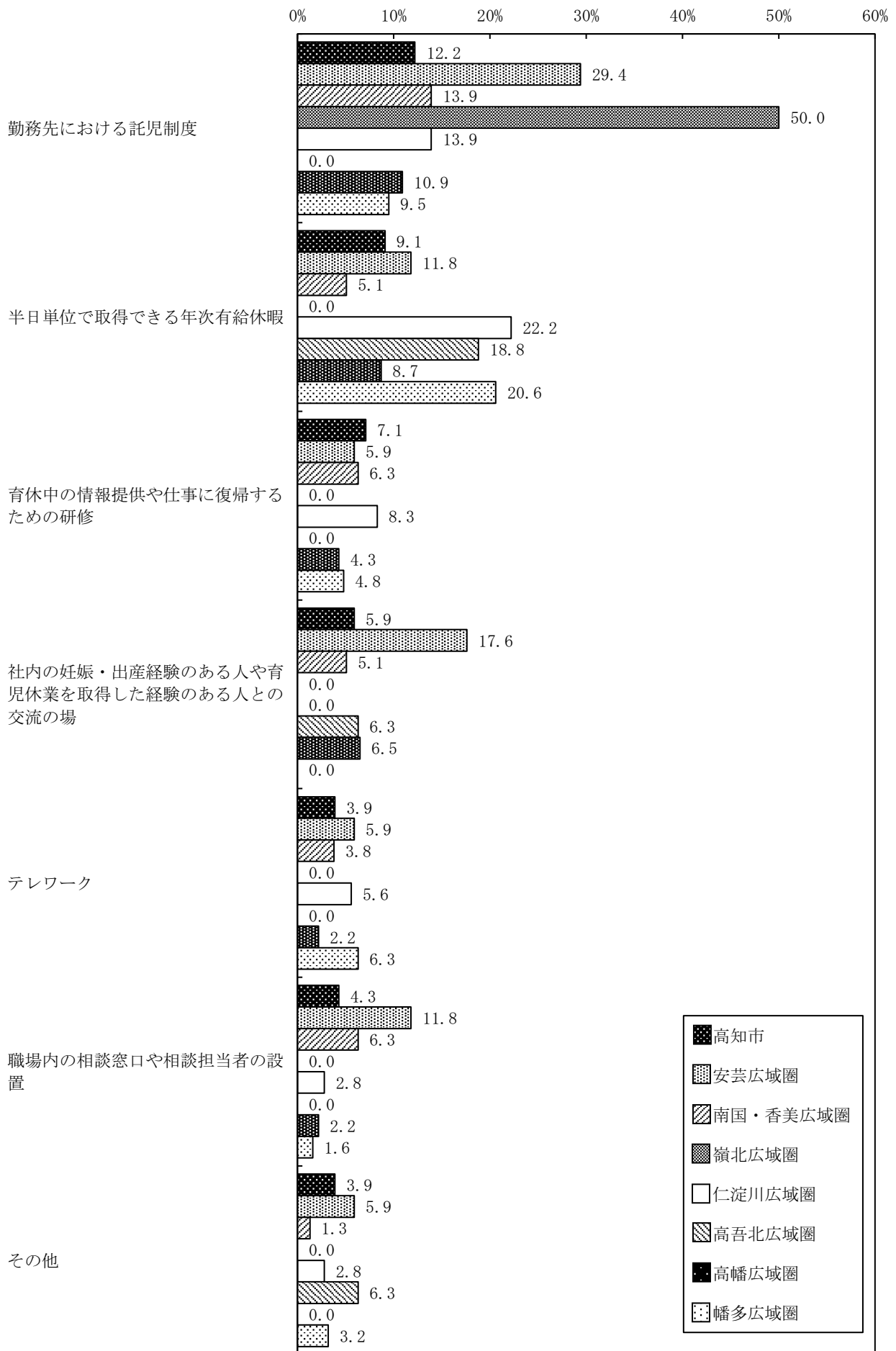


【広域市町村圏別】

高知市、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、幡多広域圏では「育児休業制度」が、安芸広域圏、南国・香美広域圏では「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」が、嶺北広域圏では同率で「育児休業制度」と「勤務先における託児制度」が、高幡広域圏では同率で「育児休業制度」と「育児を目的とした休暇（年次有給休暇とは別の有給休暇）」が最も高くなっている。

《広域市町村圏別》

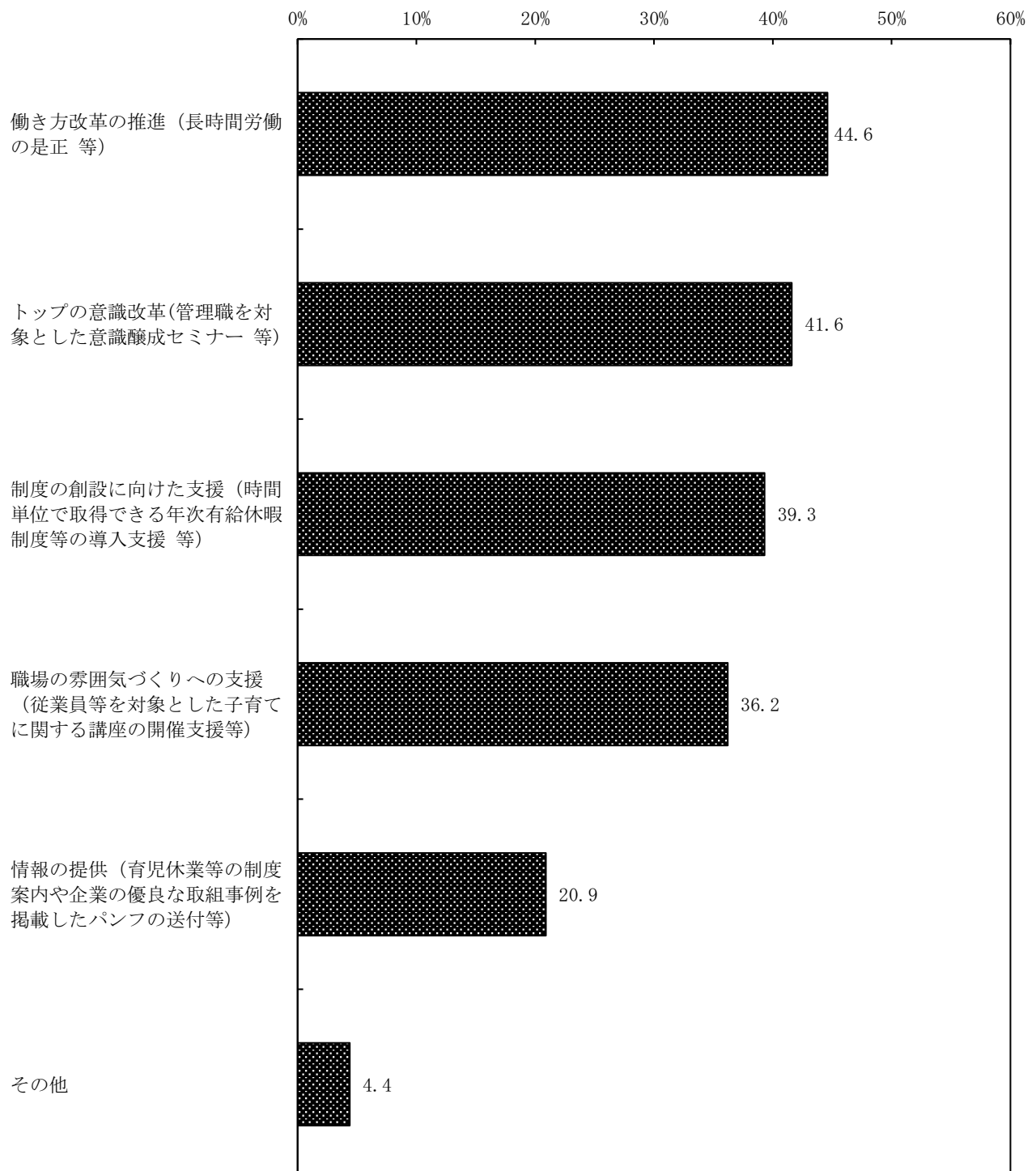




問 23 働きながら子育てしやすい職場環境づくりのために、あなたの職場に必要であると思う県の施策（支援）は何だと思えますか。あなたの考えに近いものをお選びください。
 （あてはまるもの全てに○印）

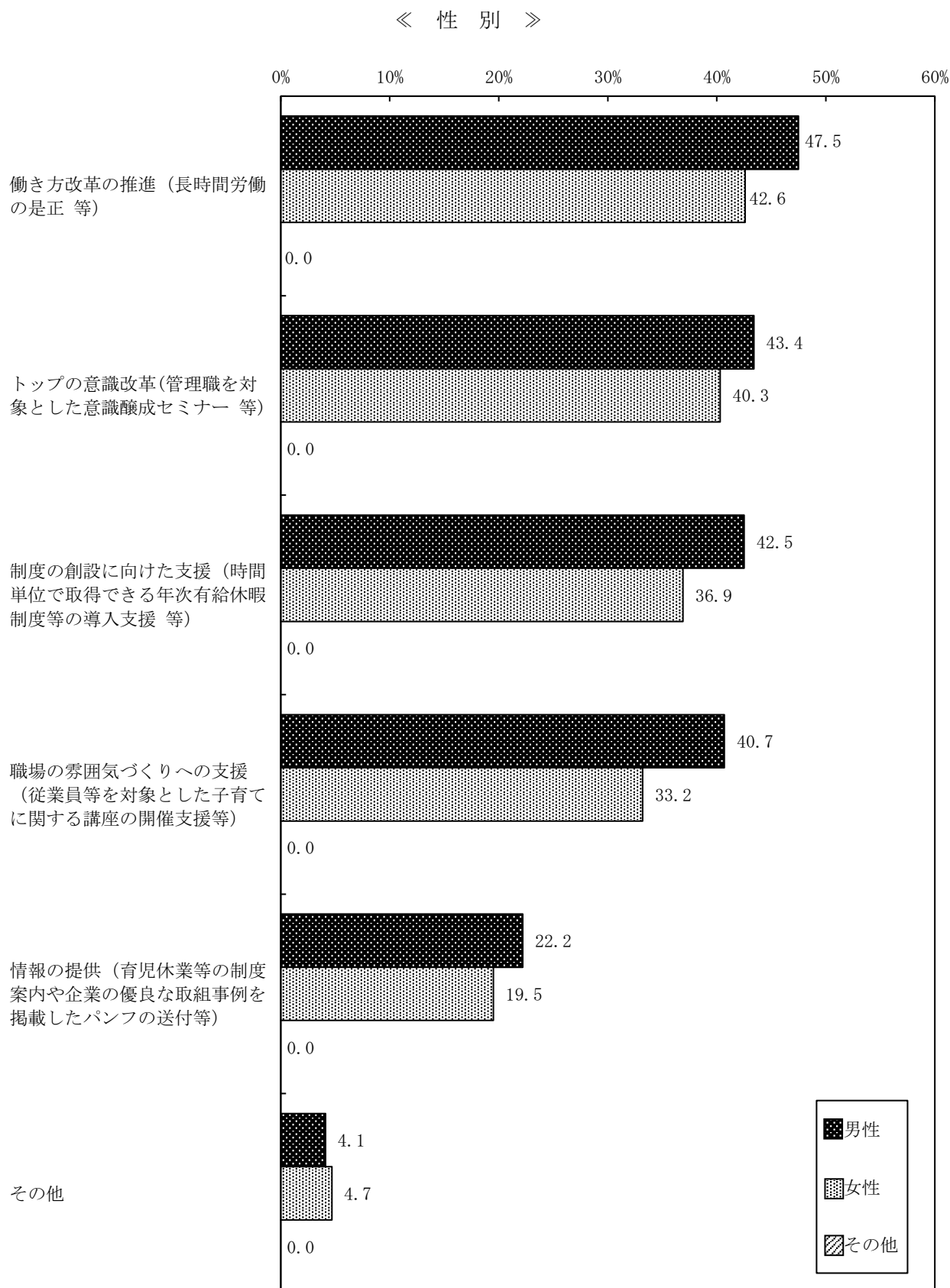
「働き方改革の推進（長時間労働の是正等）」が 44.6%と最も高く、次いで「トップの意識改革（管理職を対象とした意識醸成セミナー等）」が 41.6%、「制度の創設に向けた支援（時間単位で取得できる年次有給休暇制度等の導入支援等）」が 39.3%と続いている。

《 総 合 》



【性別】

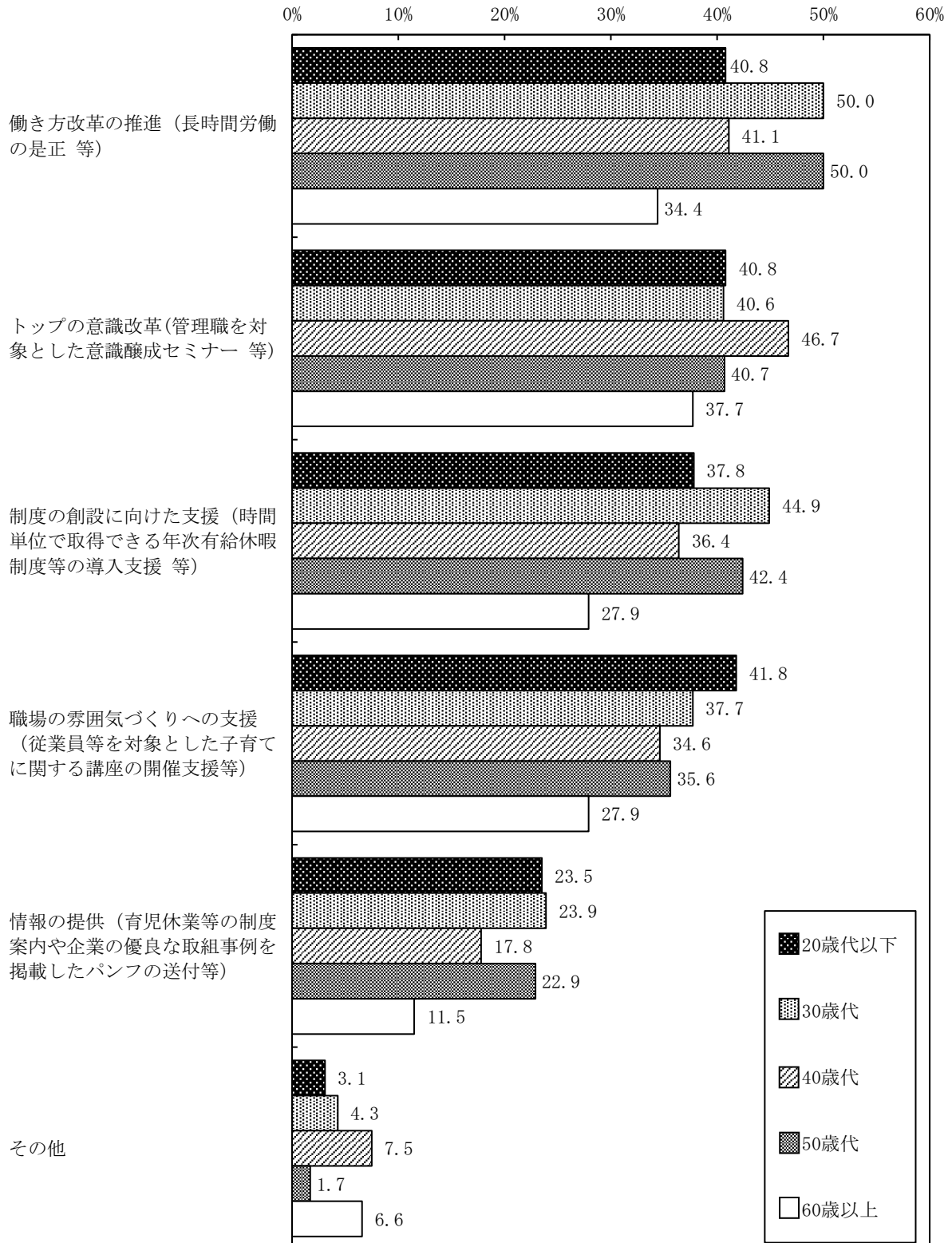
男女ともに「働き方改革の推進（長時間労働の是正等）」が最も高くなっている。



【年代別】

20歳代以下では「職場の雰囲気づくりへの支援（従業員等を対象とした子育てに関する講座の開催支援等）」が、30歳代、50歳代では「働き方改革の推進（長時間労働の是正等）」が、40歳代、60歳代以上では「トップの意識改革（管理職を対象とした意識醸成セミナー等）」が最も高くなっている。

《 年代別 》



【広域市町村圏別】

高知市、嶺北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏では「働き方改革の推進（長時間労働の是正等）」が、安芸広域圏では「制度創設に向けた支援（時間単位で取得できる年次有給休暇制度等の導入支援等）」が、南国・香美広域圏では同率で「働き方改革の推進（長時間労働の是正等）」と「制度創設に向けた支援（時間単位で取得できる年次有給休暇制度等の導入支援等）」が、仁淀川広域圏では同率で「働き方改革の推進（長時間労働の是正等）」と「トップの意識改革（管理職を対象とした意識醸成セミナー等）」が、高吾北広域圏では「職場の雰囲気づくりへの支援（従業員を対象とした子育てに関する講座の開催支援等）」が最も高くなっている。

《広域市町村圏別》

